

令和6年度 市民意識調査 結果報告書

～「個性きらめき 魅力あふれる ホットなまち 岸和田」の実現をめざして～



2024 (令和6年) 年12月

岸和田市

目次

第1 調査の概要	
1. 調査の目的	1
2. 調査方法と回収結果	2
3. 利用上の注意	3
4. 本調査における施策体系と設問の関係	4
第2 回答者の属性	
1. 母集団と回答者の比較	7
2. 回答者の内訳	9
第3 住みやすさ意識調査結果	
1. 「住みやすさ」の全体の結果	15
2. 「住みやすさ」の経年比較	16
3. 「住みやすさ」の属性分析	17
4. 「住み続けたい」の全体の結果	27
5. 「住み続けたい」の属性分析	28
6. 「住み続けたいと思う理由」の全体の結果	38
7. 「住み続けたいと思う理由(上位3項目)」の属性分析	39
8. 「住み続けたくないと思う理由」の全体の結果	46
9. 「住み続けたくないと思う理由(上位3項目)」の属性分析	47
10. 「住み続けたい」と全体の調査結果との相関関係	54
11. 「岸和田市への誇り」の全体の結果	56
第4 施策指標調査結果	
1. 施策指標	57
2. 施策指標値調査結果	57
第5 重要度×満足度調査結果	
1. 「重要度」の全体の結果	61
2. 基本目標別の「重要度」の結果	63
3. 「重要度(上位5項目)」の属性分析	67
4. 「満足度」の全体の結果	82
第6 重点化施策候補の分析	
1. 重要度・満足度からみた施策の分析	87
第7 子育て世代の意向状況	
1. 子育て世代の調査結果の傾向	99
2. 調査結果からみる子育て世代の意向状況	100
第8 自由意見	
1. 総合計画「将来ビジョン・岸和田」の体系	105
2. いただいた様々なご意見	108
巻末資料	
1. その他集計結果	117
2. アンケート調査票	121

第1 調査の概要

第1 調査の概要

1. 調査の目的

本調査は、市内に在住している15歳以上75歳未満の市民を対象に、地域の課題や市が取り組んでいる施策に対する市民意識を調査・分析し、今後の岸和田市のまちづくりの参考資料とするためのものです。平成17年から平成19年にかけては、「第3次岸和田市総合計画」の施策体系の下に実施され、平成22年から令和3年にかけては、「第4次岸和田市総合計画（岸和田市まちづくりビジョン）」の施策体系下に実施しました。令和4年以降は令和5年4月にスタートした総合計画「将来ビジョン・岸和田」の施策体系下に実施しているものです。

本調査は、限られた財源の中、効果的・効率的に資源配分をしていくための参考資料とするためのもので、調査の結果は、行政サービスの検討・向上につなげるとともに、様々な計画や予算に反映させることを目的としています。

具体的には、市民の声を積極的に市政に反映させ、市民との協働によるまちづくりをさらに推進するため、市民自身の思いや居住地域についてどう感じているか、市民がこれまで取り組んできた施策に満足しているか（満足度）、今後、市がどのような施策に力を注いでいくべきであると感じているか（重要度）、また、その取組の成果を図る『物差し』としての指標（成果指標）の進行管理のための調査です。

2. 調査方法と回収結果

(1) 調査地区

大阪府岸和田市全域

(2) 調査対象

市内在住の15歳以上75歳未満の男女約4,000人

(3) 抽出方法

岸和田市住民基本台帳（令和6年4月30日現在）から無作為に抽出

(4) 調査方法

アンケート用紙と返信用封筒を同封して郵送

郵送回収、または、インターネット回答

(5) 調査期間

令和6年5月17日～6月7日

(6) 回収結果

抽出数	実送付数	有効回答数	有効回答率
3,996人	3,980人	1,271人	31.9%
		有効回答数の内訳	
		郵送回収 979人	構成比 77.0%
		ネット回答 292人	構成比 23.0%

※郵送返戻等の理由により、抽出数と実送付数との間に差が生じます。

(7) 調査主体

岸和田市総合政策部企画課

(8) 集計・分析

株式会社ユーエヌ土地利用研究所

3. 利用上の注意

(1) 調査結果

- (1) 結果は百分率で示しています。百分率は小数点第2位を四捨五入しているため、比率の合計が100%と一致しない場合があります。
- (2) 一部の人を対象とする質問では、質問該当者を分母にして算出しています。
- (3) 複数回答の百分率の合計は、100%を超えます。
- (4) 二重回答や判読不能の回答などは、無回答に含めています。
- (5) 標本数(サンプル数)の表記として「n」を使用しています。

(2) 標本誤差の信頼区間

本調査は標本調査のため、統計上の誤差(標本誤差)が生じます。標本誤差は、母集団と得られた標本数(サンプル数)の結果によって異なります。信頼度95%における誤差は、下記の表のとおりです。

例えば、1,271人の回答者がいる中で、Aという選択肢を選んだ回答者が50%だったとすると、標本誤差は±2.7%であるため、誤差を考慮した場合、同種の調査を100回実施すれば95回までは、この回答率は47.3%~52.7%の間に入るだろうと推定できるということになります。

■主要な回答者の比率における信頼区分

	総数	地域別						男女別		年代別							
		都市中核地域	岸和田北部地域	葛城の谷地域	岸和田中部地域	久米田地域	牛滝の谷地域	男性	女性	15~19歳	20~29歳	30~39歳	40~49歳	50~59歳	60~69歳	70歳以上	
母集団	134,548	34,031	24,894	23,717	14,758	19,841	17,307	66,528	68,020	9,192	20,355	18,729	23,029	29,024	21,857	12,362	
サンプル数	1,271	303	211	232	190	148	123	618	585	74	164	170	222	264	236	124	
回答者の比率	50% 50%	2.7	5.6	6.7	6.4	7.1	8.1	8.8	3.9	4.1	11.4	7.7	7.5	6.6	6.0	6.4	8.8
	45% 55%	2.7	5.6	6.7	6.4	7.1	8.0	8.8	3.9	4.0	11.3	7.6	7.5	6.5	6.0	6.3	8.8
	40% 60%	2.7	5.5	6.6	6.3	7.0	7.9	8.7	3.9	4.0	11.2	7.5	7.4	6.4	5.9	6.3	8.6
	35% 65%	2.6	5.4	6.4	6.1	6.8	7.7	8.4	3.8	3.9	10.9	7.3	7.2	6.3	5.8	6.1	8.4
	30% 70%	2.5	5.2	6.2	5.9	6.5	7.4	8.1	3.6	3.7	10.4	7.0	6.9	6.0	5.5	5.8	8.1
	25% 75%	2.4	4.9	5.8	5.6	6.2	7.0	7.7	3.4	3.5	9.9	6.6	6.5	5.7	5.2	5.5	7.6
	20% 80%	2.2	4.5	5.4	5.1	5.7	6.4	7.1	3.2	3.2	9.1	6.1	6.0	5.3	4.8	5.1	7.0
	15% 85%	2.0	4.0	4.8	4.6	5.1	5.8	6.3	2.8	2.9	8.1	5.5	5.4	4.7	4.3	4.6	6.3
	10% 90%	1.6	3.4	4.0	3.9	4.3	4.8	5.3	2.4	2.4	6.8	4.6	4.5	3.9	3.6	3.8	5.3
	5% 95%	1.2	2.5	2.9	2.8	3.1	3.5	3.9	1.7	1.8	5.0	3.3	3.3	2.9	2.6	2.8	3.8

4. 本調査における施策体系と設問の関係

基本目標	個別目標	施策体系	関係設問	
		個別目標の方向性	施策指標 (施策関連)	満足度
岸和田の次世代を育むまち	安心して子どもを 生み、育てられている	妊産婦や乳幼児の切れ目のない健康づくりを進める	－	問 26-1
		妊娠を望む家庭や子育て家庭の不安解消、経済的負担の軽減を進める	問 25-1 ウ 問 25-2 タ	問 26-2
	働きながら子育てが できている	保育を必要とする人が、安心して子どもを預けられる環境づくりを進める	問 25-2 チ	問 26-3
	子どもの健康と安全が 保たれている	健診などによる疾病の早期発見・予防など子どもの健康づくりを進める	－	問 26-4
		食育や体力づくりなど子どもの健康な身体づくりを進める	－	問 26-5
		登下校をはじめ、子どもが安全に学校や地域で過ごせる環境づくりを進める	問 25-2 ツ	問 26-6
		障害のある子どもの発達支援とともに、家庭生活での負担軽減を進める	－	問 26-7
		育てにくさを感じる親への支援や、児童虐待に関する相談の充実、早期発見・早期対応を進める	－	問 26-8
	子どもの個性や能力が 豊かに育まれている	適正な就学・就園や経済的な支援により教育機会を確保する	－	問 26-9
		子ども一人ひとりが輝くための適切な教育支援を行う	問 25-2 テ	問 26-10
		学校園の適切な維持管理や魅力ある運営を行う	－	問 26-11
		地域と連携し、子どもの社会的な心を育む	－	問 26-12
		地域の産業を担う人材育成を進める	－	問 26-13
	生涯にわたる能力づくりが進められ、活かされている	様々な学びの活動や知識、経験の活用を進めるとともに、コミュニティのつながりを創出する	問 7	問 26-14
		スポーツへの親しみや参画の向上を図るとともに、スポーツができる環境づくりを進める	問 4	問 26-15
		芸術や文化への親しみや参画の機会を通して、心の豊かさの醸成を図る	問 5	問 26-16
	誰もが社会参加し、活躍できる場が つくりされている	働きたい人への就労機会の確保を進める	問 25-1 ク	問 26-17
		市内事業所の労働環境の向上を進める	問 17 問 25-1 イ 問 25-1 ケ	問 26-18
		障害者の就労支援の充実と生きがいづくりを進める	問 25-1 ア	問 26-19
		高齢者の雇用促進と生きがいづくりを進める	問 25-1 ア	問 26-20
	郷土の歴史や文化が引き継がれている	郷土の歴史や文化に触れる機会をつくる	問 6	問 26-21
		岸和田の歴史や文化財の保存・活用を進める	問 25-1 コ	問 26-22

施策体系			関係設問	
基本目標	個別目標	個別目標の方向性	施策指標 (施策関連)	満足度
健康で自分らしく生活できるまち	健康意識の向上とともに、介護予防が進められ、心身の健康が維持・増進している	健康意識の向上や重症化予防など疾病予防を進める	問 14 問 22	問 26-23
	医療サービスを受ける環境が整うとともに、緊急時にも医療が受けられる状態になっている	医療体制の充実により、必要なときに必要な医療が受けられる環境づくりを進める	問 13	問 26-24
	平和で、多様な価値観が尊重され、他者への理解が促進し、自分らしく生活できる環境が整っている	個々の人権や多様な価値観の尊重意識を広げるとともに、多文化に触れる機会を創出し、他者理解を促進する	問 25-1 ス	問 26-26
		男女共同参画の取組を進める	問 25-1 セ	問 26-27
		みんなが使いやすいデザインに配慮した施設環境をつくる	問 25-2 ナ	問 26-28
		平和への意識向上を進める	問 25-1 シ	問 26-25
	地域で支えあい、助けあえる関係が築けている	常日頃から、地域の中でお互いに助けあえる地域共生社会の関係づくりを進める	問 25-2 ヒ	問 26-29
	介護や医療保険、障害者支援の福祉サービスなど、誰もが必要な支援を受け安心できている	その人らしい自立した生活につながる介護サービスを提供する	-	問 26-30
		医療保険制度を適切に運営する	-	問 26-31
		高齢者が自分らしく生活できる環境づくりを進める	問 25-2 ハ	問 26-32
		障害者が自分らしく生活できる環境づくりを進める	-	問 26-33
		生活困窮者などに必要な支援を行う	-	問 26-35 問 26-36
		住宅困窮者に居住支援を行う	-	問 26-34
	安全で安心して暮らせるまち	事故や犯罪などに巻き込まれない生活が送れている	交通マナーの向上や交通事故を防ぐ環境づくりを進める	問 25-2 ト
空き家対策や建築物の安全性の確保を行うとともに、良好な住環境の創出を進める			-	問 26-38
防犯意識の向上とともに、犯罪防止につながる環境づくりを進める			-	問 26-39
安心してサービスや物の購入などの消費行動が行える環境づくりを進める			問 20	問 26-40
災害などの非常時への準備が進められ、強靱な環境になっている		災害被害を最小限にする強靱な基盤の整備を計画的に進める	-	問 26-41
		発災時にみんなが迅速に柔軟に対応できる環境づくりを進める	問 18 問 19	問 26-42
		火災予防や火災被害を最小限にする取組を進める	-	問 26-43

施策体系			関係設問	
基本目標	個別目標	個別目標の方向性	施策指標 (施策関連)	満足度
住みよいまち 人と自然が共生した	良好な生活環境とともに、まちが美しくなっている	環境汚染などによる健康被害の発生を防ぐ	問 21	問 26-44
		安全安心な水を安定的に供給する	問 25-1 工	問 26-45
		まちの美化を進める	問 10	問 26-46
	人が緑と触れあっている	まちの緑の適正な保全とまちの緑化を進める	—	問 26-47
		貴重な自然環境と生物多様性の保全・活用を進める	問 25-1 サ	問 26-48
	環境の負荷を減らした循環共生型の地域社会がつけられている	ごみの減量や資源の有効活用など 3 R + R を進める	問 11	問 26-49
省エネルギー化や再生可能エネルギーによる脱炭素を推進し、地球温暖化防止を進める		問 12	問 26-50	
にぎわいと活力を創造するまち	活発な経済活動が行われている	地域の事業者や個人事業主が活躍し、事業継続ができる環境づくりを進める	問 15 問 16 問 25-1 キ	問 26-51
		新たに市内で活動する事業者や個人事業主が、活動しやすい環境づくりを進める	—	問 26-52
		農業や水産業など、地域で安全な食が生産され、消費される環境づくりを進める	問 25-1 オ	問 26-53
	観光資源が活かされている	関西国際空港とのアクセス性を活かすとともに、観光資源が充実し、観光客が過ごしやすい環境づくりを進める	問 25-1 カ	問 26-54
	岸和田の魅力が伝わっている	岸和田の魅力を活用し、まちのイメージの向上を進める	—	問 26-55
	にぎわいや活力を支える基盤が整っている	地域の活性化を導く拠点の形成を進める	問 25-2 二 問 25-2 ヌ	問 26-56
		拠点とのアクセス性の向上を図る	問 25-2 ノ	問 26-57
		適正な土地利用と景観形成を進める	問 25-2 ネ	問 26-58
	みんなで作る持続可能なまち	みんなが主役の協働・連携したまちづくりが行われている	地域の担い手が育ち、まちづくり活動が活発に行われている環境づくりを進める	問 8 問 9 問 23 問 25-2 フ
当事者意識の醸成とともに、様々な主体が力を発揮し、協働・連携できる環境づくりを進める			問 25-1 ソ	—
持続可能で信頼される行政になっている		業務の効率的かつ効果的な推進に資する職員の育成を進める	—	—
		適正で効率的かつ効果的な業務の実施を進める	—	—
		行政手続きが便利になる環境づくりを進める	問 24 問 25-2 ハ	—
		安定的な歳入確保と適切な歳出管理を進める	—	—
		市独自の歳入確保を進める	—	—

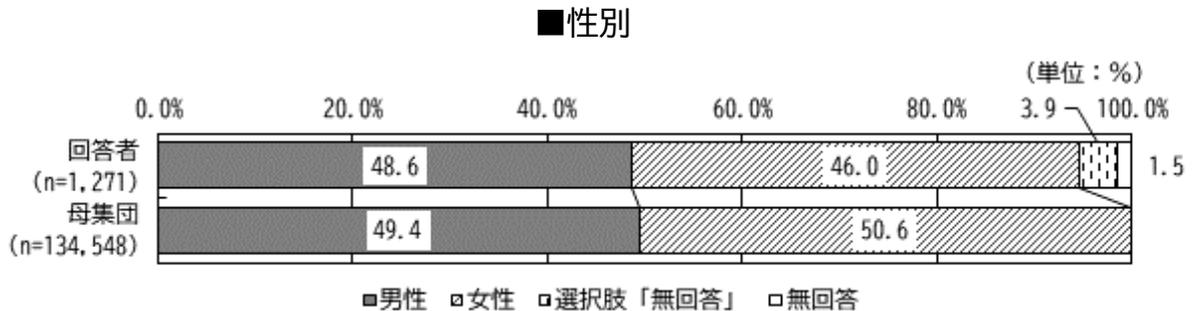
第2 回答者の属性

第2 回答者の属性

1. 母集団*と回答者の比較

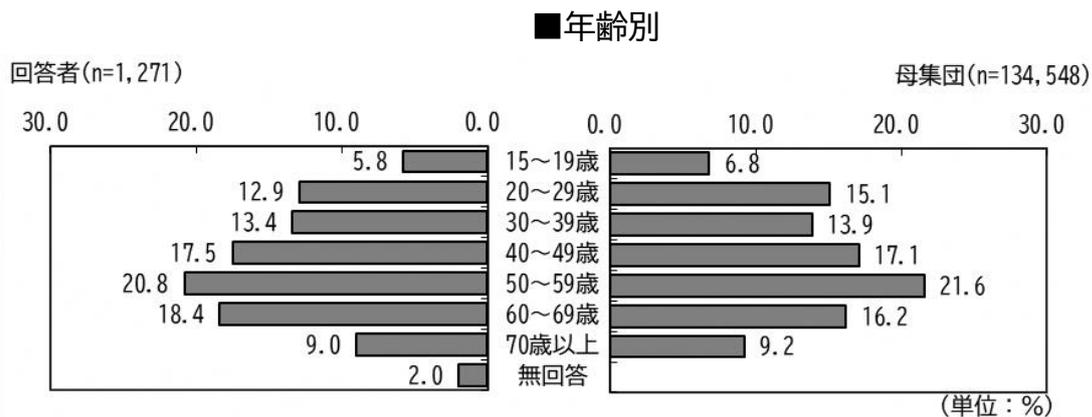
(1) 性別 (問 28)

性別にみると、回答者の割合は、「選択肢で『無回答』を選んだ人」と単なる「無回答」を除くと、母集団とは逆に女性の割合がやや低くなっています。



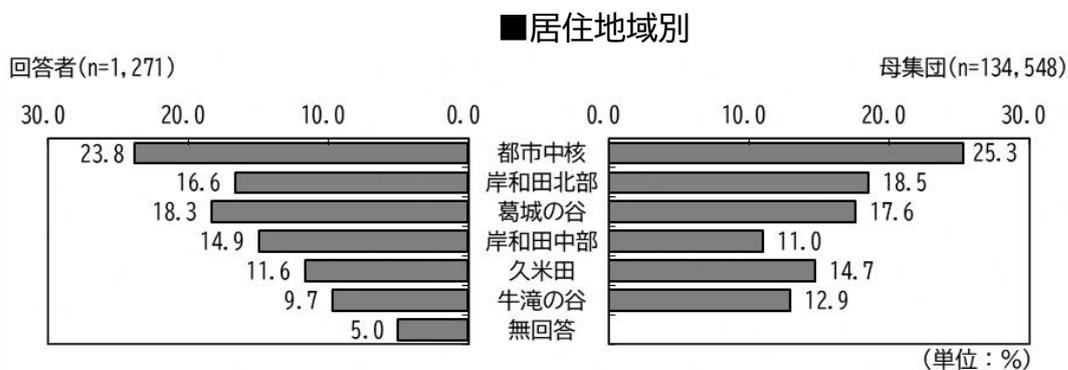
(2) 年齢別 (問 29)

年齢別にみると、回答者の割合は、母集団に比べて「40～49歳」「60～69歳」が高く、その他が低くなっています。



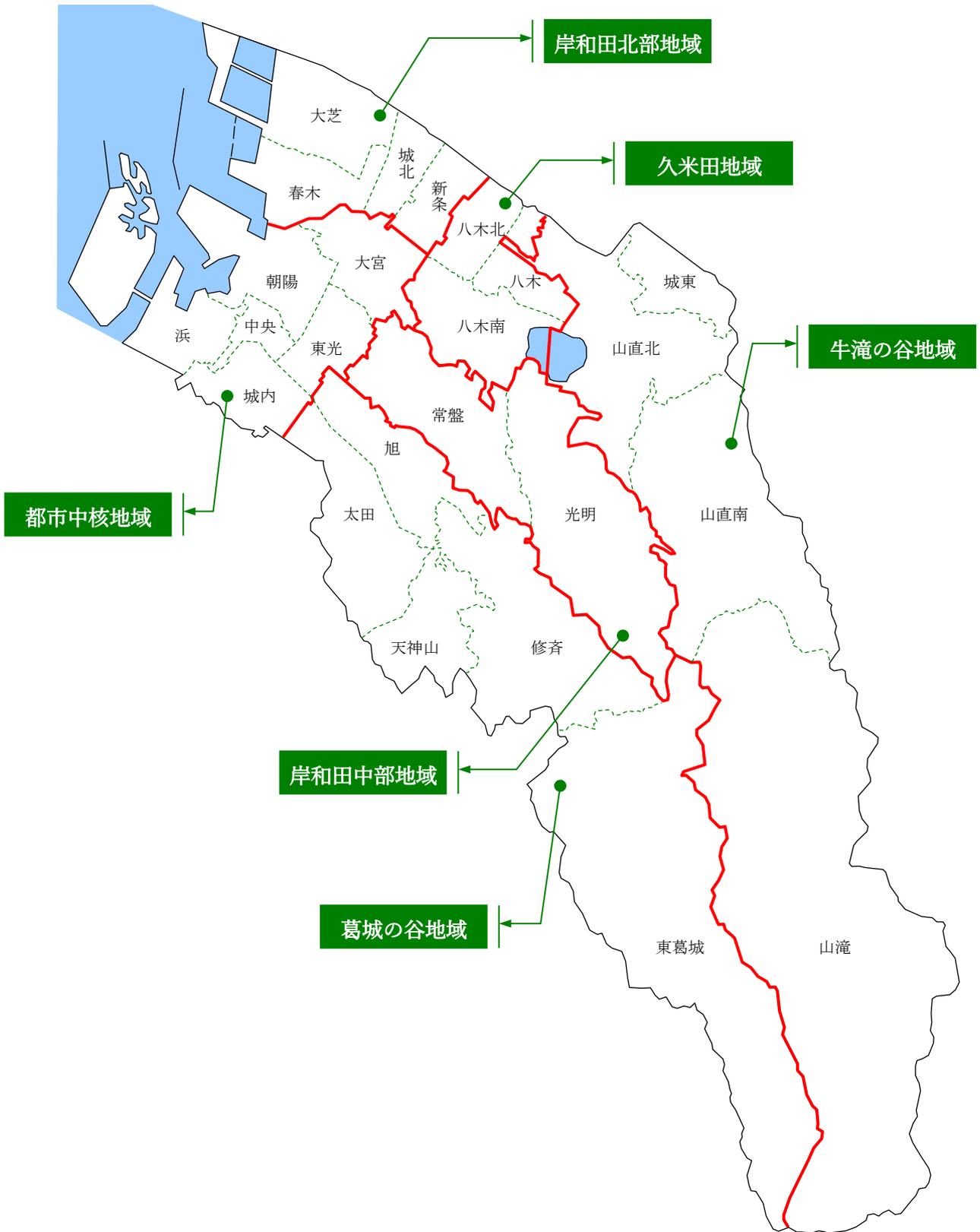
(3) 居住地域別 (問 30)

居住地域別にみると、回答者の割合は、母集団に比べて「葛城の谷地域」「岸和田市中部地域」が高く、その他が低くなっています。



※母集団とは、アンケート対象者抽出の基準となった、令和6年7月30日現在の15歳以上75歳未満の岸和田市住民基本台帳に記載されている方の合計を言います。

■岸和田市内各町と圏域の関係

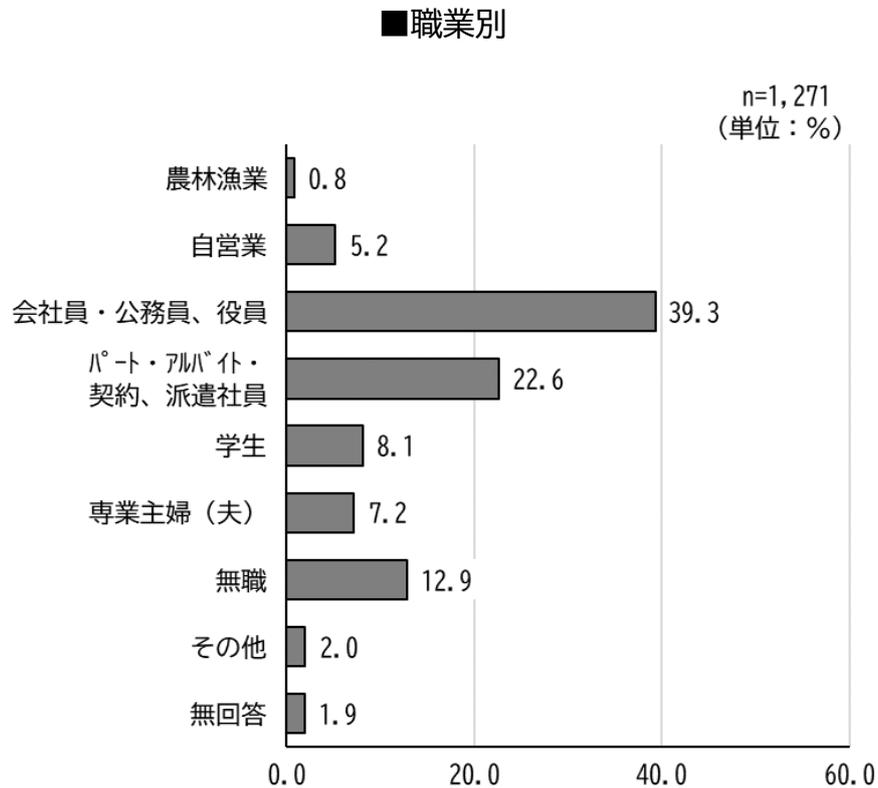


2. 回答者の内訳

(1) 職業別、勤務地・通学地別

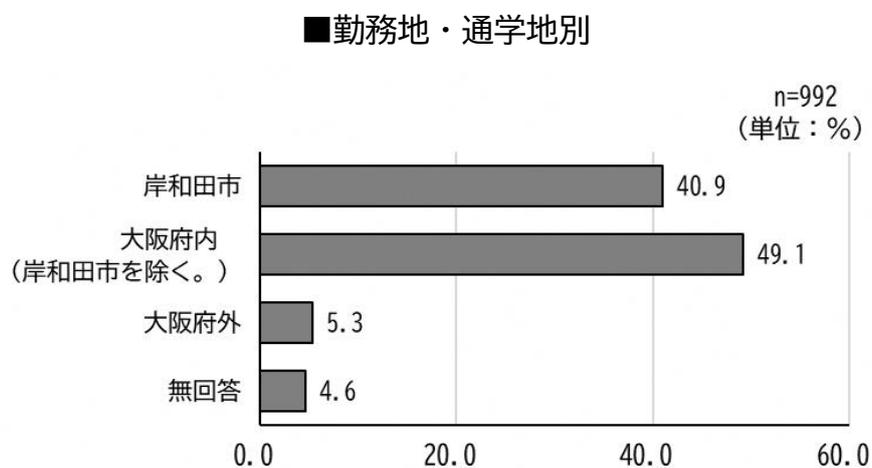
① 職業別 (問 31)

回答者の職業は、「会社員・公務員、役員」(39.3%)が最も多く、次いで「パート、アルバイト、契約、派遣社員」(22.6%)、「無職」(12.9%)となっています。



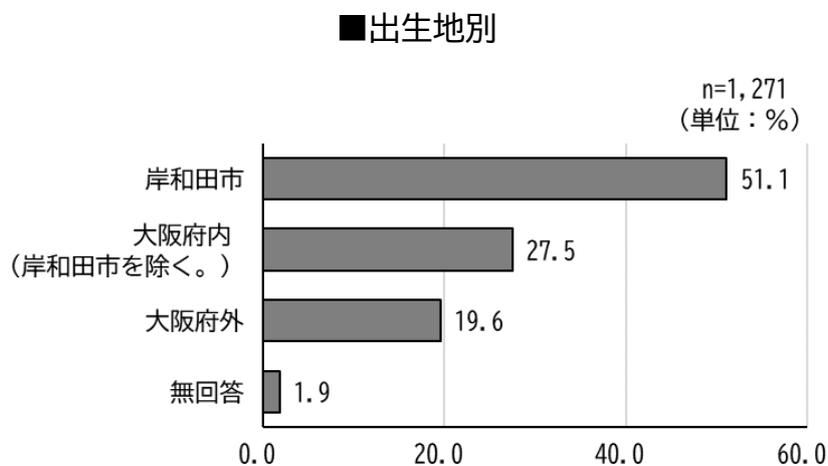
② 勤務地・通学地別 (問 32)

回答者の勤務地・通学地は、「大阪府内(岸和田市を除く。)」(49.1%)が最も多く、次いで「岸和田市」(40.9%)、「大阪府外」(5.3%)となっています。



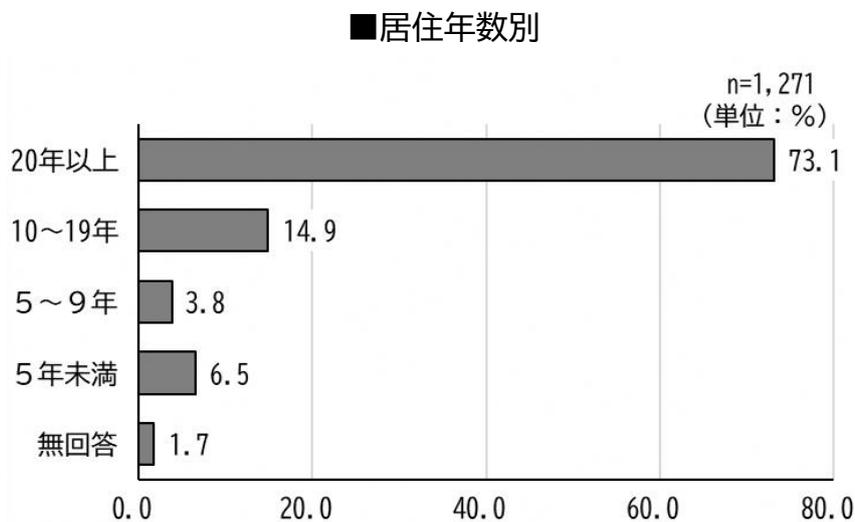
(2) 出生地別 (問 33)

回答者の出生地は、「岸和田市」(51.1%)が最も多く、次いで「大阪府内(岸和田市を除く。)」(27.5%)、「大阪府外」(19.6%)となっています。



(3) 居住年数別 (問 34)

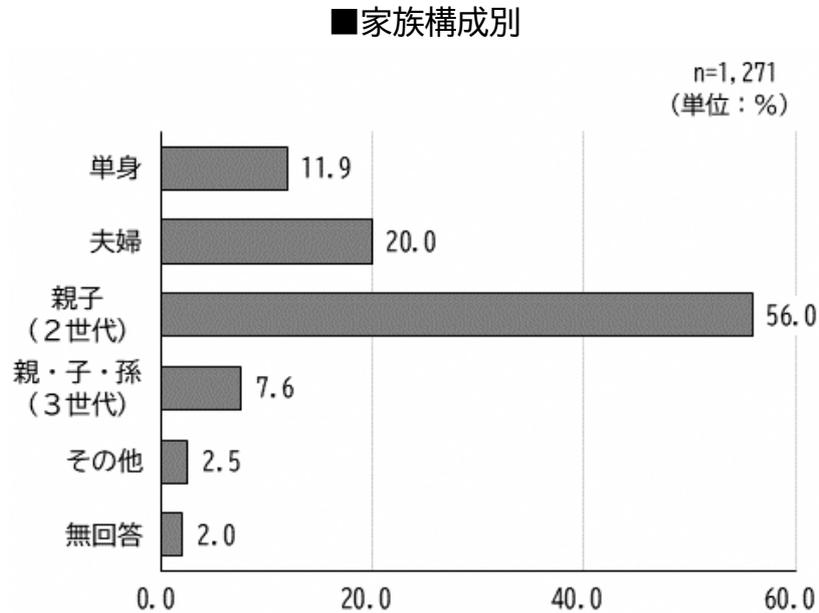
回答者の居住年数は、「20年以上」(73.1%)が最も多く、次いで「10~19年」(14.9%)、「5年未満」(6.5%)となっています。



(4) 家族構成別、世帯人員別

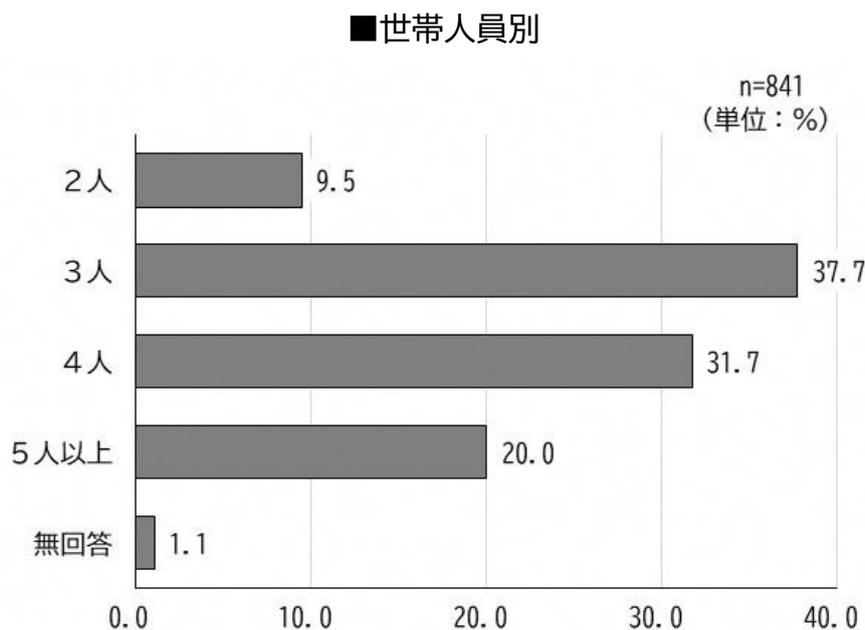
① 家族構成別 (問 35)

回答者の家族構成は、「親子 (2世代)」世帯 (56.0%) が最も多く、次いで「夫婦」世帯 (20.0%)、「単身」世帯 (11.9%) となっています。



② 世帯人員別 (問 35-1)

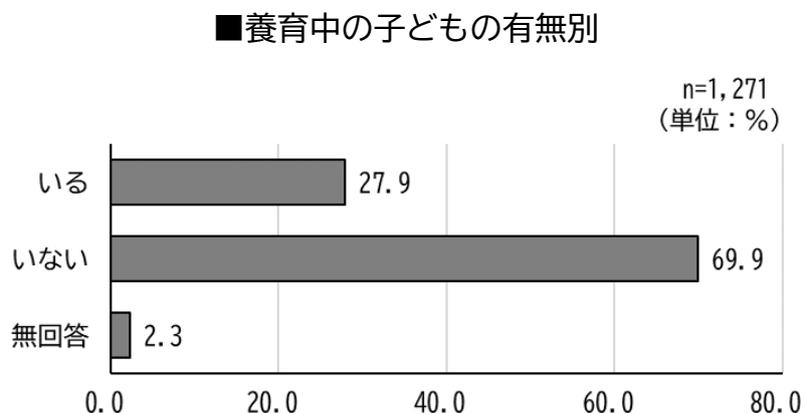
家族構成が「単身」、「夫婦」以外の回答者の世帯人員は、「3人」世帯 (37.7%) が最も多く、次いで「4人」世帯 (31.7%)、「5人」世帯 (20.0%) となっています。



(5) 養育中の子どもの有無別、養育中の子どもの内訳別

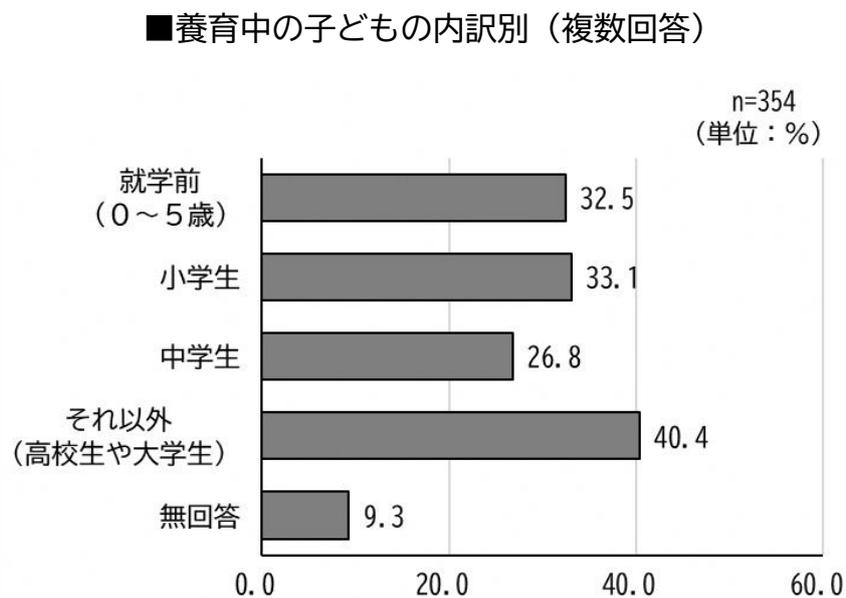
① 養育中の子どもの有無別 (問 36)

養育中の子どもの有無は、「いる」(27.9%)、「いない」(69.9%)となっています。



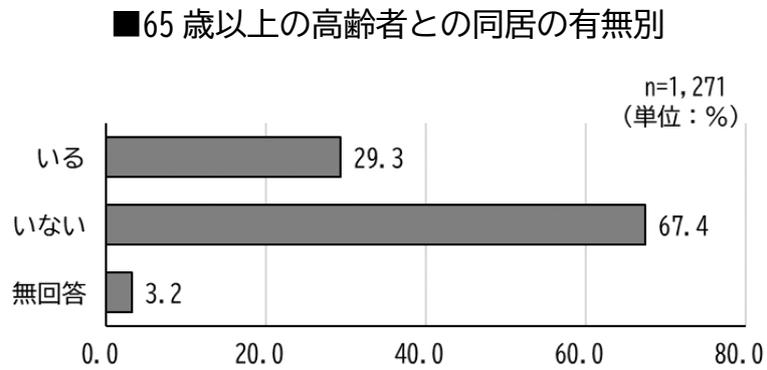
② 養育中の子どもの内訳別 (問 36-1)

養育中の子どもの内訳は、「それ以外 (高校生や大学生)」(40.4%)が最も多く、次いで「小学生」(33.1%)、「就学前 (0~5歳)」(32.5%)となっています。



(6) 65歳以上の高齢者との同居の有無別 (問 37)

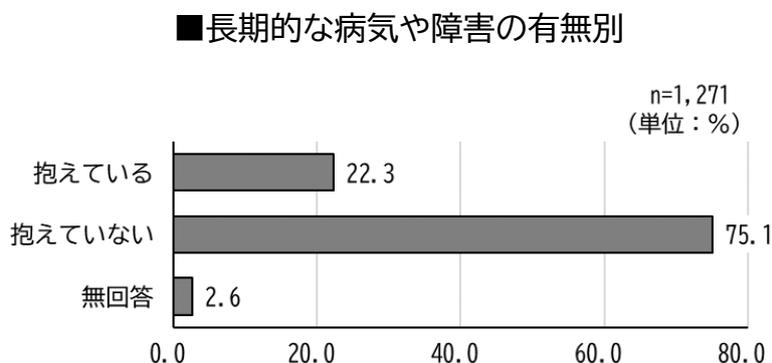
65歳以上の高齢者との同居の有無は、「いる」(29.3%)、「いない」(67.4%)となっています。



(7) 長期的な病気と障害の有無別、日常生活への支障の度合い別

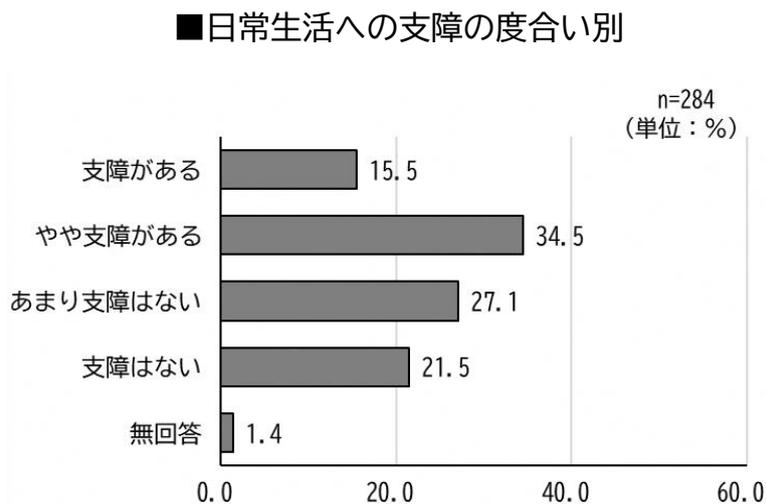
① 長期的な病気や障害の有無別 (問 38)

長期的な病気や障害の有無は、「抱えている」(22.3%)、「抱えていない」(75.1%)となっています。



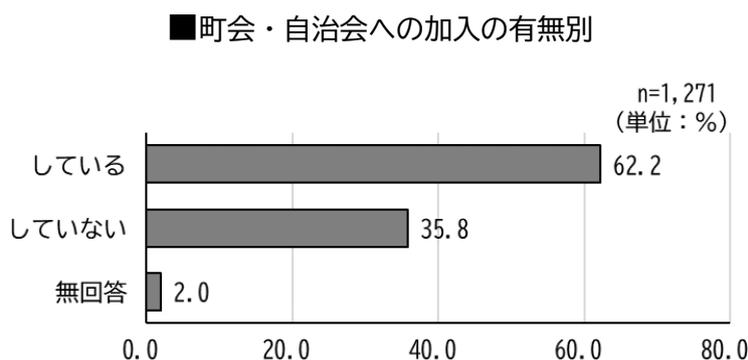
② 日常生活への支障の度合い別 (問 38-1)

長期的な病気や障害による日常生活への支障の度合いは、「やや支障がある」(34.5%)が最も多く、次いで「あまり支障はない」(27.1%)、「支障はない」(21.5%)となっています。



(8) 町会・自治会への加入の有無別 (問 39)

町会・自治会への加入の有無は、「している」(62.2%)、「していない」(35.8%)となっています。



第3 住みやすさ意識調査結果

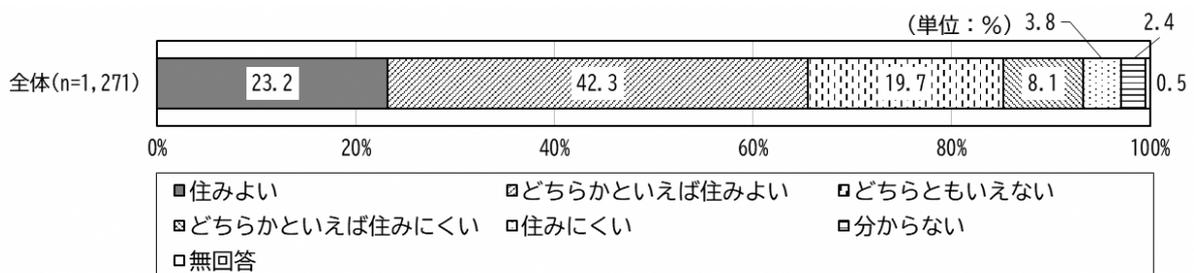
第3 住みやすさ意識調査結果

1. 「住みやすさ」の全体の結果

〔問1〕の住みやすさ意識調査の結果、「住みよい」(23.2%)と「どちらかといえば住みよい」(42.3%)をあわせた『住みよい』は65.5%となっており、全体の約3分の2の人が、岸和田市は『住みよい』と感じています。

一方、「住みにくい」(3.8%)と「どちらかといえば住みにくい」(8.1%)をあわせた『住みにくい』は11.9%となっており、約1割の人が、岸和田市を『住みにくい』と感じています。

■岸和田市の住みやすさ

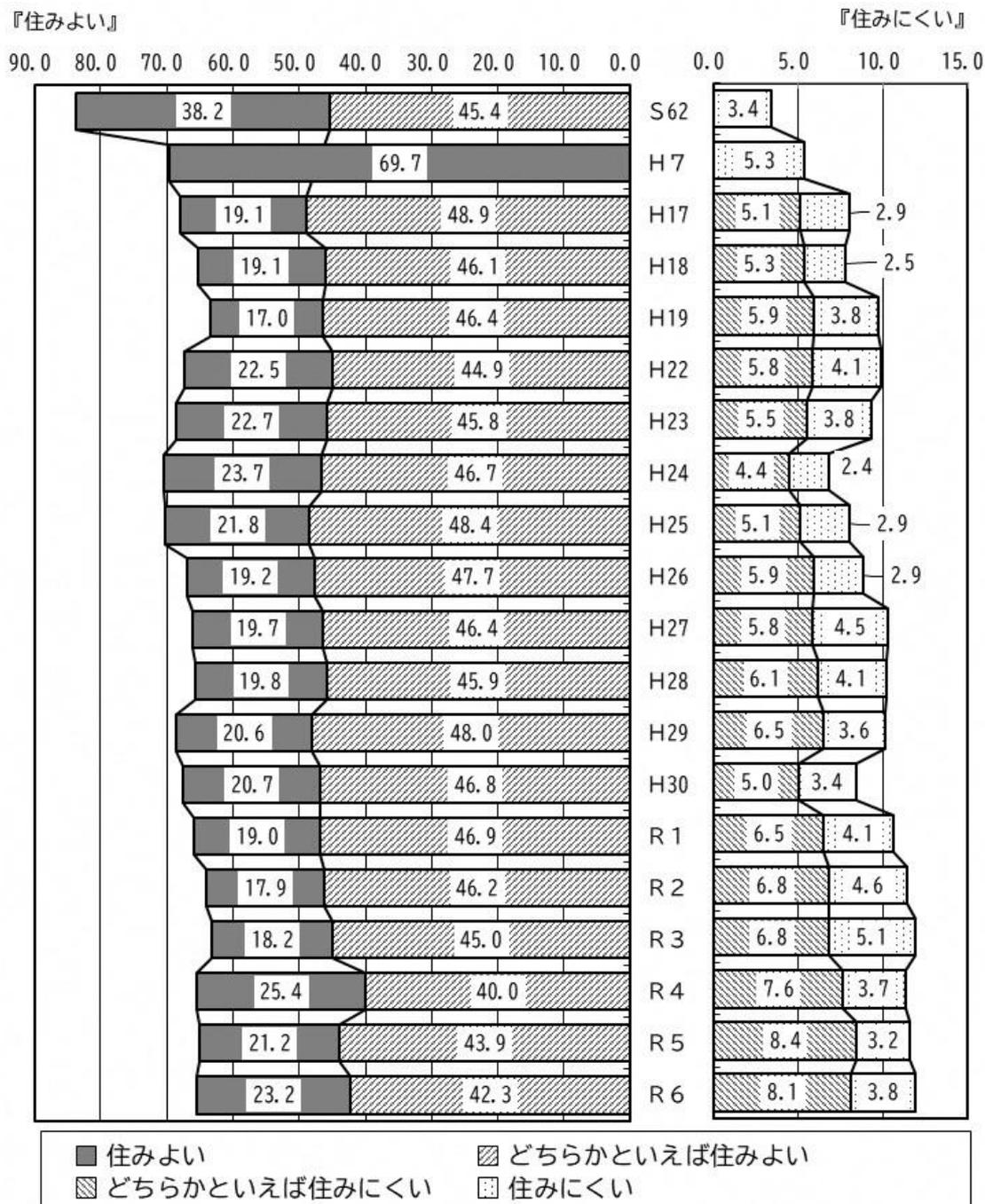


2. 「住みやすさ」の経年比較

昭和62年の調査時には83.6%と8割を超える人が、岸和田市を『住みよい』と感じていましたが、平成7年の調査時には、約7割に減少しました。その後は増減があるものの、令和6年は『住みよい』と感じている人が65.5%となっています。

一方、岸和田市を『住みにくい』と感じている人は、昭和62年の調査で3.4%であったものの、その後、増加を続け、平成22年の調査では1割に迫る数値となりました。その後、1割未満となった期間を経て、平成27～29年は約1割で推移していましたが、平成30年は1割を下回り、令和元年から令和6年の調査では、再び1割を超えています。

■経年比較：岸和田市の住みやすさ



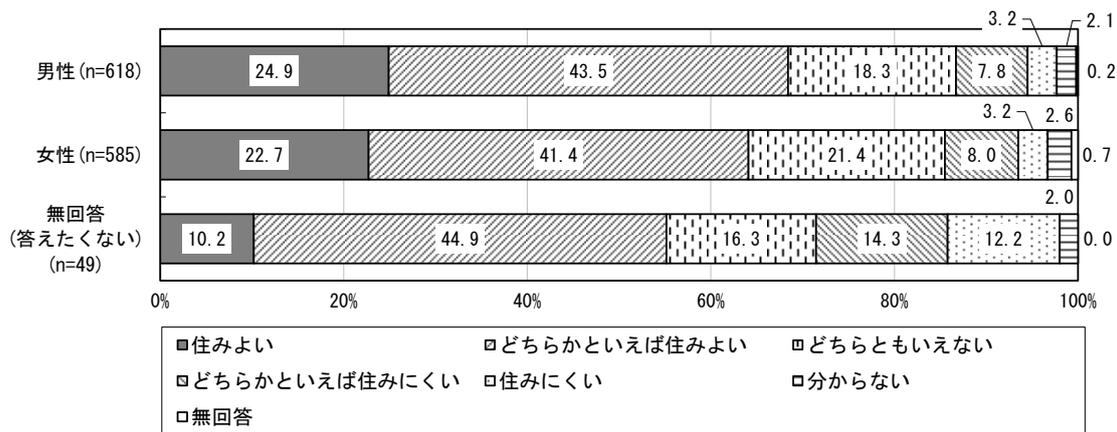
3. 「住みやすさ」の属性分析

(1) 性別

性別にみると、『住みよい』は「男性」が68.4%で、「女性」の64.1%より4.3ポイント上回っています。

一方、『住みにくい』は「男性」が11.0%で、「女性」の11.2%より0.2ポイント下回っています。

■性別：岸和田市の住みやすさ

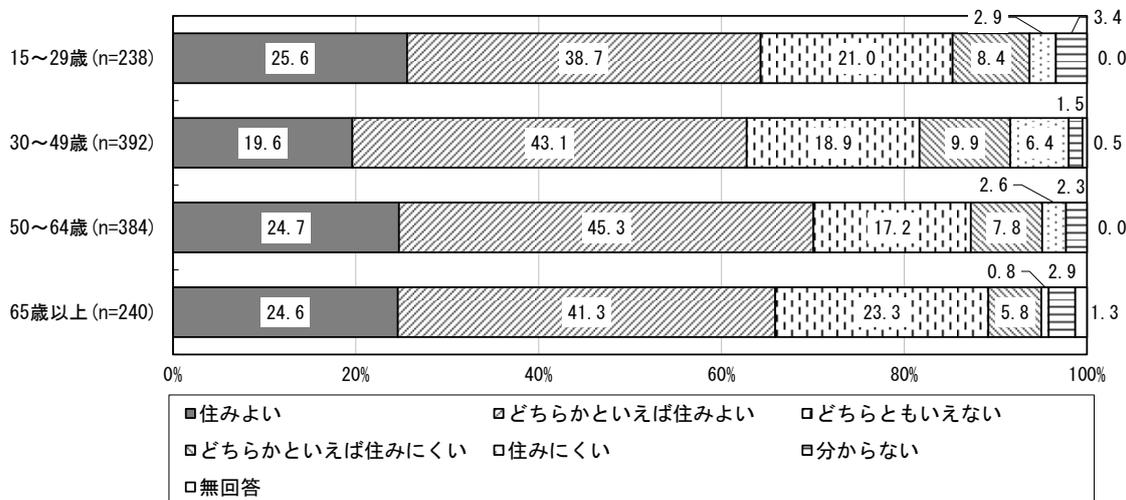


(2) 年齢4区分別

年齢4区分別にみると、『住みよい』は、「50～64歳」で70.0%が最も高く、次いで「65歳以上」で65.9%となっています。

一方、『住みにくい』は、「30～49歳」で16.3%が最も高く、次いで「15～29歳」で11.3%となっています。

■年齢4区分別：岸和田市の住みやすさ

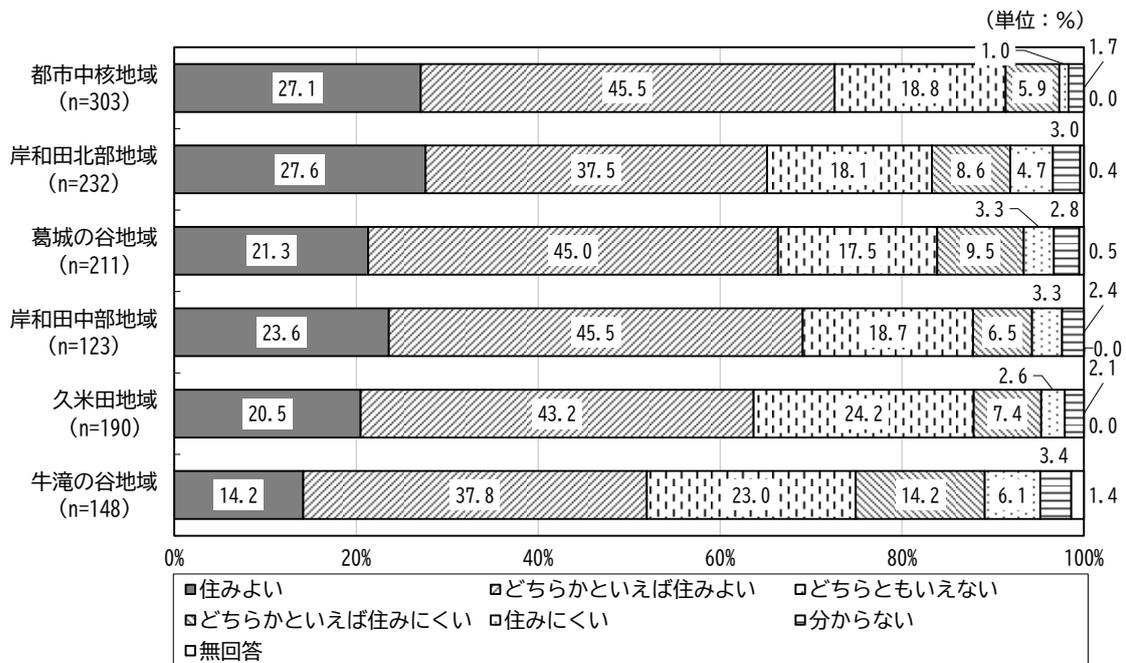


(3) 居住地域別

居住地域別にみると、『住みよい』は「都市中核地域」(72.6%)が最も高く、次いで「岸和田中部地域」(69.1%)となっています。

一方、『住みにくい』は「牛滝の谷地域」(20.3%)が最も高く、次いで「岸和田北部地域」(13.3%)となっています。

■居住地域別：岸和田市の住みやすさ



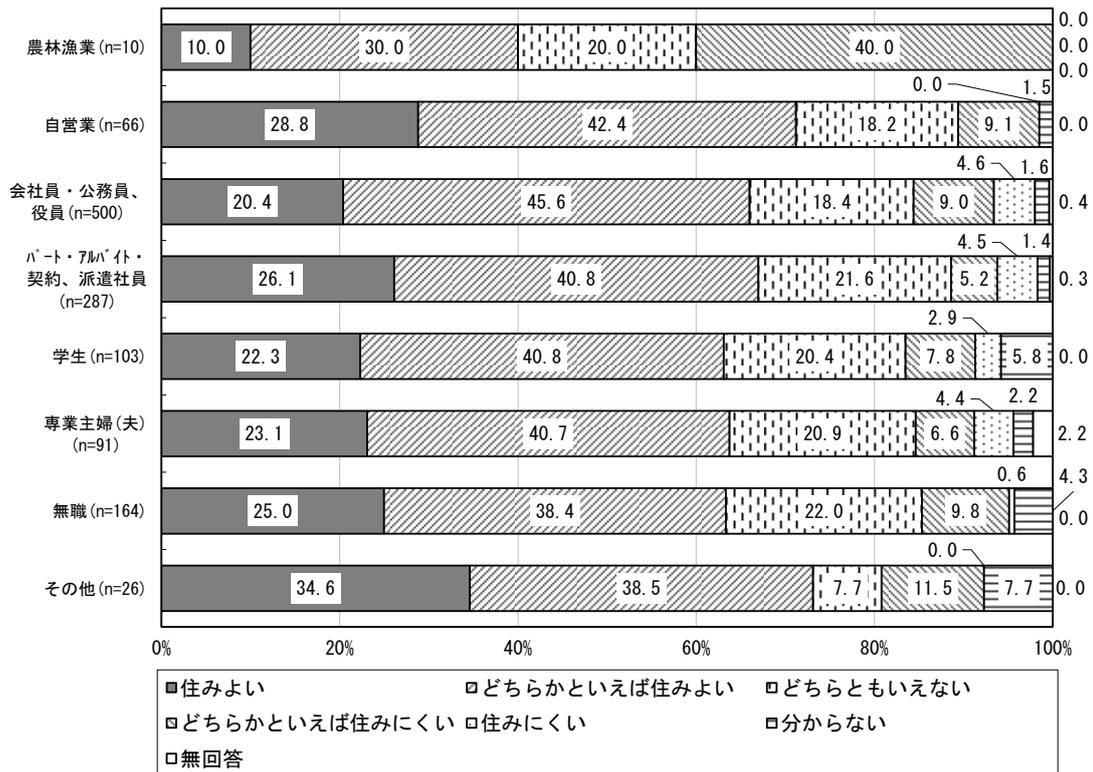
(4) 職業別、勤務地・通学地別

①職業別

職業別にみると、『住みよい』は「その他」(73.1%)が最も高く、次いで「自営業」(71.2%)、「パート・アルバイト・契約、派遣社員」(66.9%)となっています。

一方、『住みにくい』は回答数が少ない「農林漁業」を除き、「会社・公務員、役員」(13.6%)が最も高く、次いで「その他」(11.5%)となっています。

■職業別：岸和田市の住みやすさ

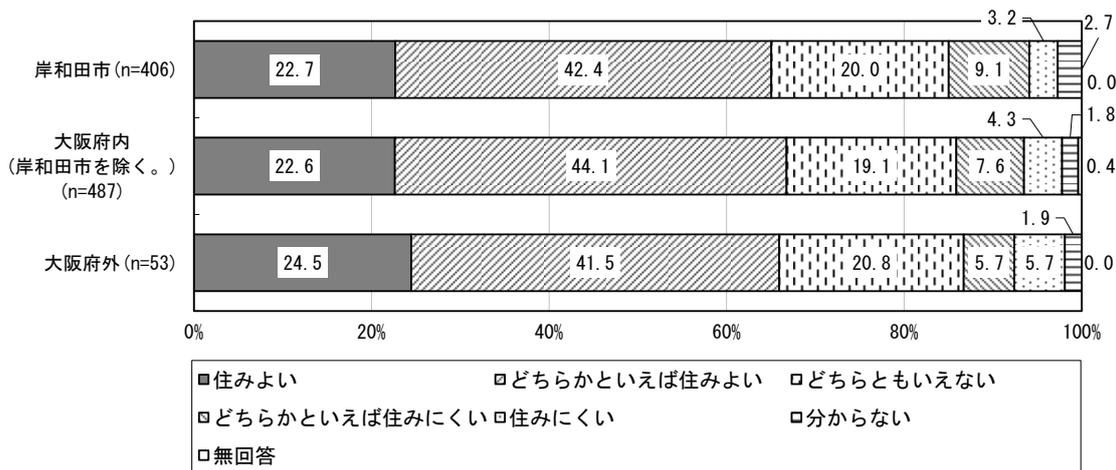


②勤務地・通学地別

勤務地・通学地別にみると、『住みよい』は「大阪府内（岸和田市を除く。）」（66.7%）が最も高く、次いで「大阪府外」（66.0%）、「岸和田市」（65.1%）となっています。

一方、『住みにくい』は「岸和田市」（12.3%）が最も高く、次いで「大阪府内（岸和田市を除く。）」（11.9%）、「大阪府外」（11.4%）となっています。

■勤務地・通学地別：岸和田市の住みやすさ

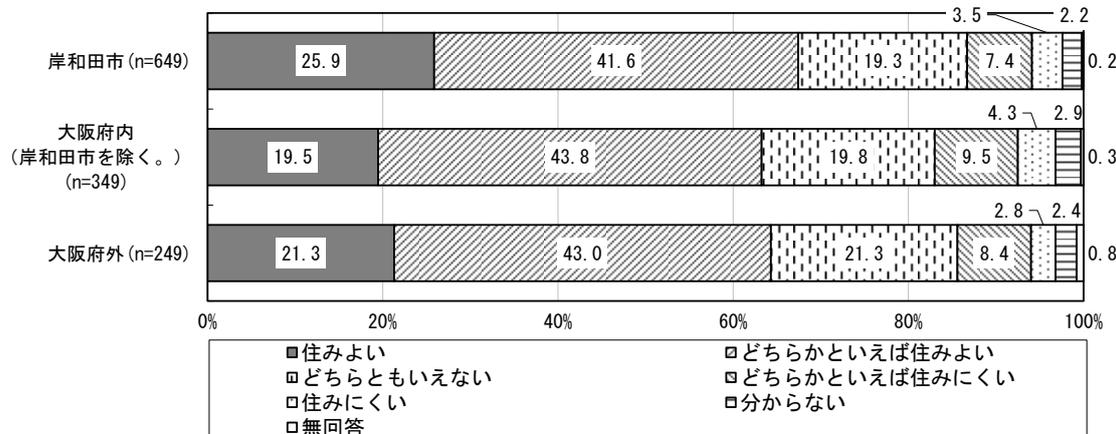


(5) 出生地別

出生地別にみると、『住みよい』は「岸和田市」（67.5%）が最も高く、次いで「大阪府外」（64.3%）、「大阪府内（岸和田市を除く。）」（63.3%）となっています。

一方、『住みにくい』は「大阪府内（岸和田市を除く。）」（13.8%）が最も高く、次いで「大阪府外」（11.2%）、「岸和田市」（10.9%）となっています。

■出生地別：岸和田市の住みやすさ

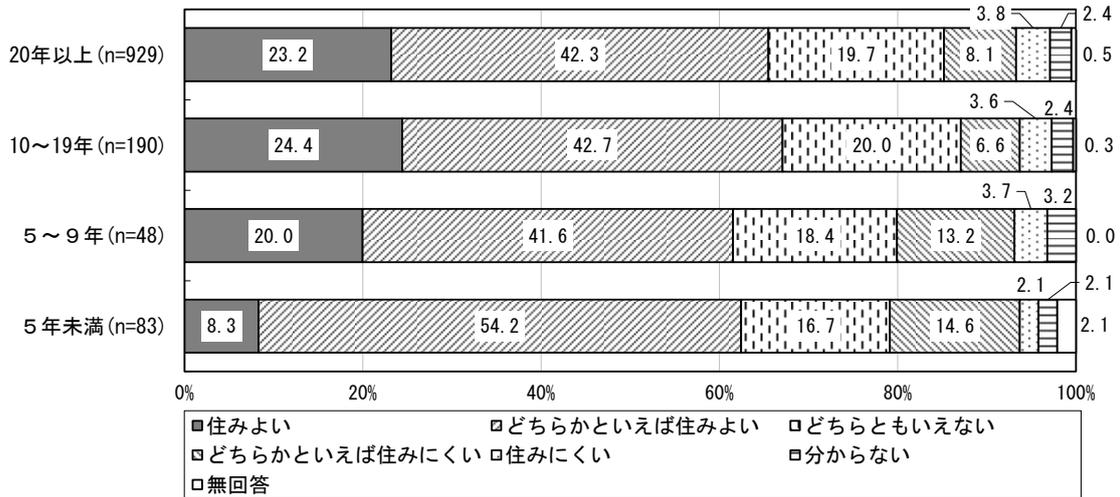


(6) 居住年数別

居住年数別にみると、『住みよい』は「10～19年」(67.1%)が最も高く、次いで「20年以上」(65.5%)、「5年未満」(62.5%)となっています。

一方、『住みにくい』は「5～9年」(16.9%)が最も高く、次いで「5年未満」(16.7%)、「20年以上」(11.9%)となっています。

■居住年数別：岸和田市の住みやすさ



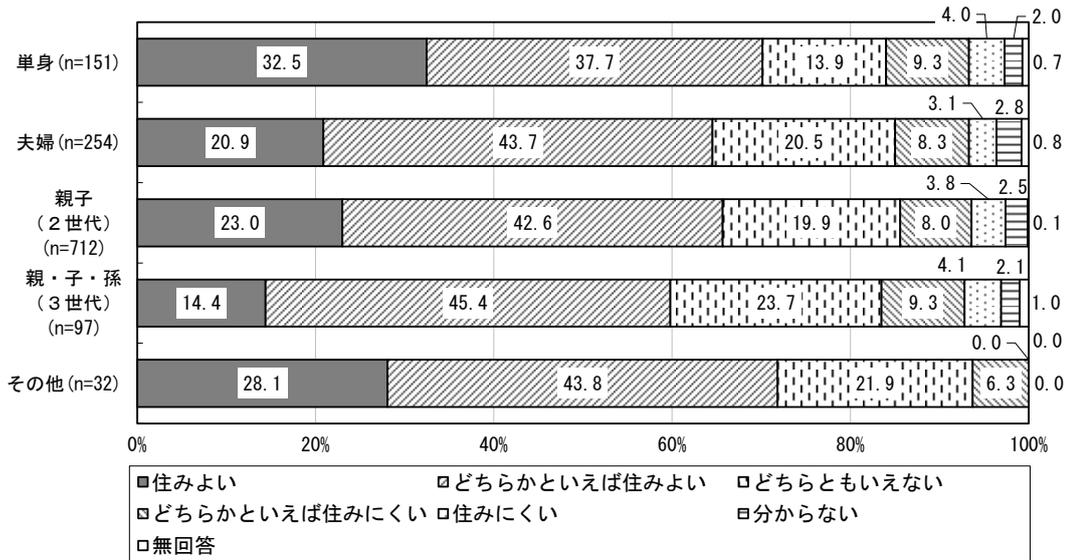
(7) 家族構成別、世帯人員別

① 家族構成別

家族構成別にみると、『住みよい』は「その他」世帯（71.9%）が最も高く、次いで「単身」世帯（70.2%）、「親子（2世代）」世帯（65.6%）となっています。

一方、『住みにくい』は「親・子・孫（3世代）」世帯（13.4%）が最も高く、次いで「単身」世帯（13.3%）、「親子（2世代）」世帯（11.8%）となっています。

■ 家族構成別：岸和田市の住みやすさ

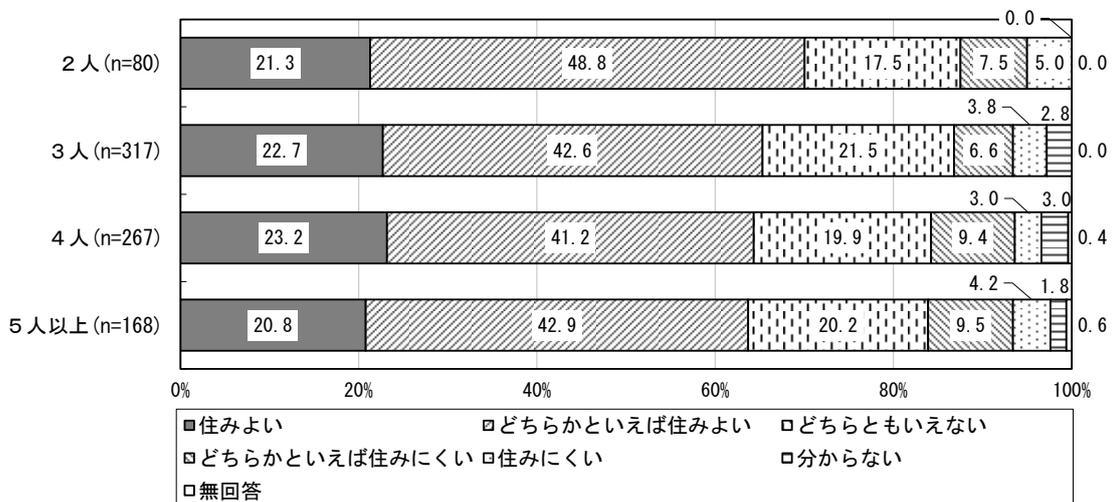


② 世帯人員別

家族構成が「単身」、「夫婦」以外の世帯人員別にみると、『住みよい』は「2人」世帯（70.1%）が最も高く、次いで「3人」世帯（65.3%）、「4人」世帯（64.4%）となっています。

一方、『住みにくい』は「5人以上」世帯（13.7%）が最も高く、次いで「2人」世帯（12.5%）、「4人」世帯（12.4%）となっています。

■ 世帯人員別：岸和田市の住みやすさ



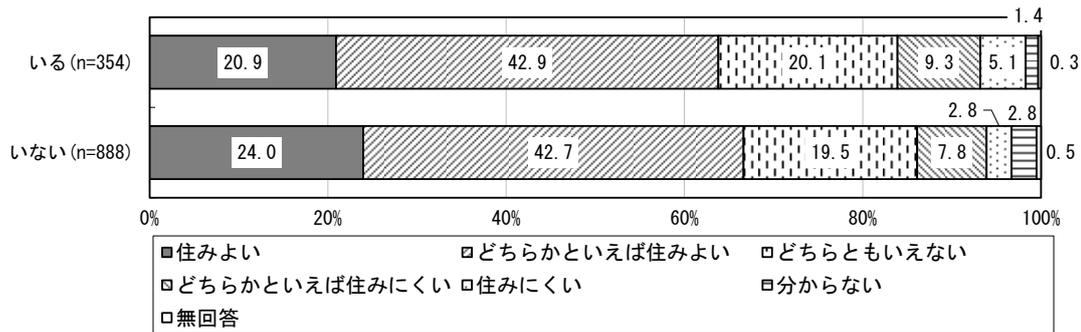
(8) 養育中の子どもの有無別、養育中の子どもの内訳別

①養育中の子どもの有無別

養育中の子どもの有無別にみると、「養育中の子どもがいる」世帯では、『住みよい』が63.8%、『住みにくい』が14.4%となっています。

一方、「養育中の子どもがいない」世帯では、『住みよい』が66.7%、『住みにくい』が10.6%となっています。

■養育中の子どもの有無別：岸和田市の住みやすさ

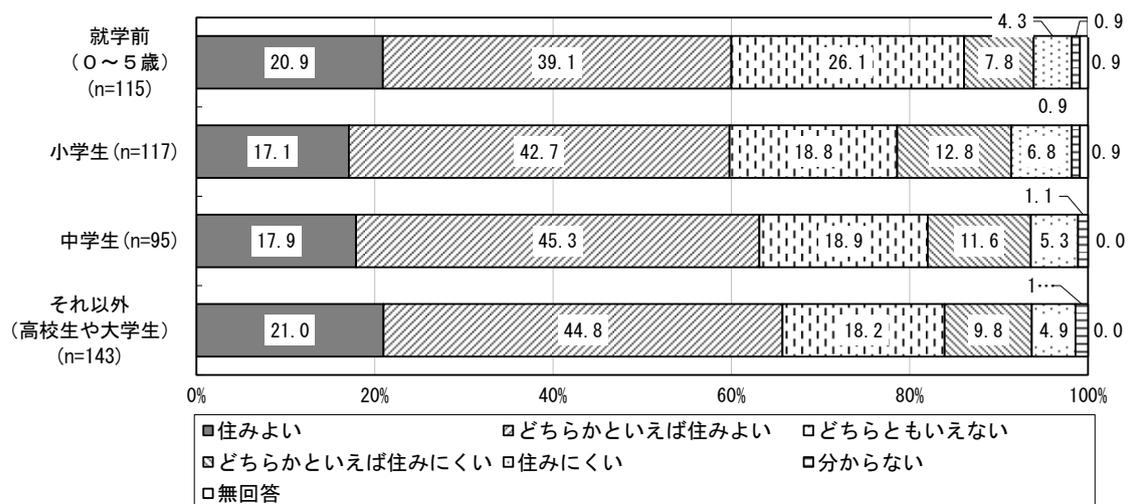


②養育中の子どもの内訳別

養育中の子どもの内訳別にみると、『住みよい』は「就学前 (0～5歳)」(60.0%)、「小学生」(59.8%)、「中学生」(63.2%)の子どもがいる世帯で、前述 (P.15) の全体 (65.5%) を下回っています。

一方、『住みにくい』は、すべての子どもがいる世帯で、前述 (P.15) の全体 (11.9%) を上回っています。

■養育中の子どもの内訳 (複数回答) 別：岸和田市の住みやすさ

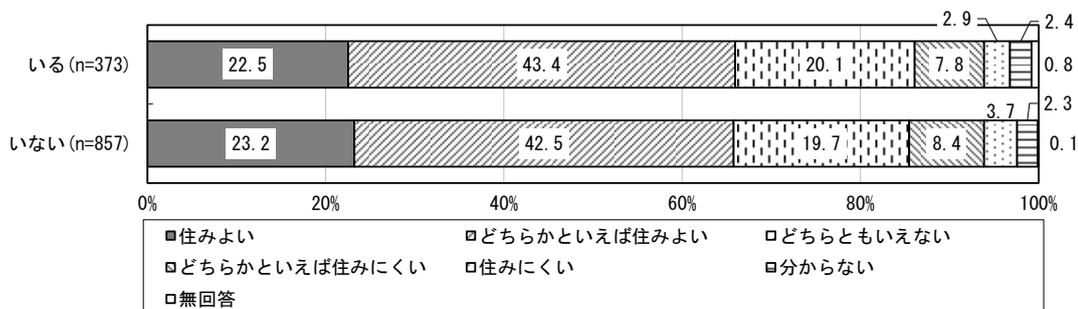


(9) 65歳以上の高齢者との同居の有無別

65歳以上の高齢者との同居の有無別にみると、「いる」世帯では、『住みよい』が65.9%、『住みにくい』が10.7%となっています。

一方、「いない」世帯では、『住みよい』が65.7%、『住みにくい』が12.1%となっています。

■65歳以上の高齢者との同居の有無別：岸和田市の住みやすさ



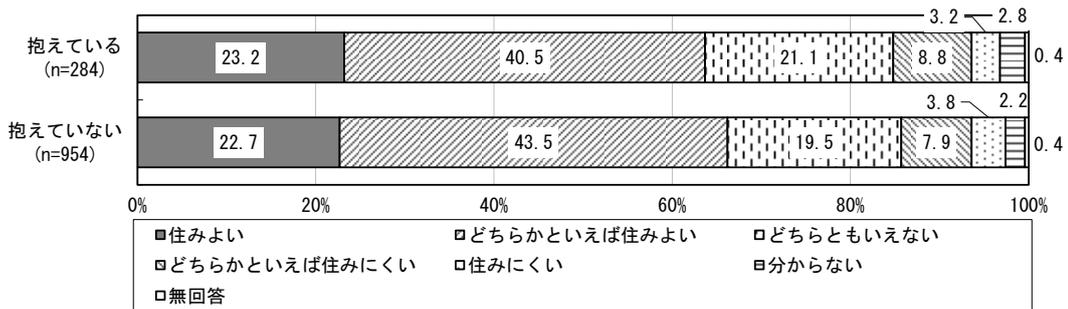
(10) 長期的な病気や障害の有無別、日常生活への支障の度合い別

①長期的な病気や障害の有無別

長期的な病気や障害の有無別にみると、病気や障害を「抱えている」人は、『住みよい』が63.7%、『住みにくい』が12.0%となっています。

一方、「抱えていない」人は、『住みよい』が66.2%、『住みにくい』が11.7%となっています。

■長期的な病気や障害の有無別：岸和田市の住みやすさ

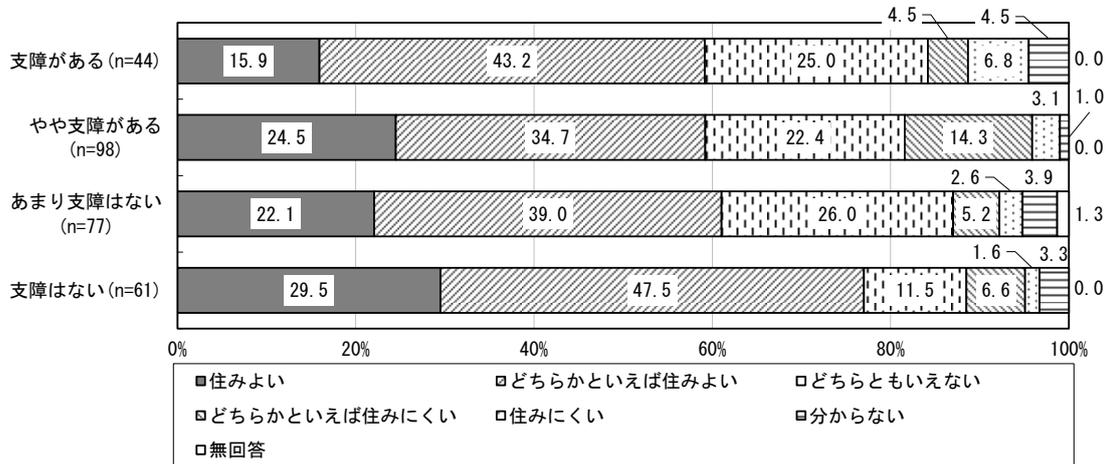


②日常生活への支障の度合い別

日常生活への支障の度合い別にみると、『住みよい』は「支障はない」(77.0%)が最も高くなっています。

一方、『住みにくい』は「やや支障がある」(17.4%)が最も高くなっています。

■日常生活への支障の度合い別：岸和田市の住みやすさ

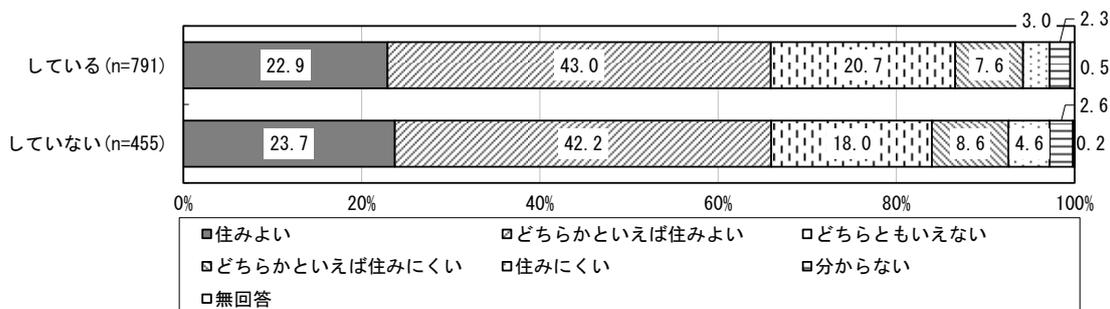


(11) 町会・自治会への加入の有無別

町会・自治会への加入の有無別にみると、「している」は『住みよい』が65.9%、『住みにくい』が10.6%となっています。

一方、「していない」は、『住みよい』が65.9%、『住みにくい』が13.2%となっています。

■町会・自治会への加入の有無別：岸和田市の住みやすさ

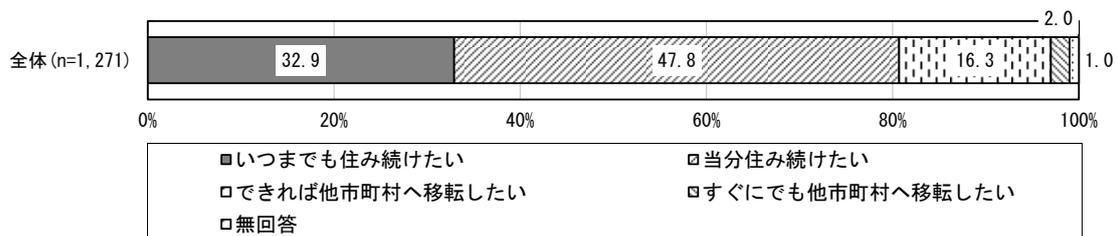


4. 「住み続けたい」の全体の結果

〔問2〕の住み続けたい意識調査の結果、「いつまでも住み続けたい」（32.9％）と「当分住み続けたい」（47.8％）をあわせた『住み続けたい』は80.7％となっており、全体の約8割の人が、岸和田市に『住み続けたい』と感じています。

一方、「できれば他市町村へ移転したい」（16.3％）と「すぐにでも他市町村へ移転したい」（2.0％）をあわせた『住み続けたくない』は18.3％となっており、約2割の人が岸和田市に『住み続けたくない』と感じています。

■岸和田市への居住継続意向



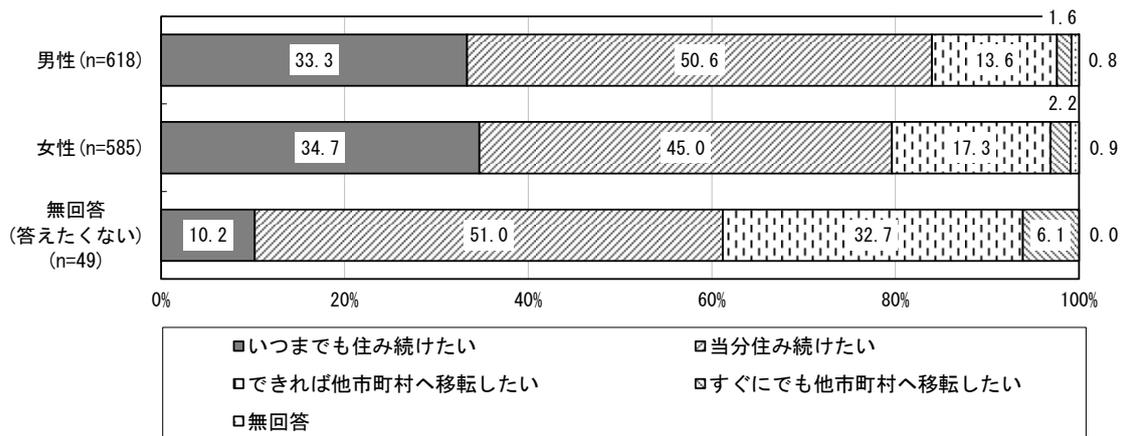
5. 「住み続けたい」の属性分析

(1) 性別

性別にみると、『住み続けたい』は、「男性」が83.9%で、「女性」の79.7%より4.2ポイント上回っています。

また、『住み続けたくない』は、「男性」が15.2%で、「女性」の19.5%を4.3ポイント下回っています。男性は、女性に比べて、居住継続意向が高くなっています。

■性別：岸和田市への居住継続意向

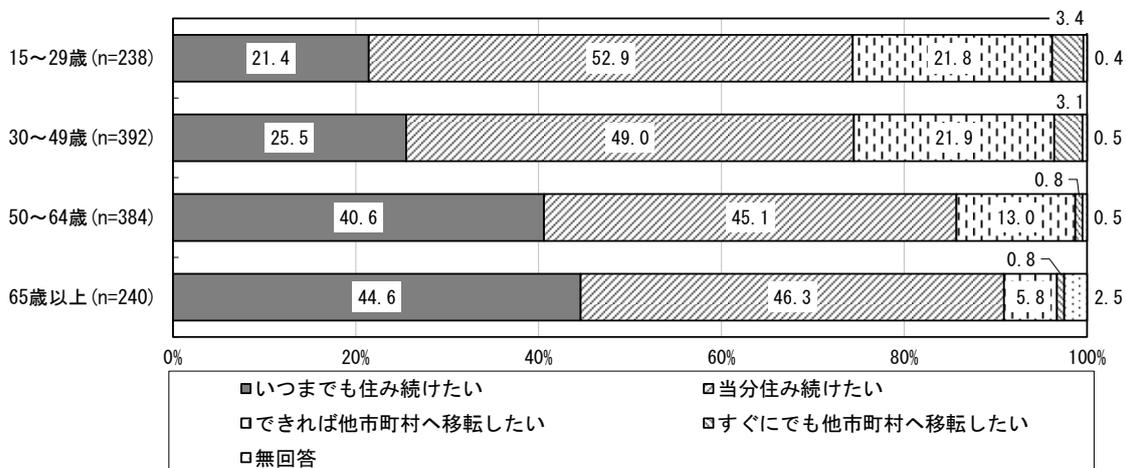


(2) 年齢4区分別

年齢4区分別にみると、『住み続けたい』は、「65歳以上」の年齢層で90.9%が最も高く、「15～29歳」の年齢層で74.3%が最も低くなっています。

一方、『住み続けたくない』は、「15～29歳」の年齢層で25.2%が最も高く、次いで「30～49歳」で25.0%となっています。

■年齢4区分別：岸和田市への居住継続意向

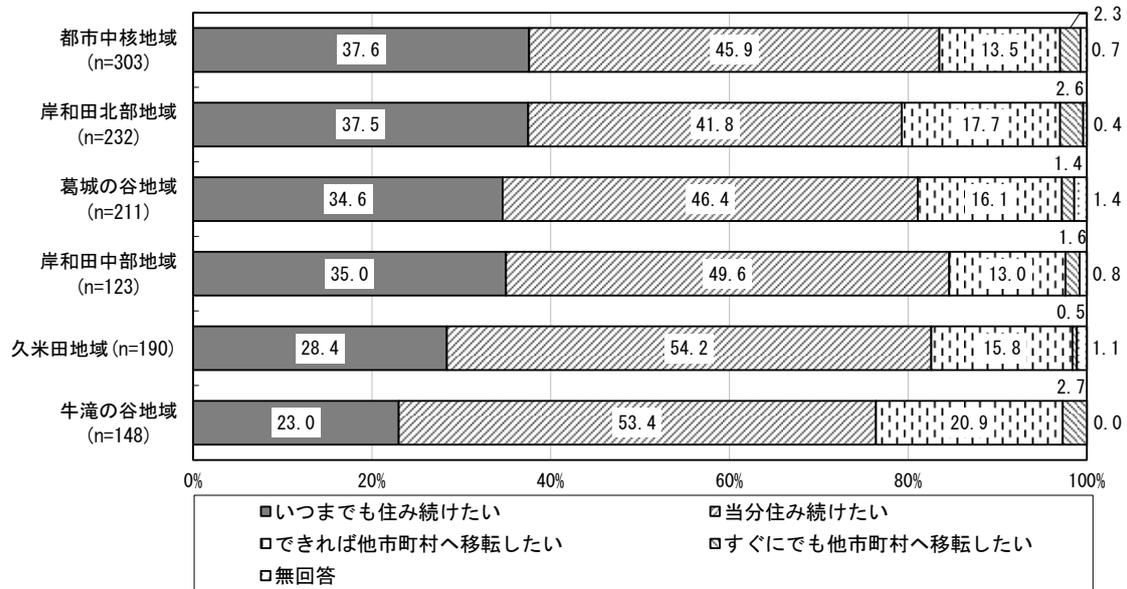


(3) 居住地域別

居住地域別にみると、『住み続けたい』は、「岸和田中部地域」(84.6%)が最も高く、次いで「都市中核地域」(83.5%)となっています。

一方、『住み続けたくない』は、「牛滝の谷地域」(23.6%)が最も高く、次いで「岸和田北部地域」(20.3%)となっています。

■居住地域別：岸和田市への居住継続意向



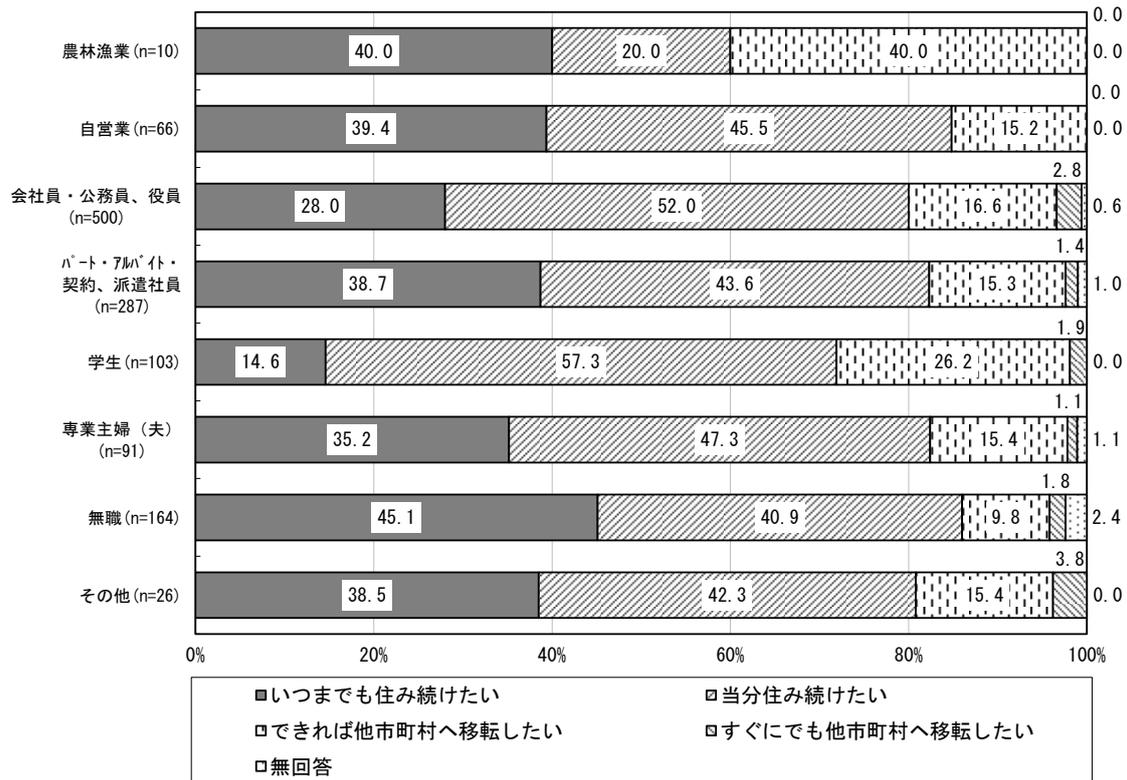
(4) 職業別、勤務地・通学地別

①職業別

職業別にみると、『住み続けたい』は、「無職」(86.0%)が最も高く、次いで「自営業」(84.9%)、「専業主婦(夫)」(82.5%)となっています。

一方、『住み続けたくない』は、回答数が少ない「農業漁業」を除き、「学生」(28.1%)が最も高く、次いで「会社員・公務員、役員」(19.4%)、「その他」(19.2%)となっています。

■職業別：岸和田市への居住継続意向

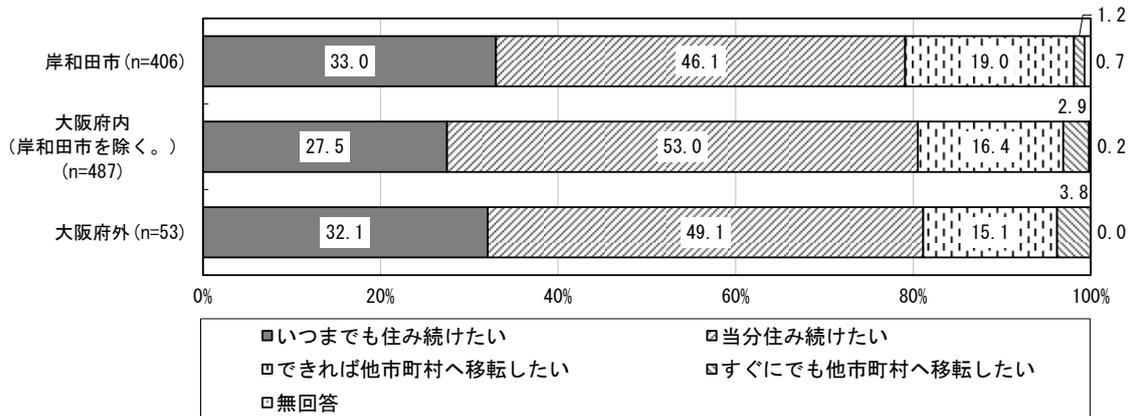


②勤務地・通学地別

勤務地・通学地別にみると、『住み続けたい』は、「大阪府外」(81.2%)が最も高く、次いで「大阪府内(岸和田市を除く。)」(80.5%)、「岸和田市」(79.1%)となっています。

一方、『住み続けたくない』は、「岸和田市」(20.2%)が最も高く、次いで「大阪府内(岸和田市を除く。)」(19.3%)、「大阪府外」(18.9%)となっています。

■勤務地・通学地別：岸和田市への居住継続意向

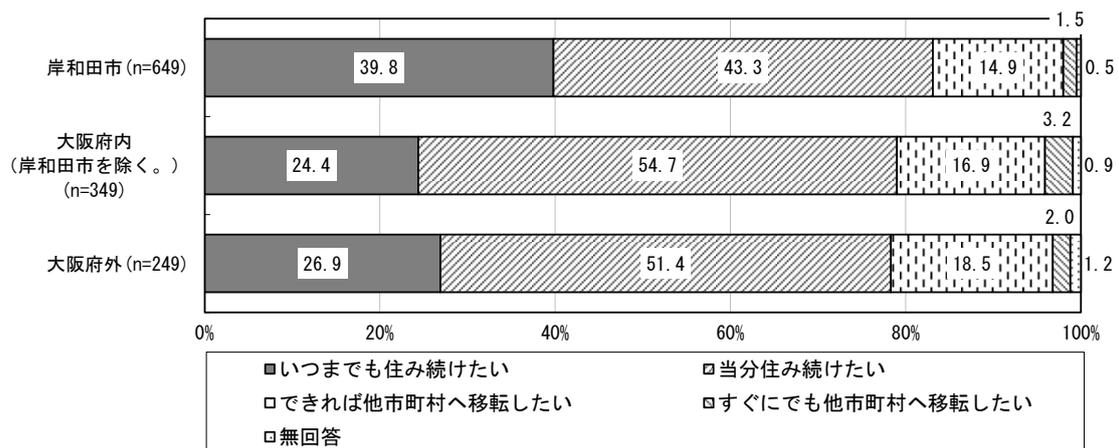


(5) 出生地別

出生地別にみると、『住み続けたい』は、「岸和田市」(83.1%)が最も高く、次いで「大阪府内(岸和田市を除く。)」(79.1%)、「大阪府外」(78.3%)、となっています。

一方、『住み続けたくない』は、「大阪府外」(20.5%)が最も高く、次いで、「大阪府内(岸和田市を除く。)」(20.1%)、「岸和田市」(16.4%)となっています。

■出生地別：岸和田市への居住継続意向

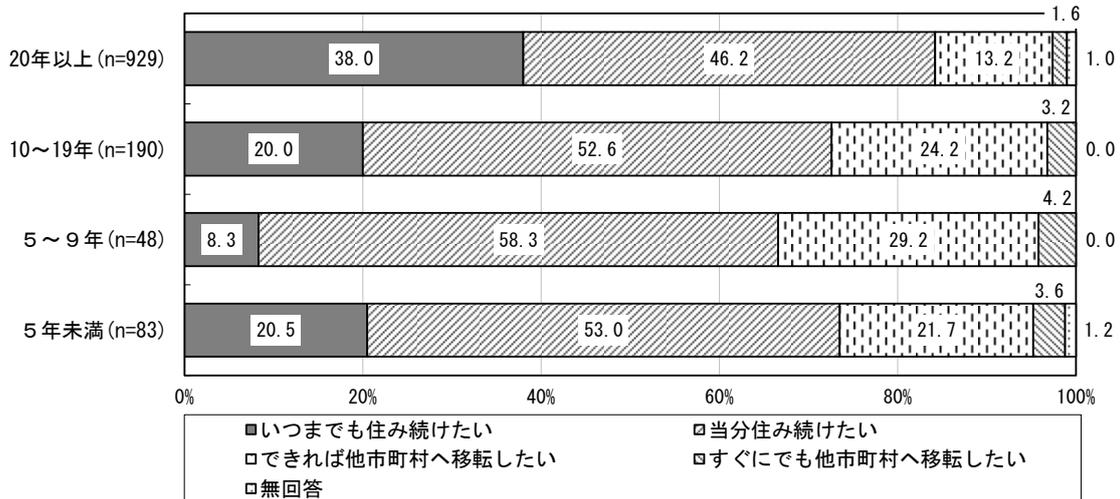


(6) 居住年数別

居住年数別にみると、『住み続けたい』は、「20年以上」(84.2%)が最も高く、次いで「5年未満」(73.5%)となっています。

一方、『住み続けたくない』は、「5～9年」(33.4%)が最も高く、次いで「10～19年」(27.4%)となっています。

■ 居住年数別：岸和田市への居住継続意向



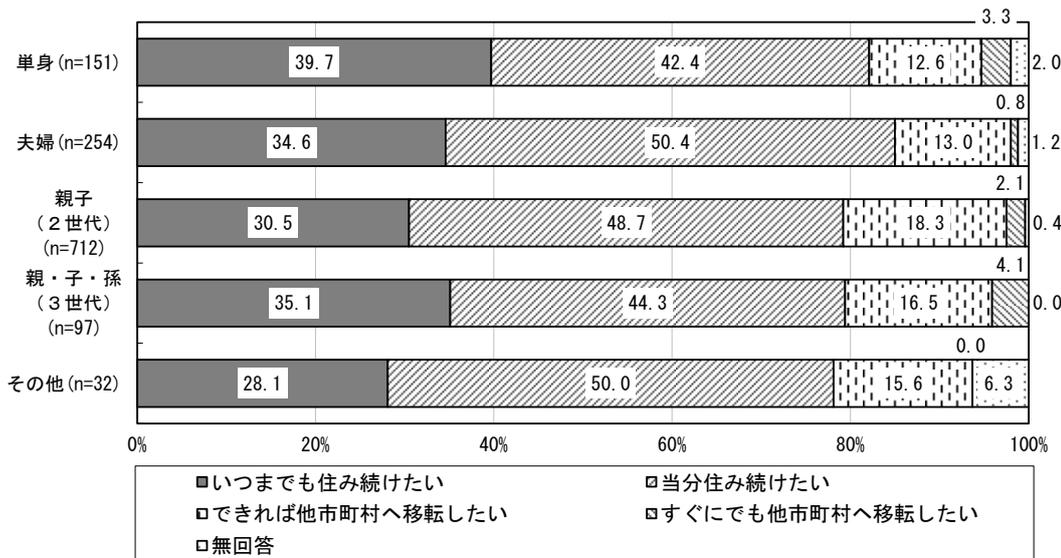
(7) 家族構成別、世帯人員別

① 家族構成別

家族構成別にみると、『住み続けたい』は、「夫婦」世帯（85.0%）が最も高く、次いで「単身」世帯（82.1%）となっています。

一方、『住み続けたくない』は、「親・子・孫（3世代）」世帯（20.6%）が最も高く、次いで「親子（2世代）」世帯（20.4%）となっています。

■ 家族構成別：岸和田市への居住継続意向

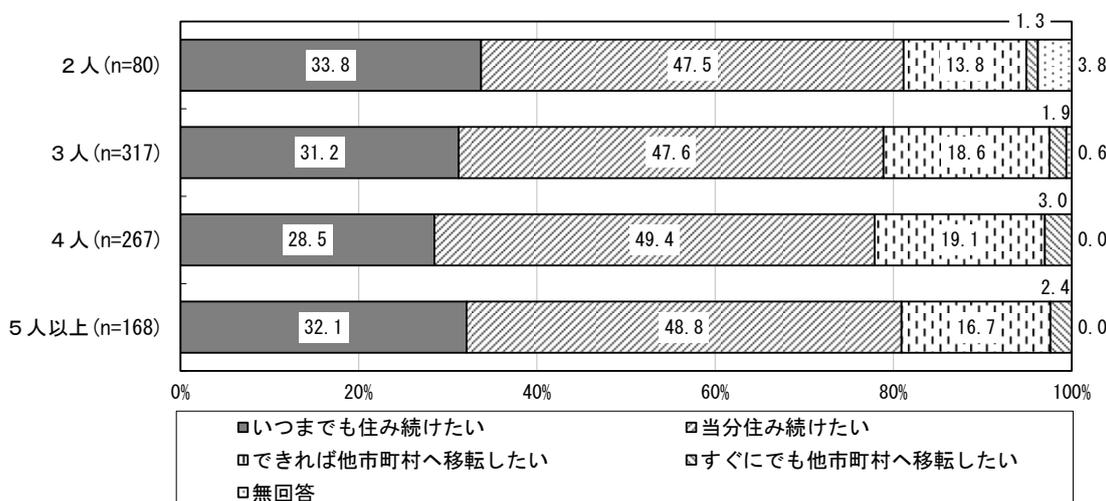


② 世帯人員別

家族構成が「単身」、「夫婦」以外の世帯人員別にみると、『住み続けたい』は、「2人」世帯（81.3%）が最も高く、次いで「5人以上」世帯（80.9%）となっています。

一方、『住み続けたくない』は、「4人」世帯（22.1%）が最も高く、次いで「3人」世帯（20.5%）となっています。

■ 世帯人員別：岸和田市への居住継続意向



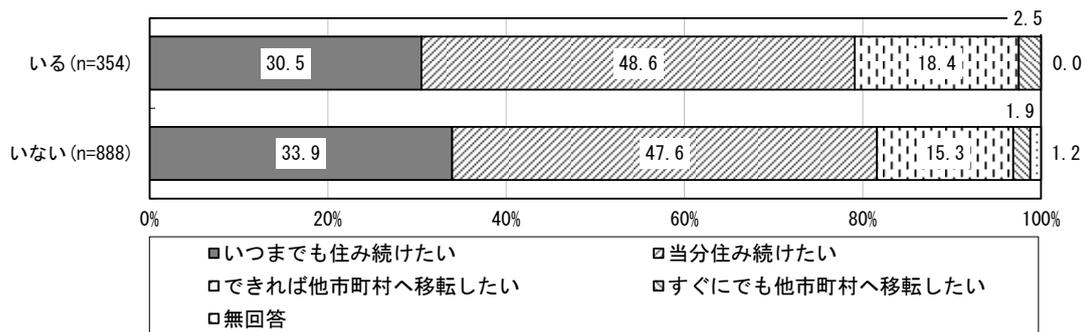
(8) 養育中の子どもの有無別、養育中の子どもの内訳別

①養育中の子どもの有無別

養育中の子どもの有無別にみると、「養育中の子どもがいる」世帯では、『住み続けたい』が79.1%、『住み続けたくない』が20.9%となっています。

一方、「養育中の子どもがいない」世帯では、『住み続けたい』が81.5%、『住み続けたくない』が17.2%となっています。「養育中の子どもがいる」世帯のほうが、居住継続意向が低くなっています。

■養育中の子どもの有無別：岸和田市への居住継続意向

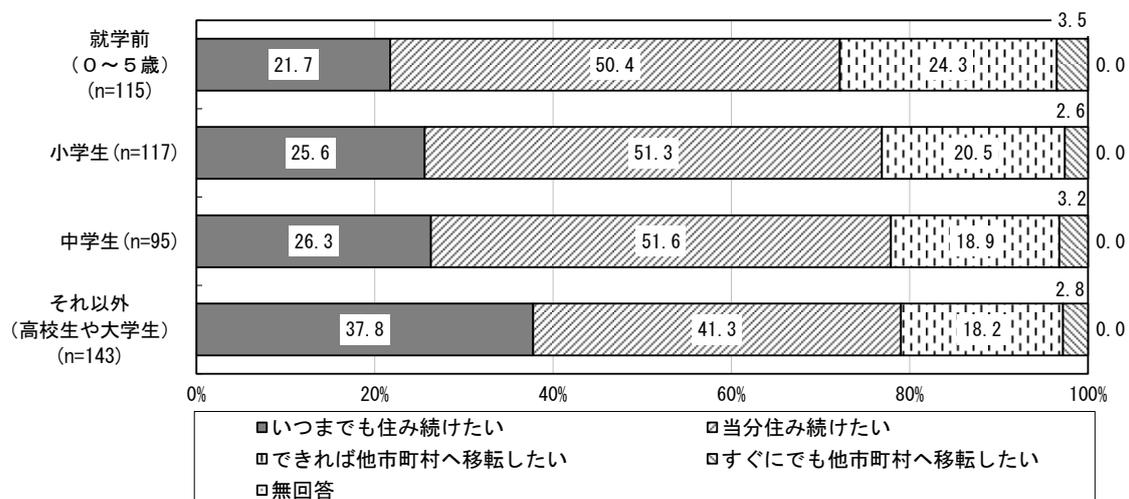


②養育中の子どもの内訳別

養育中の子どもの内訳別にみると、『住み続けたい』は「就学前（0～5歳）」（72.1%）、「小学生」（76.9%）、「中学生」（77.9%）、「それ以外（高校生や大学生）」（79.1%）となっており、前述（P.27）の全体（80.7%）を下回っています。

一方、『住み続けたくない』は、「就学前（0～5歳）」（27.8%）、「小学生」（23.1%）、「中学生」（22.1%）、「それ以外（高校生や大学生）」（21.0%）となっており、前述（P.27）の全体（18.3%）を上回っています。

■養育中の子どもの内訳（複数回答）別：岸和田市への居住継続意向

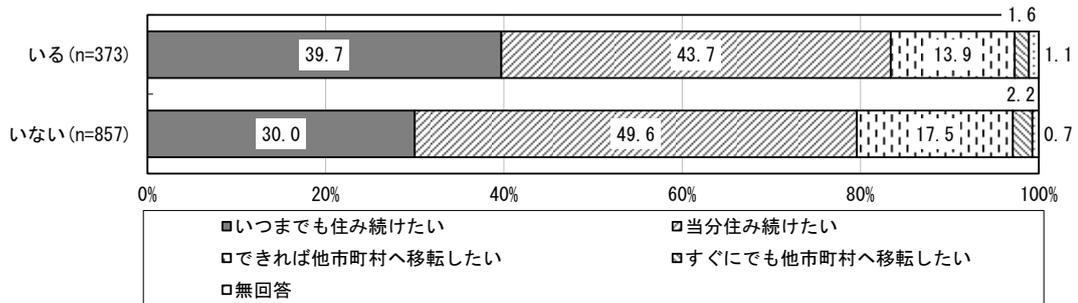


(9) 65歳以上の高齢者との同居の有無別

65歳以上の高齢者との同居の有無別にみると、「いる」世帯では、『住み続けたい』が83.4%、『住み続けたくない』が15.5%となっています。

一方、「いない」世帯では、『住み続けたい』が79.6%、『住み続けたくない』が19.7%となっています。

■65歳以上の高齢者との同居の有無別：岸和田市への居住継続意向



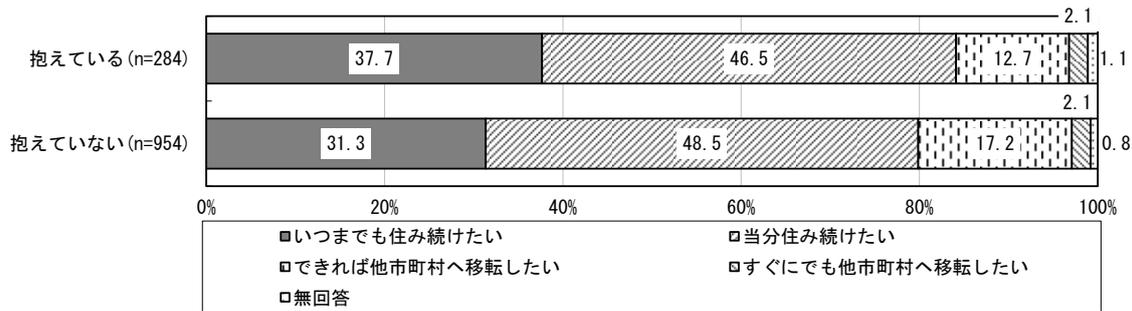
(10) 長期的な病気や障害の有無別、日常生活への支障の度合い別

①長期的な病気や障害の有無別

長期的な病気や障害の有無別にみると、病気や障害を「抱えている」人は、『住み続けたい』が84.2%、『住み続けたくない』が14.8%となっています。

一方、「抱えていない」人は、『住み続けたい』が79.8%、『住み続けたくない』が19.3%となっています。

■長期的な病気や障害の有無別：岸和田市への居住継続意向

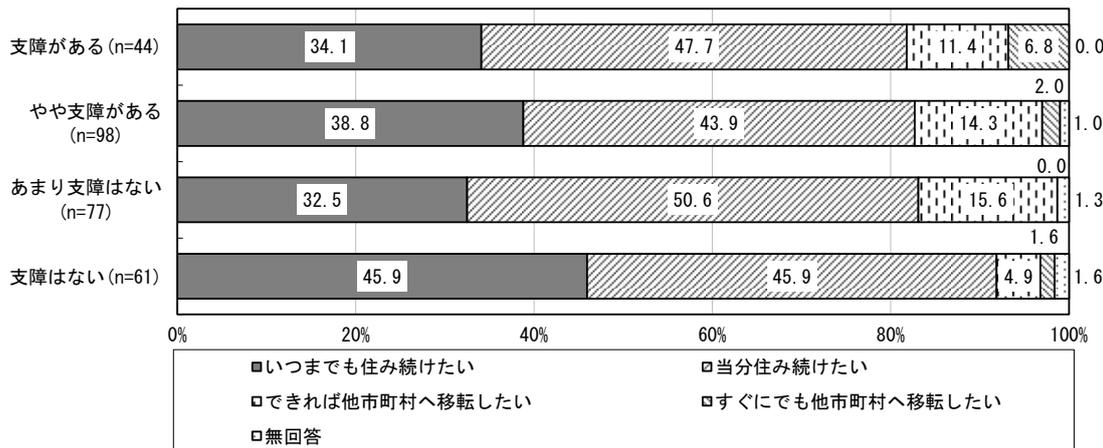


②日常生活への支障の度合い別

長期的な病気や障害による日常生活への支障の度合い別にみると、『住み続けたい』は「支障はない」(91.8%)が最も高く、次いで「あまり支障はない」(83.1%)となっています。

一方、『住み続けたくない』は「支障がある」(18.2%)が最も高く、次いで「やや支障がある」(16.3%)となっています。

■日常生活への支障の度合い別：岸和田市への居住継続意向

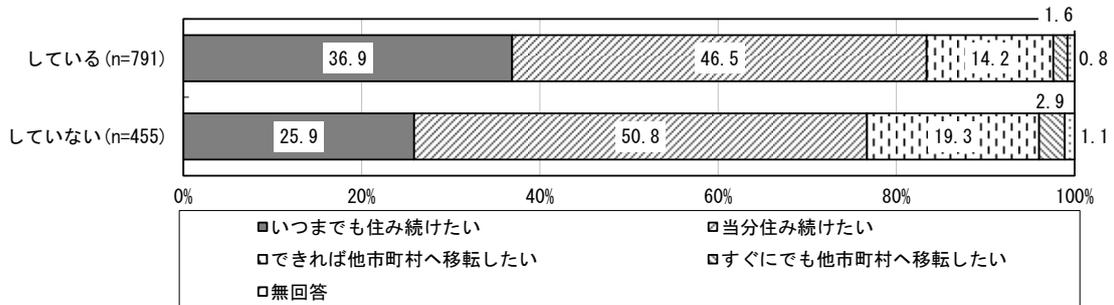


(11) 町会・自治会への加入の有無別

町会・自治会への加入の有無別にみると、「している」は『住み続けたい』が83.4%、『住み続けたくない』が15.8%となっています。

一方、「していない」は『住み続けたい』が76.7%、『住み続けたくない』が22.2%となっています。

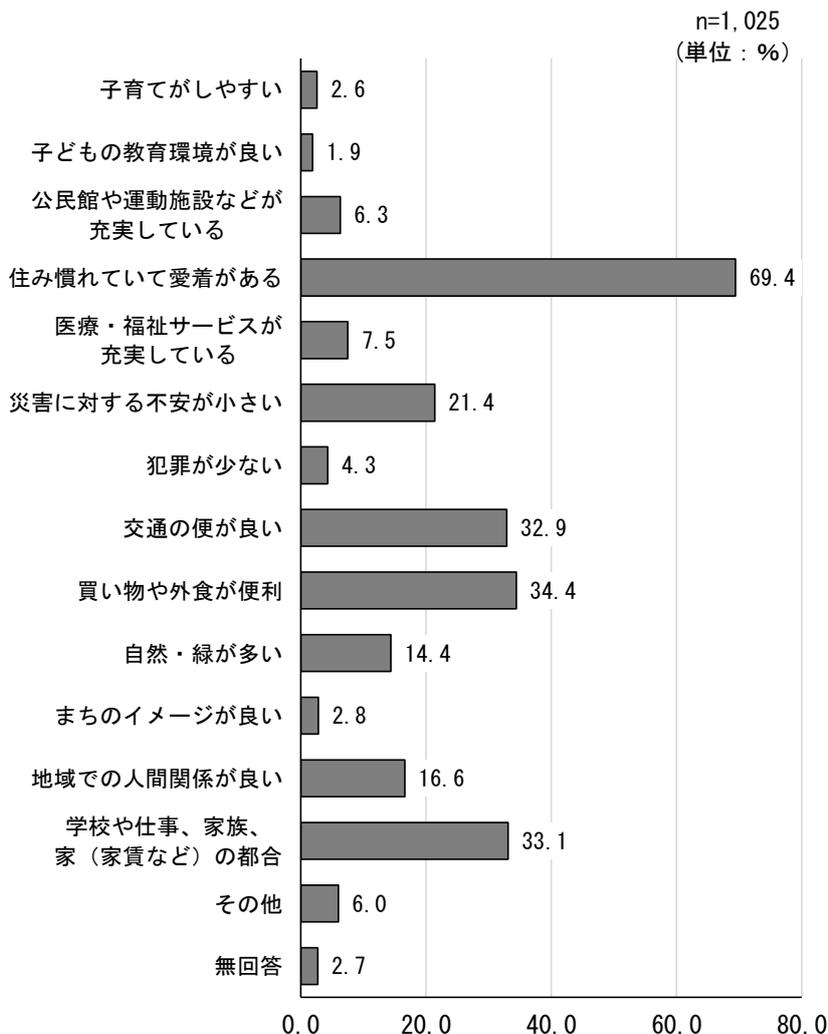
■町会・自治会への加入の有無別：岸和田市への居住継続意向



6. 「住み続けたいと思う理由」の全体の結果

〔問2-1〕の住み続けたいと思う理由は、「住み慣れていて愛着がある」(69.4%)が最も高く、次いで「買い物や外食が便利」(34.4%)、「学校や仕事、家族、家(家賃など)の都合」(33.1%)となっています。

■住み続けたいと思う理由(3つ以内で複数回答)



7. 「住み続けたいと思う理由（上位3項目）」の属性分析

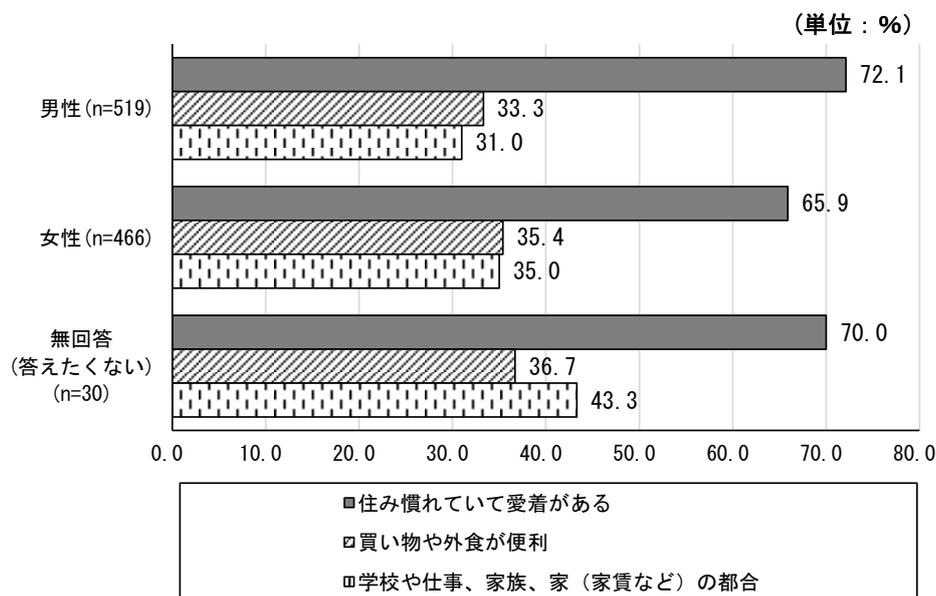
（1）性別

性別にみると、『住み慣れていて愛着がある』は、「男性」が72.1%で、「女性」の65.9%より6.2ポイント上回っています。

一方、『買い物や外食が便利』は、「男性」が33.3%で、「女性」の35.4%より2.1ポイント下回っています。

また、『学校や仕事、家族、家（家賃など）の都合』は、「男性」が31.0%で、「女性」の35.0%より4.0ポイント下回っています。

■性別：住み続けたいと思う理由（上位3項目）



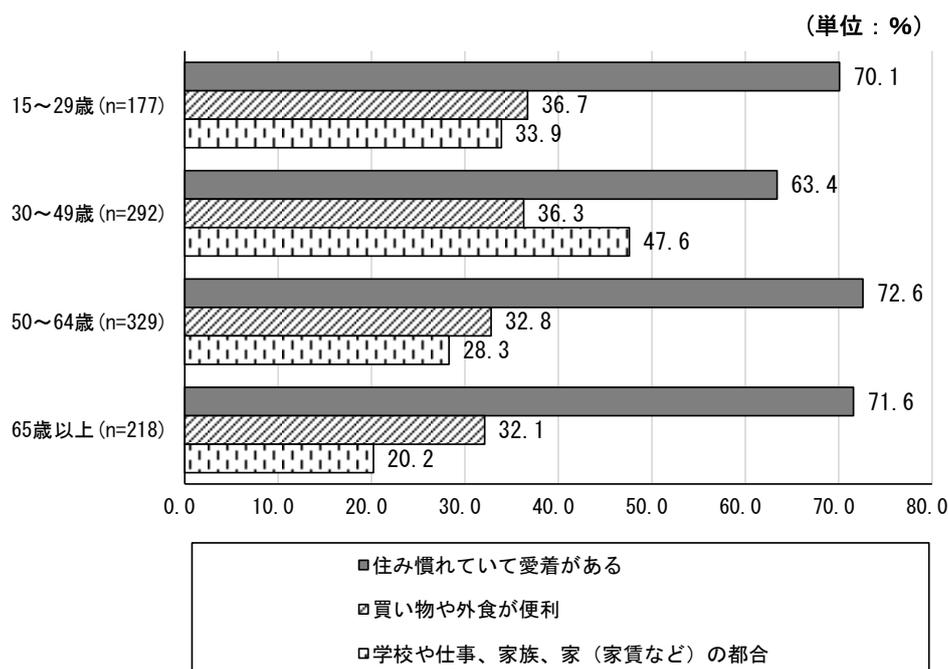
(2) 年齢4区分別

年齢4区分別にみると、『住み慣れていて愛着がある』は、「50～64歳」(72.6%)が最も高く、次いで「65歳以上」(71.6%)となっています。

一方、『買い物や外食が便利』は、「15～29歳」(36.7%)が最も高く、次いで「30～49歳」(36.3%)となっています。

また、『学校や仕事、家族、家(家賃など)の都合』は、「30～49歳」(47.6%)が最も高く、次いで「15～29歳」(33.9%)となっています。

■年齢4区分別：住み続けたいと思う理由(上位3項目)



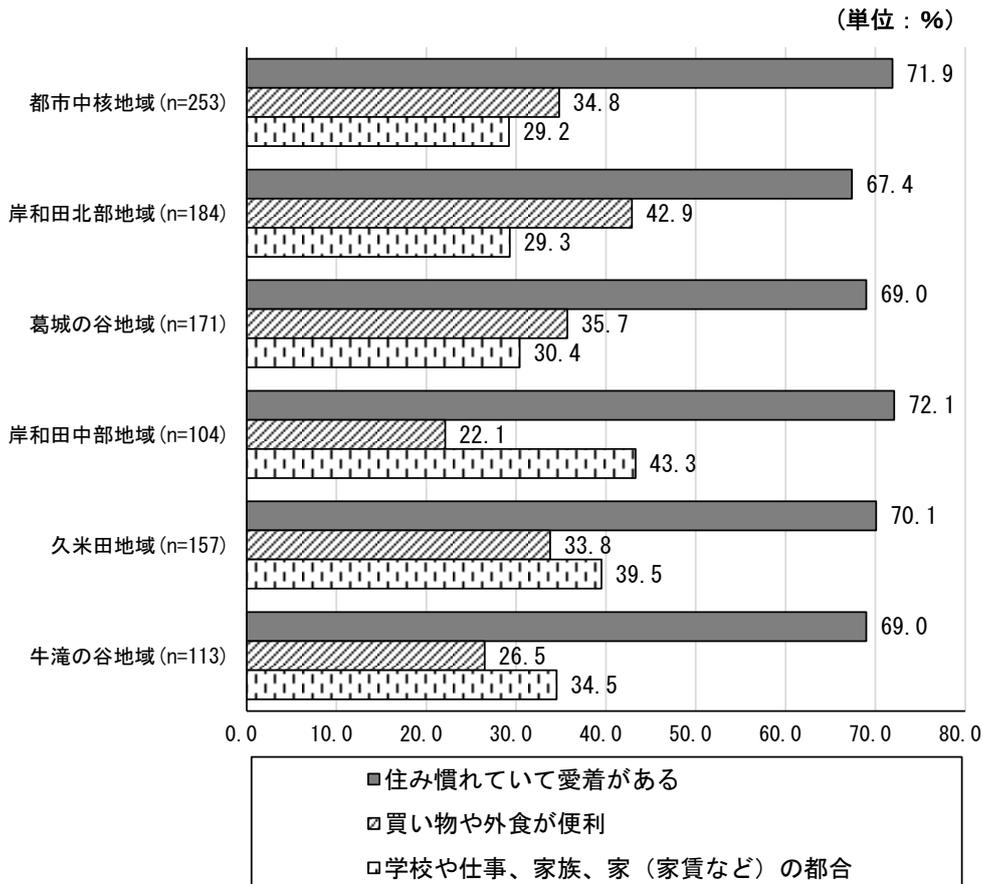
(3) 居住地域別

居住地域別にみると、『住み慣れていて愛着がある』は、「岸和田中部地域」(72.1%)が最も高く、次いで「都市中核地域」(71.9%)となっています。

一方、『買い物や外食が便利』は、「岸和田北部地域」(42.9%)が最も高く、次いで「葛城の谷地域」(35.7%)となっています。

また、『学校や仕事、家族、家(家賃など)の都合』は、「岸和田中部地域」(43.3%)が最も高く、次いで「久米田地域」(39.5%)となっています。

■居住地域別：住み続けたいと思う理由(上位3項目)



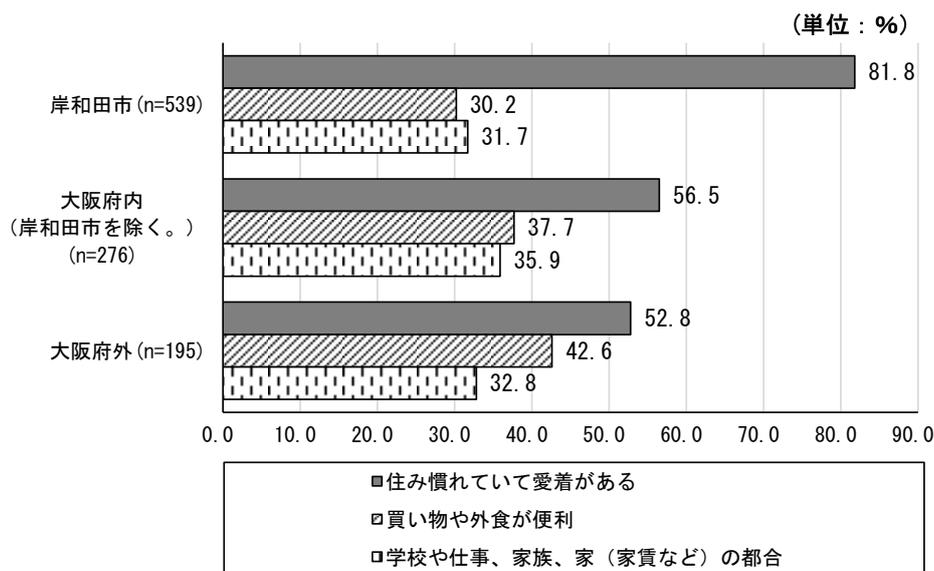
(4) 出生地別

出生地別にみると、『住み慣れていて愛着がある』は、「岸和田市」(81.8%)が最も高く、次いで「大阪府内(岸和田市を除く。)」(56.5%)となっています。

一方、『買い物や外食が便利』は、「大阪府外」(42.6%)が最も高く、次いで「大阪府内(岸和田市を除く。)」(37.7%)となっています。

また、『学校や仕事、家族、家(家賃など)の都合』は、「大阪府内(岸和田市を除く。)」(35.9%)が最も高く、次いで「大阪府外」(32.8%)となっています。

■出生地別：住み続けたいと思う理由(上位3項目)



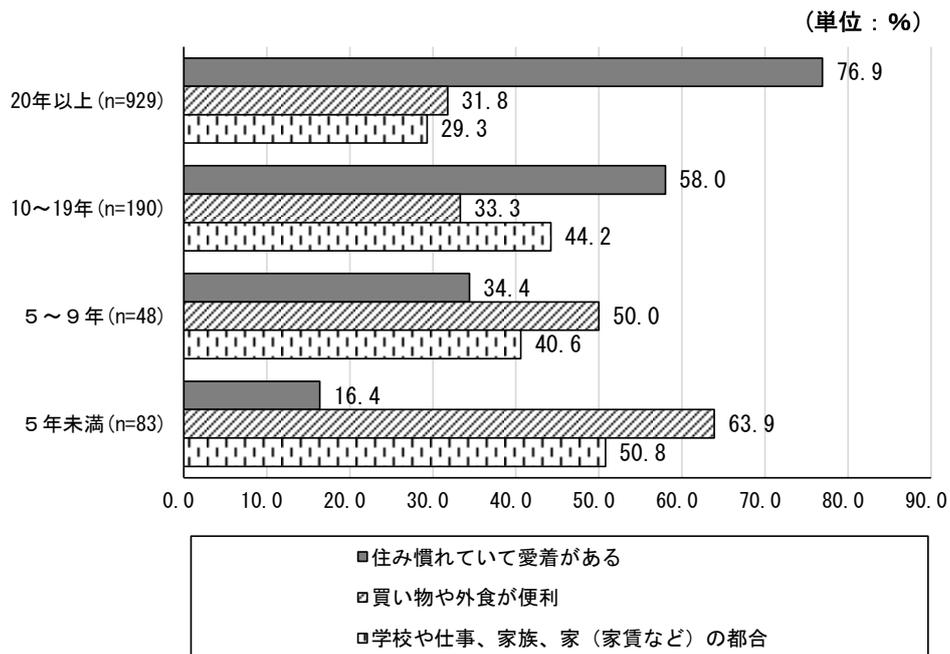
(5) 居住年数別

居住年数別にみると、『住み慣れていて愛着がある』は、「20年以上」(76.9%)が最も高く、次いで「10～19年」(58.0%)となっています。

一方、『買い物や外食が便利』は、「5年未満」(63.9%)が最も高く、次いで「5～9年」(50.0%)となっています。

また、『学校や仕事、家族、家(家賃など)の都合』は、「5年未満」(50.8%)が最も高く、次いで「10～19年」(44.2%)となっています。

■居住年数別：住み続けたいと思う理由(上位3項目)



(6) 養育中の子どもの有無別、養育中の子どもの内訳別

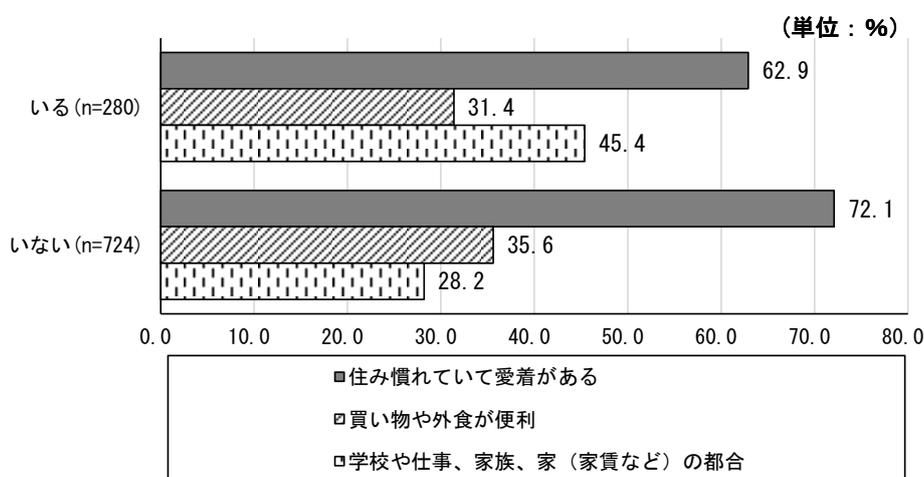
① 養育中の子どもの有無別

養育中の子どもの有無別にみると、『住み慣れていて愛着がある』は、「養育中の子どもがいる」世帯が62.9%で、「養育中の子どもがいない」世帯の72.1%より9.2ポイント下回っています。

一方、『買い物や外食が便利』は、「養育中の子どもがいる」世帯が31.4%で、「養育中の子どもがいない」世帯の35.6%より4.2ポイント下回っています。

また、『学校や仕事、家族、家（家賃など）の都合』は、「養育中の子どもがいる」世帯が45.4%で、「養育中の子どもがいない」世帯の28.2%より17.2ポイント上回っています。

■ 養育中の子どもの有無別：住み続けたいと思う理由（上位3項目）



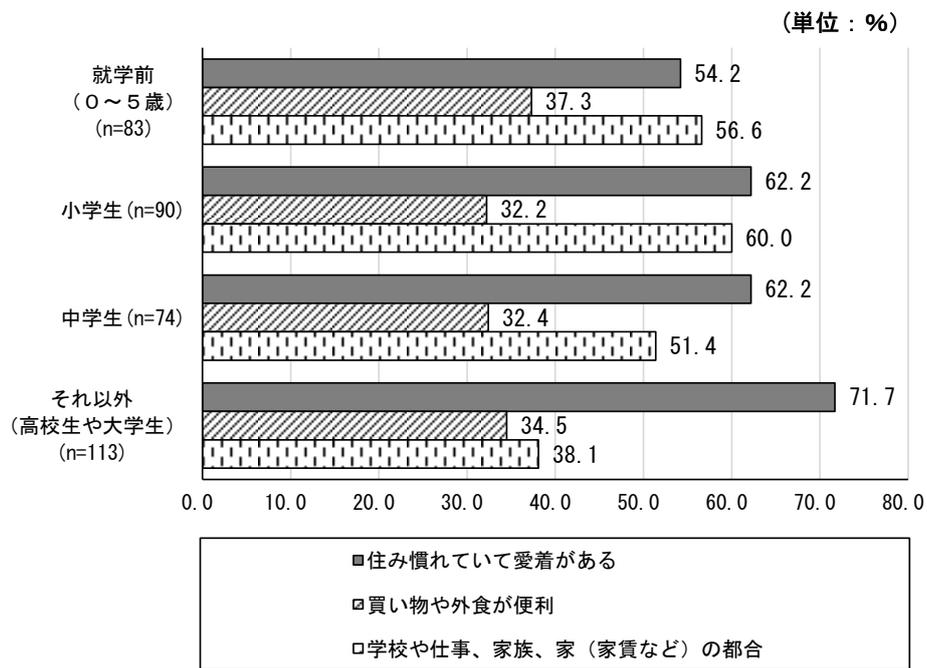
②養育中の子どもの内訳別

養育中の子どもの内訳別にみると、『住み慣れていて愛着がある』は、「就学前（0～5歳）」（54.2%）、「小学生」（62.2%）、「中学生」（62.2%）で、前述（P.38）の全体（69.4%）を下回っています。

また、『買い物や外食が便利』は、「小学生」（32.2%）、「中学生」（32.4%）で、前述（P.38）の全体（34.4%）を下回っています。

一方、『学校や仕事、家族、家（家賃など）の都合』は、すべての子どもがいる世帯で、前述（P.38）の全体（33.1%）を上回っています。

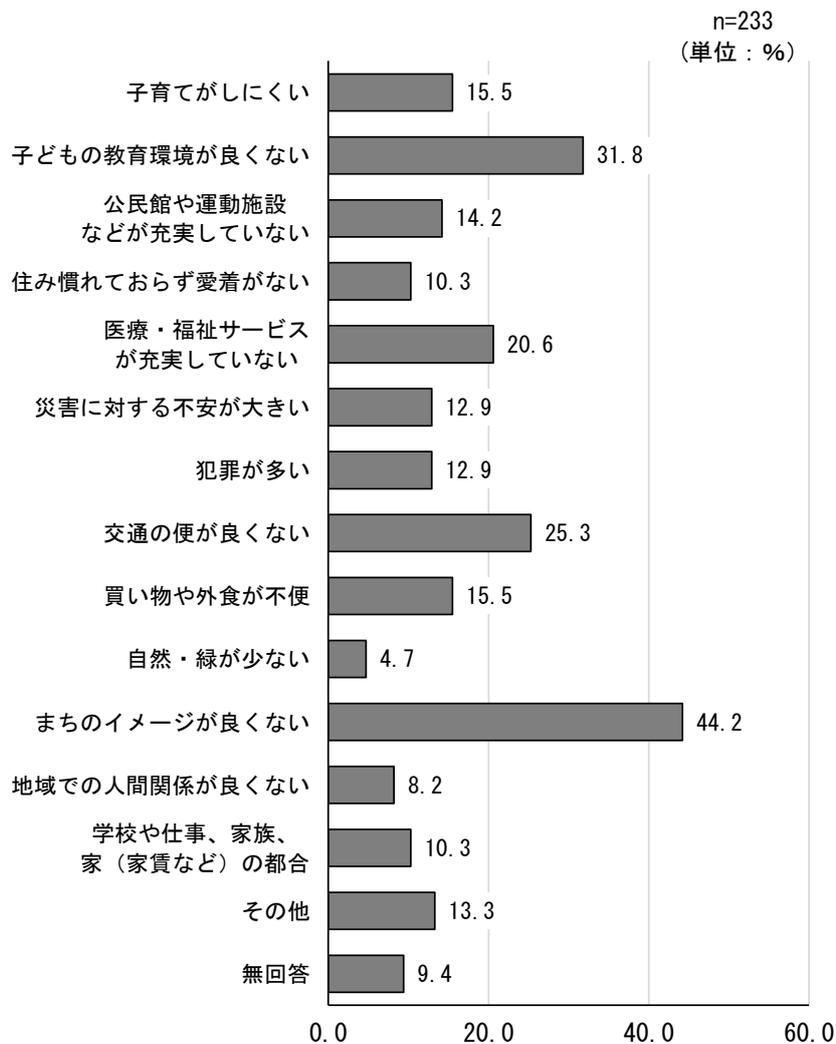
■養育中の子どもの内訳（複数回答）別：住み続けたいと思う理由（上位3項目）



8. 「住み続けたくないと思う理由」の全体の結果

〔問2-2〕の住み続けたくないと思う理由は、「まちのイメージが良くない」(44.2%)が最も高く、次いで「子どもの教育環境が良くない」(31.8%)、「交通の便が良くない」(25.3%)となっています。

■住み続けたくないと思う理由（3つ以内で複数回答）



9. 「住み続けたくないと思う理由（上位3項目）」の属性分析

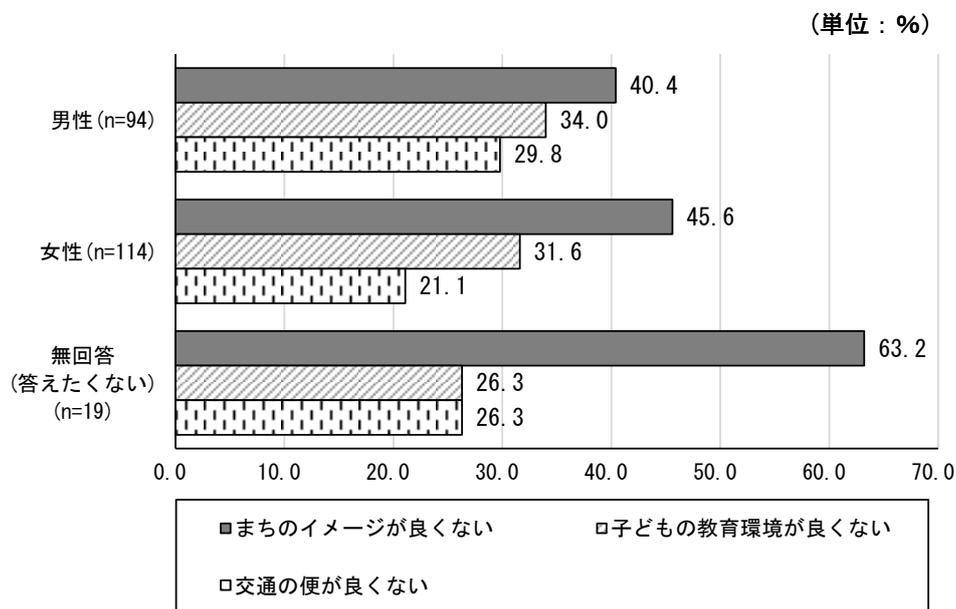
（1）性別

性別にみると、『まちのイメージが良くない』は、「男性」が40.4%で、「女性」の45.6%より5.2ポイント下回っています。

一方、『子どもの教育環境が良くない』は、「男性」が34.0%で、「女性」の31.6%より2.4ポイント上回っています。

また、『交通の便が良くない』は、「男性」が29.8%で、「女性」の21.1%より8.7ポイント上回っています。

■性別：住み続けたくないと思う理由（上位3項目）



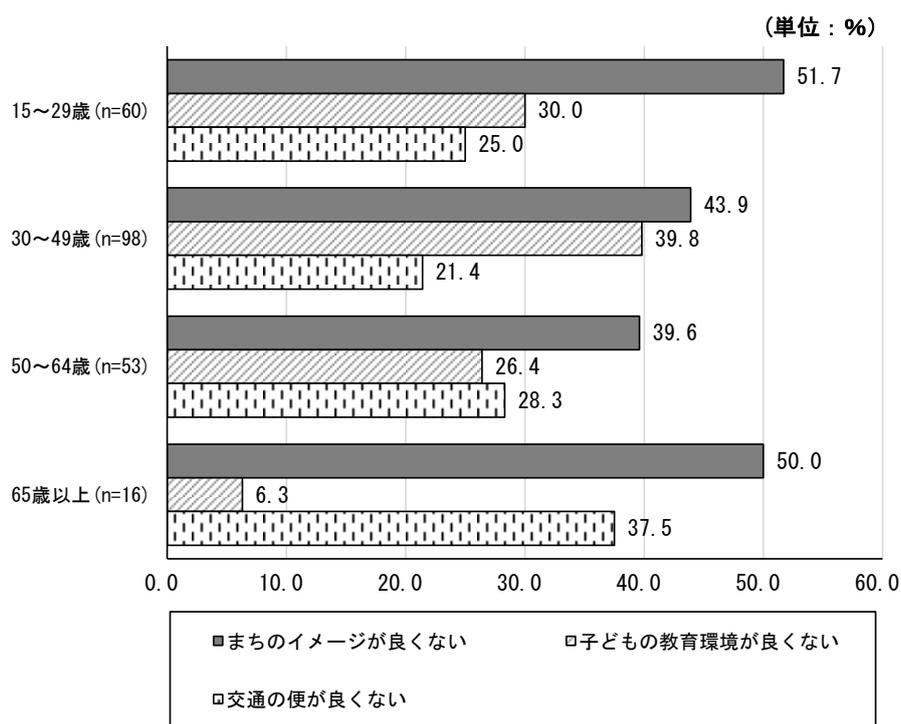
(2) 年齢4区分別

年齢4区分別にみると、『まちのイメージが良くない』は、「15～29歳」(51.7%)が最も高く、次いで「65歳以上」(50.0%)となっています。

一方、『子どもの教育環境が良くない』は、「30～49歳」(39.8%)が最も高く、次いで「15～29歳」(30.0%)となっています。

また、『交通の便が良くない』は、「65歳以上」(37.5%)が最も高く、次いで「50～64歳」(28.3%)となっています。

■年齢4区分別：住み続けたくないと思う理由（上位3項目）



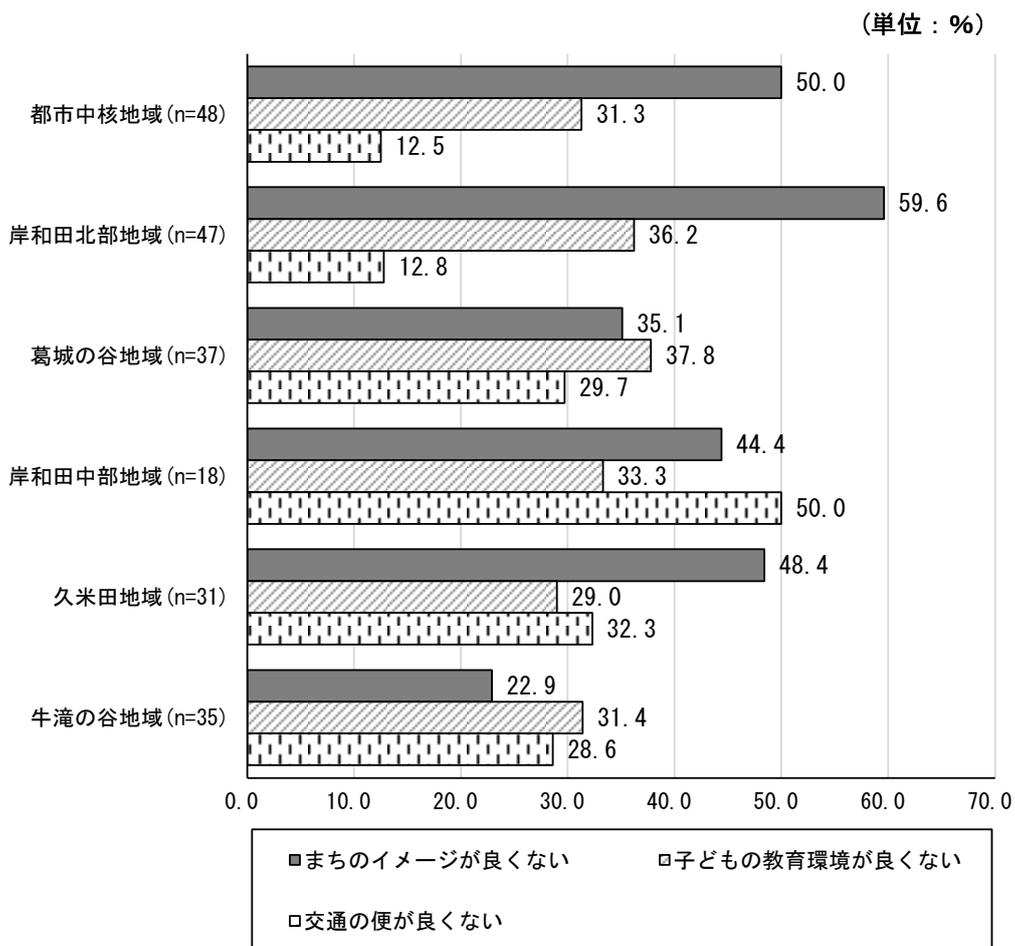
(3) 居住地域別

居住地域別にみると、『まちのイメージが良くない』は、「岸和田北部地域」(59.6%)が最も高く、次いで「都市中核地域」(50.0%)となっています。

一方、『子どもの教育環境が良くない』は、「葛城の谷地域」(37.8%)が最も高く、次いで「岸和田北部地域」(36.2%)となっています。

また、『交通の便が良くない』は、「岸和田中部地域」(50.0%)が最も高く、次いで「久米田地域」(32.3%)となっています。

■居住地域別：住み続けたくないと思う理由（上位3項目）



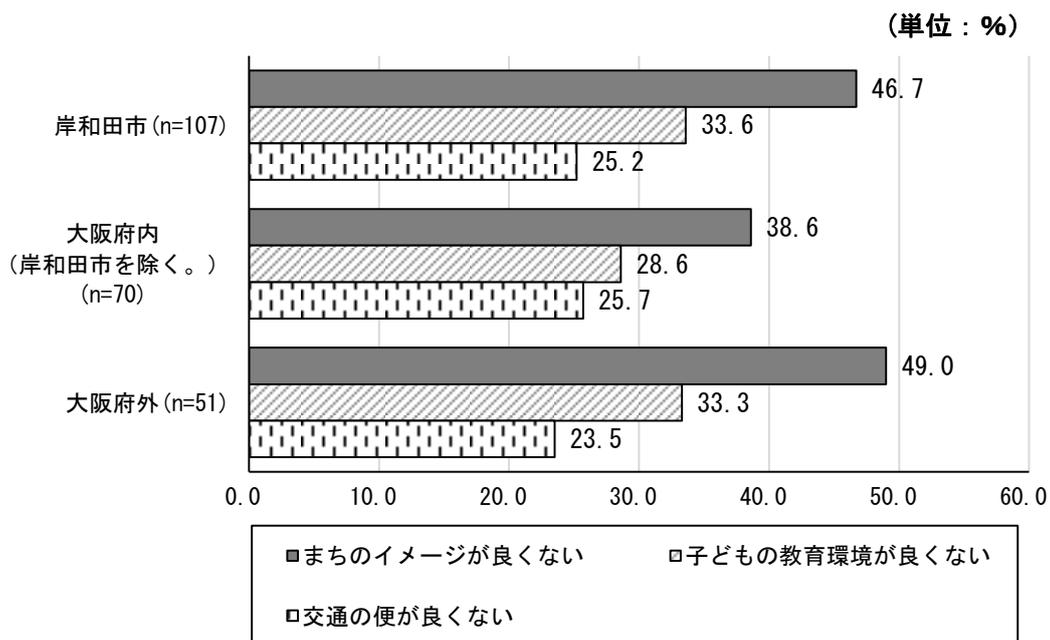
(4) 出生地別

出生地別にみると、『まちのイメージが良くない』は、「大阪府外」(49.0%)が最も高く、次いで「岸和田市」(46.7%)となっています。

一方、『子どもの教育環境が良くない』は、「岸和田市」(33.6%)が最も高く、次いで「大阪府外」(33.3%)となっています。

また、『交通の便が良くない』は、「大阪府内(岸和田市を除く。)」(25.7%)が最も高く、次いで「岸和田市」(25.2%)となっています。

■出生地別：住み続けたくないと思う理由（上位3項目）



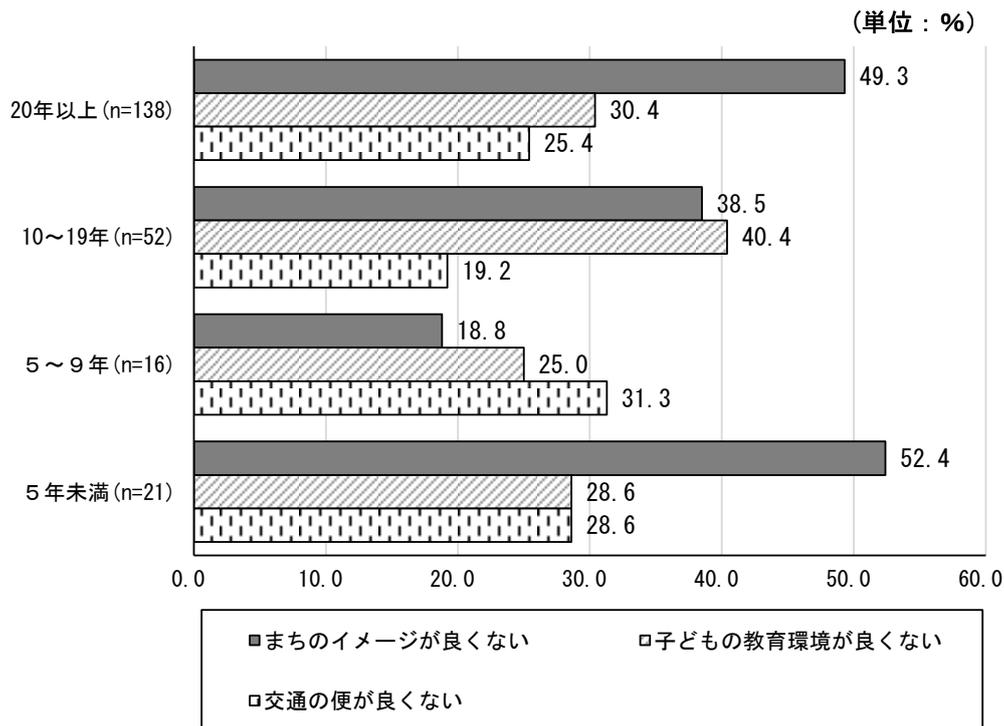
(5) 居住年数別

居住年数別にみると、『まちのイメージが良くない』は、「5年未満」(52.4%)が最も高く、次いで「20年以上」(49.3%)となっています。

一方、『子どもの教育環境が良くない』は、「10～19年」(40.4%)が最も高く、次いで「20年以上」(30.4%)となっています。

また、『交通の便が良くない』は、「5～9年」(31.3%)が最も高く、次いで「5年未満」(28.6%)となっています。

■居住年数別：住み続けたくないと思う理由（上位3項目）



(6) 養育中の子どもの有無別、養育中の子どもの内訳別

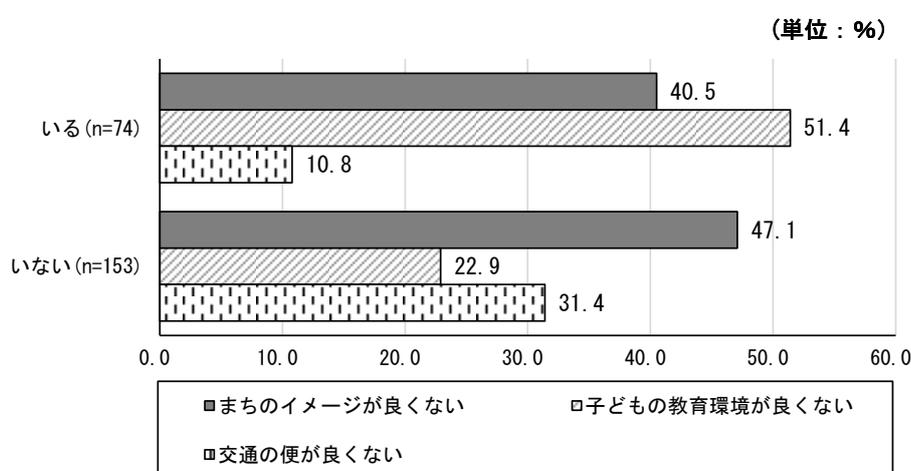
① 養育中の子どもの有無別

養育中の子どもの有無別にみると、『まちのイメージが良くない』は、「養育中の子どもがいる」世帯が40.5%で、「養育中の子どもがいない」世帯の47.1%より6.6ポイント下回っています。

一方、『子どもの教育環境が良くない』は、「養育中の子どもがいる」世帯が51.4%で、「養育中の子どもがいない」世帯の22.9%より28.5ポイント上回っています。

また、『交通の便が良くない』は、「養育中の子どもがいる」世帯が10.8%で、「養育中の子どもがいない」世帯の31.4%より20.6ポイント下回っています。

■ 養育中の子どもの有無別：住み続けたくないと思う理由（上位3項目）



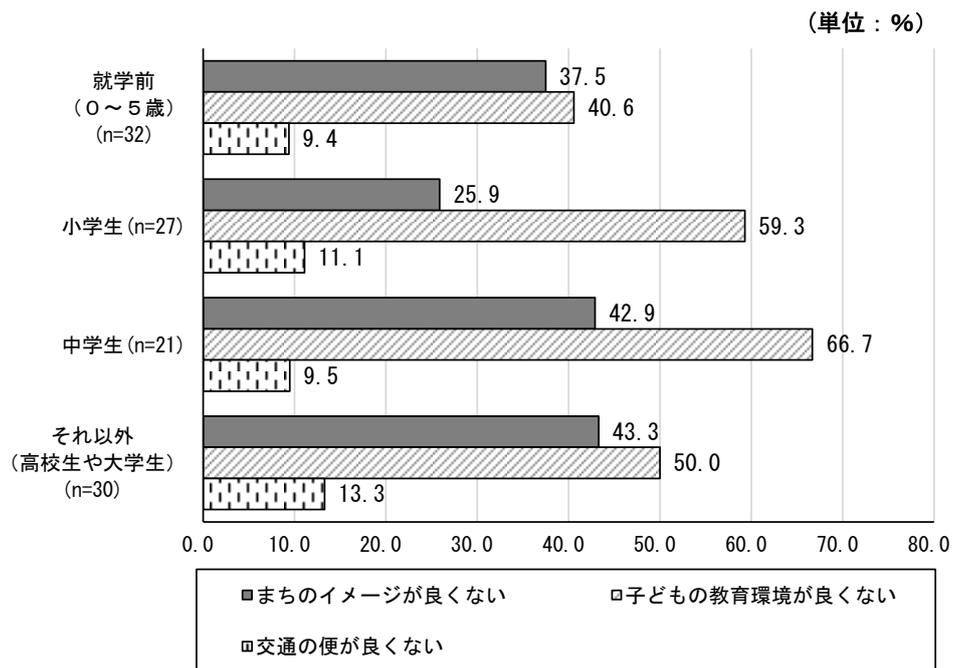
②養育中の子どもの内訳別

養育中の子どもの有無別にみると、『まちのイメージが良くない』は、すべての子供がいる世帯で、前述(P.46)の全体(44.2%)を下回っています。

『子どもの教育環境が良くない』は、すべての子どもがいる世帯で、前述(P.46)の全体(31.8%)を上回っています。

『交通の便が良くない』は、すべての子どもがいる世帯で、前述(P.46)の全体(25.3%)を下回っています。

■養育中の子どもの内訳（複数回答）別：住み続けたくないと思う理由（上位3項目）



10. 「住み続けたい」と全体の調査結果との相関関係

〔問2〕の「住み続けたい」の意識調査の結果と、全体の調査結果との相関関係から、市民ニーズと実施すべき施策の傾向を分析しました。

■ 「住み続けたい」と全体の調査結果との相関関係（上位10項目）

順位	設問番号	設問内容	相関係数
1	問1	岸和田市の住みやすさ	0.643824509
2	問3	岸和田市への誇り	0.566898342
3	問15	地元商店や商店街で頻繁に買い物をするか	0.182705038
4	問34	居住年数	0.174095249
5	問17	自由に使える余暇時間を確保できているか	0.142554113
6	問16	地元産の食品を優先して買うか	0.131290324
7	問19	緊急避難場所の認知	0.123853716
8	問39	町会・自治会加入有無	0.120256371
9	問23	地区市民協議会の活動認知	0.120256371
10	問33	出生地	0.118944882

(1) 「住み続けたい」と関連の強い上位2項目

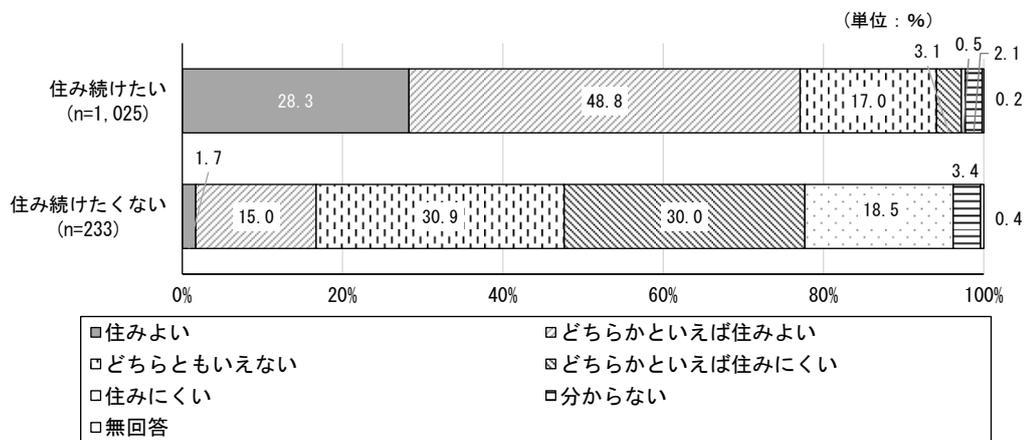
「居住継続意向」を縦軸にとって調査結果を示します。

『住み続けたい』は「いつまでも住み続けたい」と「当分住み続けたい」を、『住み続けたくない』は「できれば他市町村へ移転したい」と「すぐにでも他市町村へ移転したい」を、それぞれあわせた結果となっています。

① 「住み続けたい」と「岸和田市の住みやすさ」との相関

居住継続意向と「岸和田市の住みやすさ」との相関をみると、「住みよい」と「どちらかといえば住みよい」をあわせた『住みよい』の割合は、『住み続けたい』と回答した市民では77.1%で、『住み続けたくない』と回答した市民の16.7%より60.4ポイント上回っています。

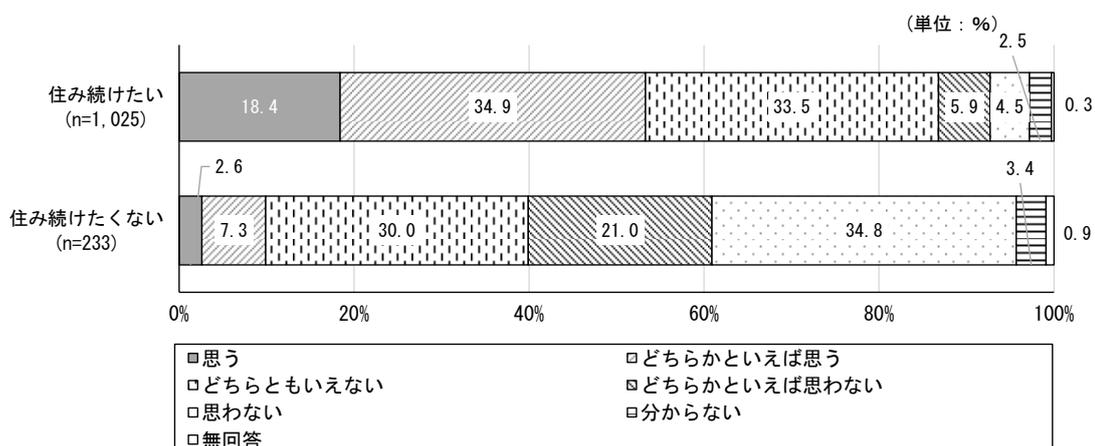
■ 「住み続けたい」と「岸和田市の住みやすさ」との相関
(住みやすさの割合を以下に示しています)



② 「住み続けたい」と「岸和田市への誇り」との相関

居住継続意向と「岸和田市への誇り」との相関をみると、「思う」と「どちらかといえば思う」をあわせた『誇りに思う』の割合は、『住み続けたい』と回答した市民では53.3%で、『住み続けたくない』と回答した市民の9.9%より43.4ポイント上回っています。

■ 「住み続けたい」と「岸和田市への誇り」との相関
(岸和田市への誇りの割合を以下に示しています)

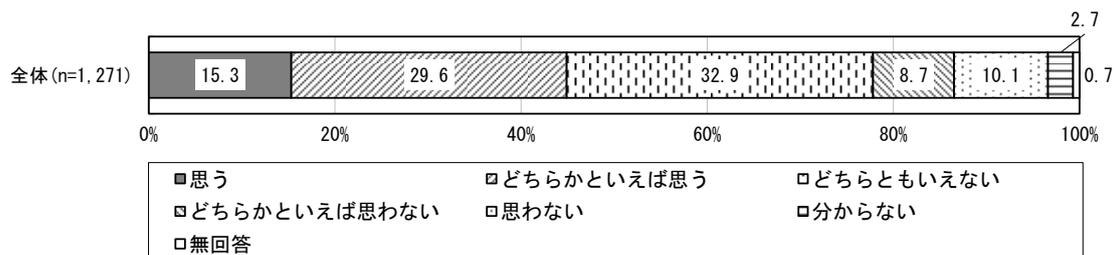


11. 「岸和田市への誇り」の全体の結果

〔問3〕の『岸和田のまちを誇りに思う』かどうかの調査の結果、「そう思う」(15.3%)と「どちらかといえば思う」(29.6%)をあわせた『誇りに思う』は、44.9%となっており、約4割の方が岸和田を誇りに思っていることがわかります。

一方、「どちらかといえば思わない」(8.7%)と「思わない」(10.1%)をあわせた『誇りに思わない』は、18.8%となっています。

■岸和田のまちを誇りに思う



第4 施策指標調査結果

第4 施策指標調査結果

1. 施策指標

施策の達成度を客観的に測定する物差し（指標）の1つとして、その施策の効果を「市民がどう受け止めて（感じて）いるのか？」といったことについて調査を実施しました。

今回の調査結果は、総合計画「将来ビジョン・岸和田」第1期基本計画（令和5年3月策定）における「みんなでめざそう値」（令和8年時点でめざす数値）の進捗管理及び令和4年に設定した基準値の達成度合を測るものとして活用します。

2. 施策指標値調査結果

総合計画「将来ビジョン・岸和田」の体系に基づき、基準値である令和4年の結果及び、現在値である今回調査（令和6年）の結果を記載しています。

また、表最右列において、現在値と基準値を比較し、現在値（令和6年）が基準値（令和4年）より高くなっている場合は「○」、低くなっている場合は「×」で示しています。

*目標値：総合計画「将来ビジョン・岸和田」第1期基本計画において「みんなでめざそう値」としては公表していないが目標値として設定しているもの。

(1) 基本目標「岸和田の次世代を育むまち」

個別目標の方向性	指標名	基準値 (%) (R4年)	みんなで めざそう 値(%) (*目標値)	前回値 (%) (R5年)	現在値 (%) (R6年)	基準値 との 比較
個別目標 安心して子どもを産み、育てられている						
妊娠を望む家庭や子育て家庭の不安解消、経済的負担の軽減を進める	岸和田は子どもを産み育てやすいと感じている市民の割合	27.8	31.0	24.0	25.8	×
個別目標 働きながら子育てができている						
保育を必要とする人が、安心して子どもを預けられる環境づくりを進める	働きながら子育てができる環境が整っていると感じる市民の割合	18.1	21.0*	15.9	18.6	○
個別目標 子どもの健康と安全が保たれている						
登下校をはじめ、子どもが安全に学校や地域で過ごせる環境づくりを進める	子どもが安全に遊ぶことができると感じている市民の割合	25.7	29.0*	25.8	26.0	○
個別目標 子どもの個性や能力が豊かに育まれている						
子ども一人ひとりが輝くための適切な教育支援を行う	子どもの個性や能力にあった教育が行われていると感じる市民の割合	12.6	15.0*	13.5	14.6	○
個別目標 生涯にわたる能力づくりが進められ、活かされている						
様々な学びの活動や知識、経験の活用を進めるとともに、コミュニティのつながりを創出する	この1年間に自分の経験や特技を何らかの形で地域に活かしたことがある市民の割合	10.5	13.0	13.8	13.6	○
スポーツへの親しみや参画の向上を図るとともに、スポーツができる環境づくりを進める	スポーツ・運動を定期的（週1回以上）にしている市民の割合	44.7	60.9	45.2	45.4	○

第4 施策指標調査結果

個別目標の方向性	指標名	基準値 (%) (R4年)	みんな でめざ そう 値(%) (*目標値)	前 回 値 (%) (R5年)	現 在 値 (%) (R6年)	基 準 値 と の 比 較
芸術や文化への親しみや参画の機会を通して、心の豊かさの醸成を図る	この1年間に芸術・文化活動(コンサートや演劇などの観賞を含む)を行ったことがある市民の割合	27.2	30.0	33.6	36.8	○
個別目標 誰もが社会参加し、活躍できる場がつけられている						
市内事業所の労働環境の向上を進める	労働環境に満足していると感じている市民の割合(市内従事者)	34.6	39.0	35.1	31.8	×
障害者の就労支援の充実と生きがいづくりを進める	長期的な病気や障害を抱えている人のうち、生きがいを感じることがある市民の割合	42.7	47.0	50.6	43.7	○
高齢者の雇用促進と生きがいづくりを進める	生きがいを感じることがある65歳以上の市民の割合	50.0	54.0	56.0	48.7	×
個別目標 郷土の歴史や文化が引き継がれている						
郷土の歴史や文化に触れる機会をつくる	この1年間に郷土の歴史や文化財に触れる機会があった市民の割合	22.7	25.0	31.2	30.8	○

(2) 基本目標「健康で自分らしく生きられるまち」

個別目標の方向性	指標名	基準値 (%) (R4年)	みんな でめざ そう 値(%) (*目標値)	前 回 値 (%) (R5年)	現 在 値 (%) (R6年)	基 準 値 と の 比 較
個別目標 健康意識の向上とともに、介護予防が進められ、心身の健康が維持・増進している						
-	-	-	-	-	-	-
個別目標 医療サービスを受ける環境が整うとともに、緊急時にも医療が受けられる状態になっている						
医療体制の充実により、必要に応じて必要な医療が受けられる環境づくりを進める	かかりつけ医を持っている市民の割合	67.5	70.0	67.6	69.4	○
個別目標 平和で、多様な価値観が尊重され、他者への理解が促進し、自分らしく生活できる環境が整っている						
平和への意識向上を進める	平和は大切だと感じている市民の割合	95.6	97.0	97.3	97.1	○
個別目標 地域で支えあい、助けあえる関係が築けている						
常日頃から、地域の中でお互いに助けあえる地域共生社会の関係づくりを進める	困ったときに近くに相談できる人や場所がある市民の割合	35.0	38.0	37.3	36.2	○
個別目標 介護や医療保険、障害者支援の福祉サービスなど、誰もが必要な支援を受け安心できている						
-	-	-	-	-	-	-

(3) 基本目標「安全で安心して暮らせるまち」

個別目標の方向性	指標名	基準値 (%) (R4年)	みんな でめざ そう 値(%) (*目標値)	前 回 値 (%) (R5年)	現 在 値 (%) (R6年)	基準 値 と の 比 較
個別目標 事故や犯罪などに巻き込まれない生活が送れている						
安心してサービスや物の購入などの消費行動が行える環境づくりを進める	この1年間に何らかの消費者トラブルにあった市民の割合	4.1	3.0	3.6	5.4	×
交通マナーの向上や交通事故を防ぐ環境づくりを進める	安心して歩道を通行することができると感じている市民の割合	24.0	27.0*	24.2	23.4	×
個別目標 災害などの非常時への準備が進められ、強靱な環境になっている						
発災時にみんなが迅速かつ柔軟に対応できる環境づくりを進める	災害の際に非常持ち出し品や食糧などを準備している市民の割合	40.4	43.0	41.2	42.4	○

(4) 基本目標「人と自然が共生した住みよいまち」

個別目標の方向性	指標名	基準値 (%) (R4年)	みんな でめざ そう 値(%) (*目標値)	前 回 値 (%) (R5年)	現 在 値 (%) (R6年)	基準 値 と の 比 較
個別目標 良好な生活環境とともに、まちが美しくなっている						
まちの美化を進める	この1年間にごみ拾いや美化活動を行ったことがある市民の割合	29.7	33.0	32.4	31.0	○
個別目標 人が緑と触れあっている						
-	-	-	-	-	-	-
個別目標 環境の負荷を減らした循環共生型の地域社会がつくられている						
ごみの減量や資源の有効活用など3R+Rを進める	ごみの減量化やリサイクルに取り組んでいる市民の割合	75.4	78.0	77.4	74.4	×
省エネルギー化や再生可能エネルギーによる脱炭素を推進し、地球温暖化防止を進める	省エネルギーや再生可能エネルギーを活用している市民の割合	21.8	25.0	24.1	24.5	○

(5) 基本目標「にぎわいと活力を創造するまち」

個別目標の方向性	指標名	基準値 (%) (R4年)	みんな でめざ そう 値(%) (*目標値)	前 回 値 (%) (R5年)	現 在 値 (%) (R6年)	基準 値 と の 比 較
個別目標 活発な経済活動が行われている						
農業や水産業など、地域で安全な食が生産され、消費される環境づくりを進める	地元産の食品を優先的に買う市民の割合	37.9	41.0	38.9	35.4	×
個別目標 観光資源が活かされている						
-	-	-	-	-	-	-
個別目標 岸和田の魅力が伝わっている						
-	-	-	-	-	-	-

第4 施策指標調査結果

個別目標の方向性	指標名	基準値 (%) (R4年)	みんな でめざ そう 値(%) (*目標値)	前回 値(%) (R5年)	現在 値(%) (R6年)	基準 値と の 比較
個別目標 にぎわいや活力を支える基盤が整っている						
拠点とのアクセス性の向上を図る	市内をスムーズに移動できると感じている市民の割合	36.1	39.0	37.4	38.3	○
適正な土地利用と景観形成を進める	景観がよく保全されていると感じている市民の割合	18.5	21.0	24.3	24.9	○

(6) 基本目標「みんなで作る持続可能なまち」

個別目標の方向性	指標名	基準値 (%) (R4年)	みんな でめざ そう 値(%) (*目標値)	前回 値(%) (R5年)	現在 値(%) (R6年)	基準 値と の 比較
個別目標 みんなが主役の協働・連携したまちづくりが行われている						
地域の担い手が育ち、まちづくり活動が活発に行われている環境づくりを進める	この1年間にボランティア活動や地域の自治活動に参加したことがある市民の割合	19.7	22.0	23.5	22.8	○
個別目標 持続可能で信頼される行政になっている						
-	-	-	-	-	-	-

第5 重要度×満足度調査結果

第5 重要度×満足度調査結果

1. 「重要度」の全体の結果

〔問27〕では、58項目のうち、今の岸和田のまちづくりにとって特に重要だと思うものを5つまで選んでももらいました。

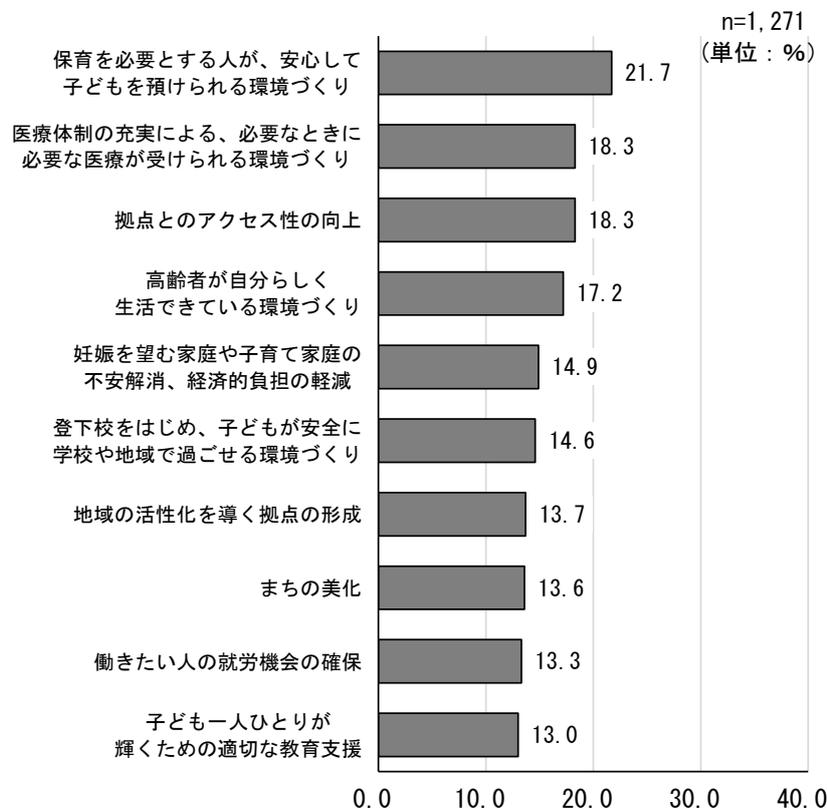
図示している数値は、重要だと思われた人の数を全回答者数（1,271）で割ったものです（例：「保育を必要とする人が、安心して子どもを預けられる環境づくり」を重要と回答した人の数／全回答者数＝276／1,271×100＝21.7％）。

下記グラフのとおり、最も重要度の高い項目は、「保育を必要とする人が、安心して子どもを預けられる環境づくり」（21.7％）であり、次いで「医療体制の充実による、必要なときに必要な医療が受けられる環境づくり」（18.3％）、「拠点とのアクセス性の向上」（18.3％）、「高齢者が自分らしく生活できる環境づくり」（17.2％）、「妊娠を望む家庭や子育て家庭の不安解消、経済的負担の軽減」（14.9％）となっています。

なお、重要度の測定について、調査方法に一部変更がありました。

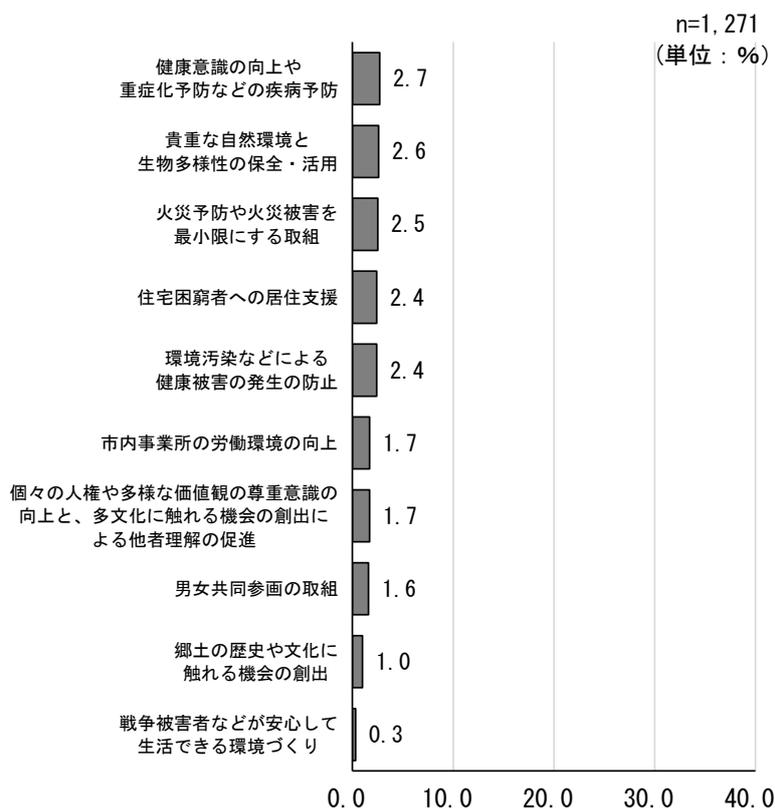
令和4年においては、全58項目から特に重要だと思うものをすべて選んでもらう形式でしたが、令和5年から特に重要だと思うものを5つまで選んでもらう形式に変わっています。

■ 「重要度」の全体の結果（上位10施策）（高い順）



一方、下記グラフのとおり、最も重要度の低い項目は、「戦争被害者などが安心して生活できる環境づくり」(0.3%)であり、次いで「郷土の歴史や文化に触れる機会の創出」(1.0%)、「男女共同参画の取組を進める」(1.6%)、「個々の人権や多様な価値観の尊重意識の向上と、多文化に触れる機会の創出による他者理解の促進」(1.7%)、「市内事業所の労働環境の向上」(1.7%)となっています。

■ 「重要度」の全体の結果（下位 10 施策）



2. 基本目標別の「重要度」の結果

総合計画「将来ビジョン・岸和田」基本構想では、将来像の実現に向けて、6つの基本目標を定めています。6つの基本目標のうち、「みんなでつくる持続可能なまち」を除く基本目標それぞれの個別目標の重要度について調査を実施しました。

① 基本目標『岸和田の次世代を育むまち』の重要度の結果

基本目標『岸和田の次世代を育むまち』の重要度の結果は、「保育を必要とする人が、安心して子どもを預けられる環境づくり」(21.7%)が最も高く、次いで「妊娠を望む家庭や子育て家庭の不安解消、経済的負担の軽減」(14.9%)、「登下校をはじめ、子どもが安全に学校や地域で過ごせる環境づくり」(14.6%)となっています。

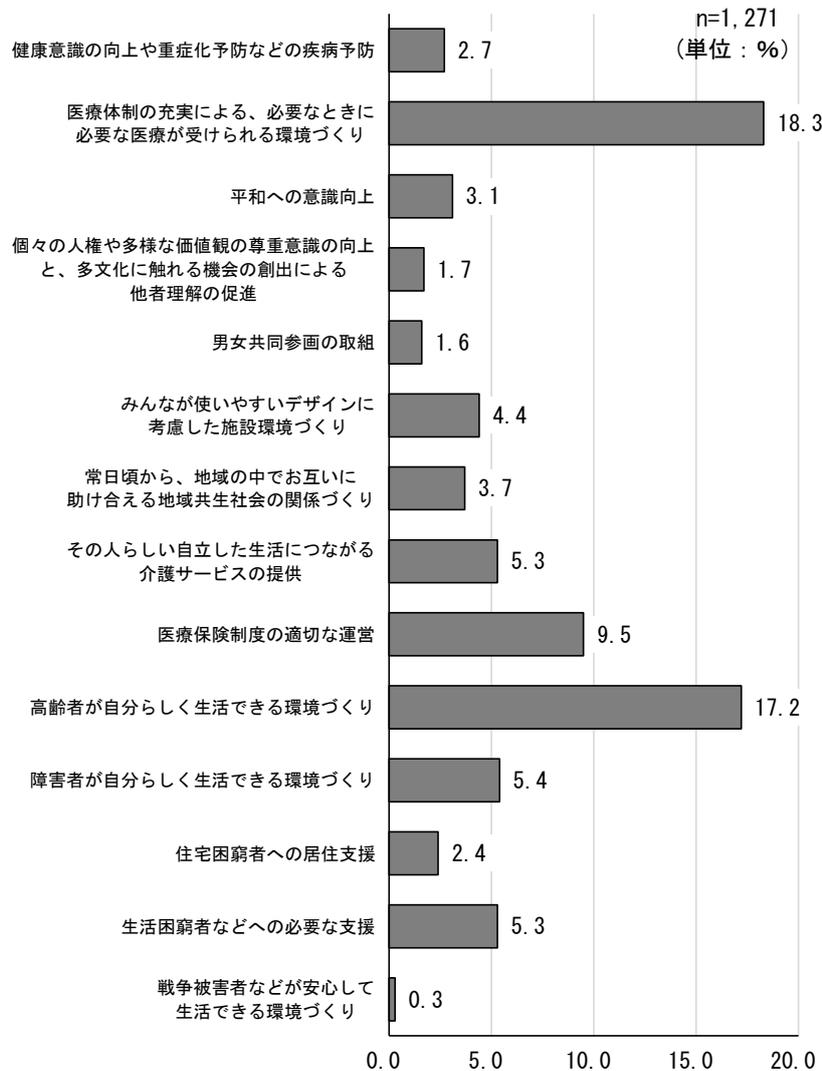
■基本目標『岸和田の次世代を育むまち』の重要度の結果（全58項目中22項目）



② 基本目標『健康で自分らしく生きられるまち』の重要度の結果

基本目標『健康で自分らしく生きられるまち』の重要度の結果は、「医療体制の充実による、必要なときに必要な医療が受けられる環境づくり」(18.3%)が最も高く、次いで「高齢者が自分らしく生活できる環境づくり」(17.2%)、「医療保険制度の適切な運営」(9.5%)となっています。

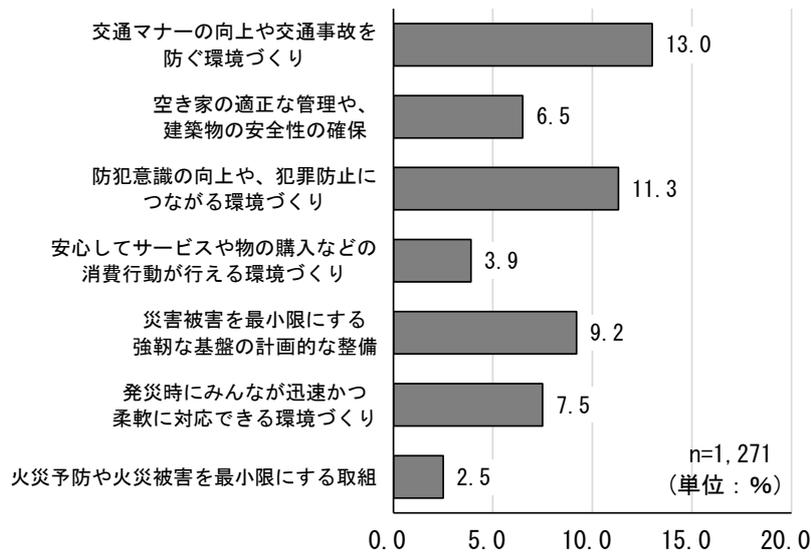
■基本目標『健康で自分らしく生きられるまち』の重要度の結果 (全58項目中14項目)



③ 基本目標『安全で安心して暮らせるまち』の重要度の結果

基本目標『安全で安心して暮らせるまち』の重要度の結果は、「交通マナーの向上や交通事故を防ぐ環境づくり」(13.0%)が最も高く、次いで「防犯意識の向上や、犯罪防止につながる環境づくり」(11.3%)、「災害被害を最小限にする強靱な基盤の計画的な整備」(9.2%)となっています。

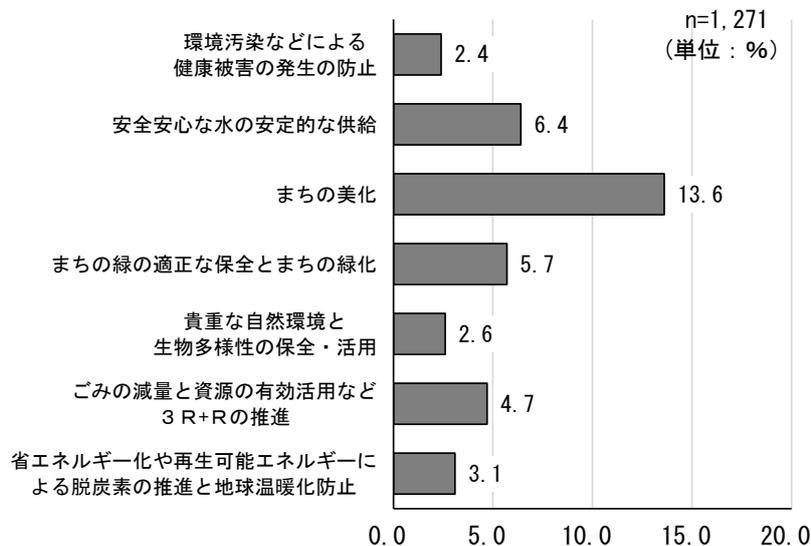
■基本目標『安全で安心して暮らせるまち』の重要度の結果 (全58項目中7項目)



④ 基本目標『人と自然が共生した住みよいまち』の重要度結果に関する項目

基本目標『人と自然が共生した住みよいまち』の重要度の結果は、「まちの美化」(13.6%)が最も高く、次いで「安全安心な水の安定的な供給」(6.4%)、「まちの緑の適正な保全とまちの緑化」(5.7%)となっています。

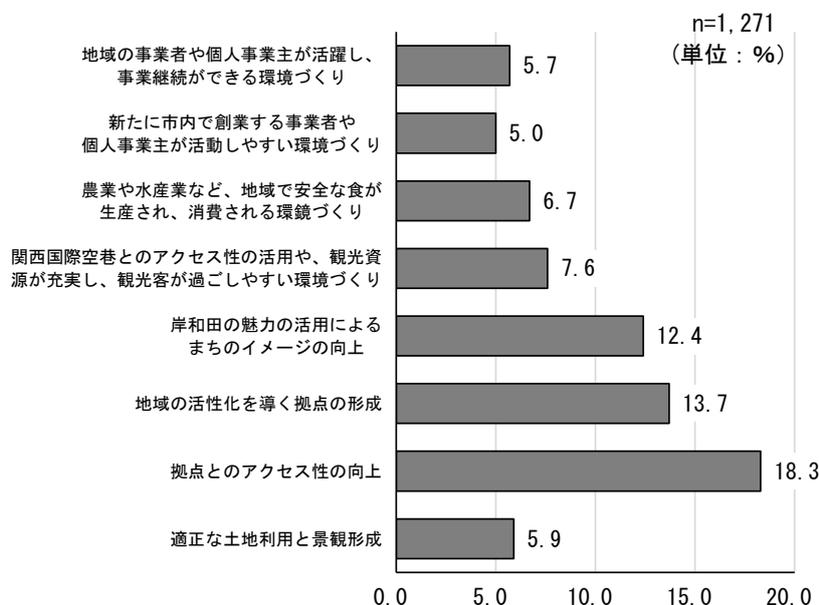
■基本目標『人と自然が共生した住みよいまち』の重要度の結果 (全58項目中7項目)



⑤ 基本目標『にぎわいと活力を創造するまち』の重要度結果に関する項目

基本目標『にぎわいと活力を創造するまち』の重要度の結果は、「拠点とのアクセス性の向上」(18.3%)が最も高く、次いで「地域の活性化を導く拠点の形成」(13.7%)、「岸和田の魅力の活用によるまちのイメージの向上」(12.4%)となっています。

■基本目標『にぎわいと活力を創造するまち』の重要度の結果(全58項目中8項目)



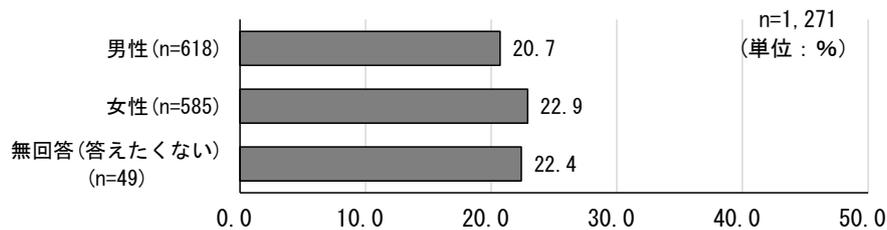
3. 「重要度（上位5項目）」の属性分析

(1) 属性別「保育を必要とする人が、安心して子どもを預けられる環境づくり」の重要度

① 性別

性別にみると、「男性」が20.7%、「女性」が22.9%となっており、「女性」が2.2ポイント上回っています。

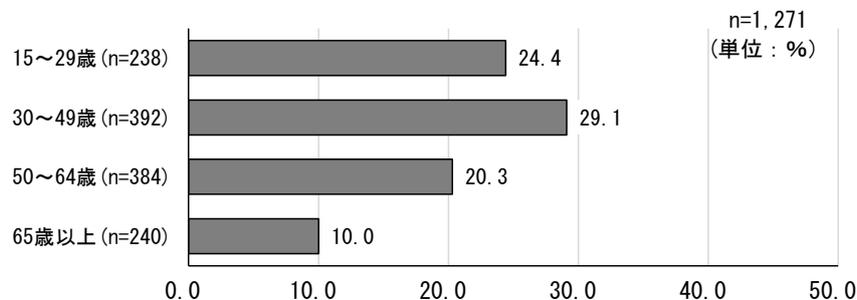
■性別：「保育を必要とする人が、安心して子どもを預けられる環境づくり」の重要度



② 年齢別

年齢別にみると、「30～49歳」(29.1%)が最も高く、次いで「15～29歳」(24.4%)となっています。

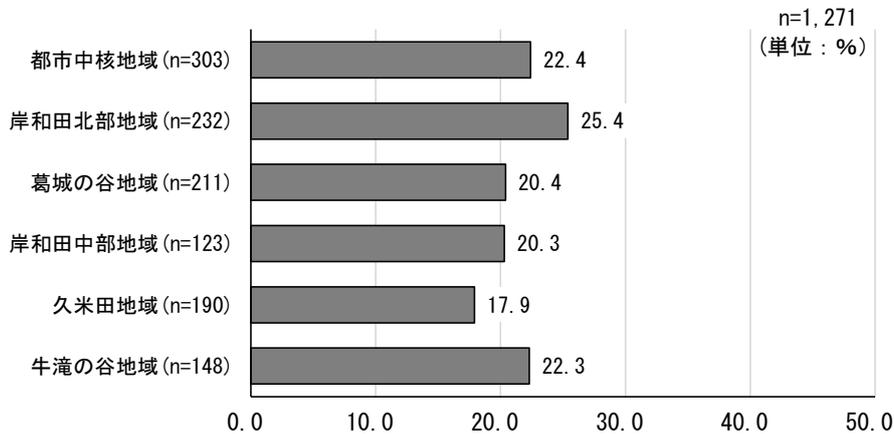
■年齢別：「保育を必要とする人が、安心して子どもを預けられる環境づくり」の重要度



③ 居住地域別

居住地域別にみると、「岸和田北部地域」(25.4%)が最も高く、次いで「都市中核地域」(22.4%)となっています。

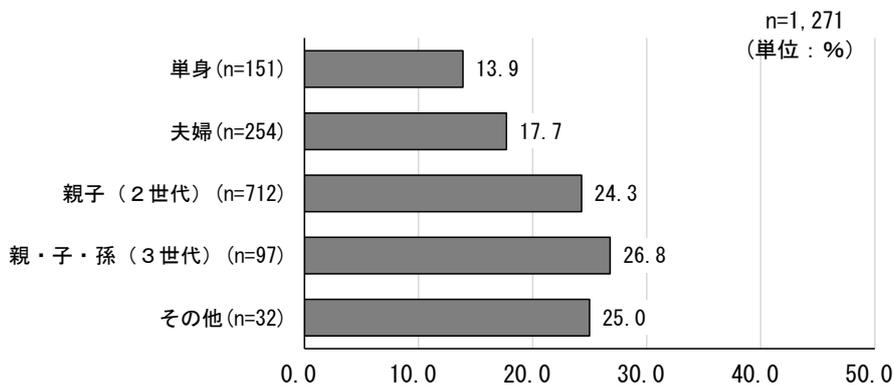
■居住地域別：「保育を必要とする人が、安心して子どもを預けられる環境づくり」の重要度



④ 家族構成別

家族構成別にみると、「親・子・孫(3世代)」世帯(26.8%)が最も高く、次いで「その他」世帯(25.0%)となっています。

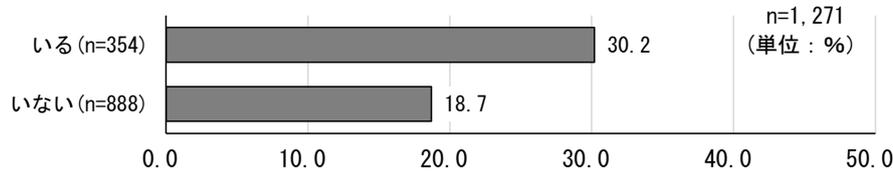
■家族構成別：「保育を必要とする人が、安心して子どもを預けられる環境づくり」の重要度



⑤ 養育中の子どもの有無別

養育中の子どもの有無別にみると、「養育中の子どもがいる」世帯が30.2%で、「養育中の子どもがいない」世帯の18.7%より11.5ポイント上回っています。

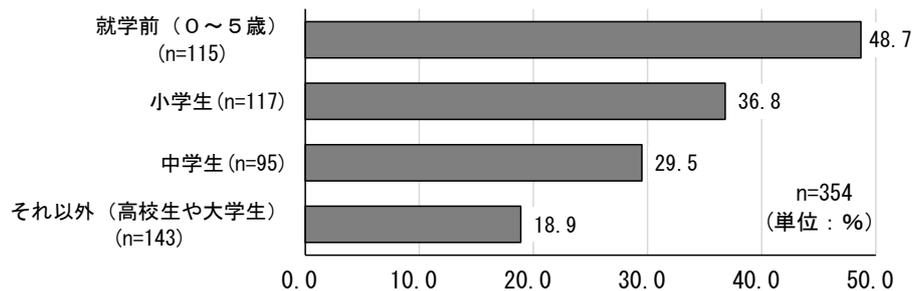
■養育中の子どもの有無別：「保育を必要とする人が、安心して子どもを預けられる環境づくり」の重要度



⑥ 養育中の子どもの内訳別

養育中の子どもの内訳別にみると、「就学前（0～5歳）」の子どもがいる世帯（48.7%）が最も高く、次いで「小学生」の子どもがいる世帯（36.8%）となっています。

■養育中の子どもの内訳（複数回答）別：「保育を必要とする人が、安心して子どもを預けられる環境づくり」の重要度

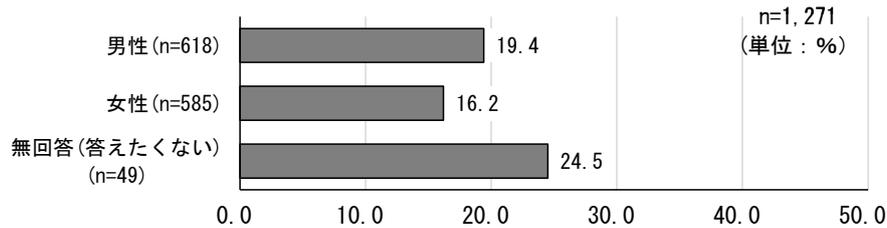


(2) 属性別「医療体制の充実による、必要なときに必要な医療が受けられる環境づくり」の重要度

① 性別

性別にみると、「男性」が19.4%、「女性」の16.2%となっており、「男性」が3.2ポイント上回っています。

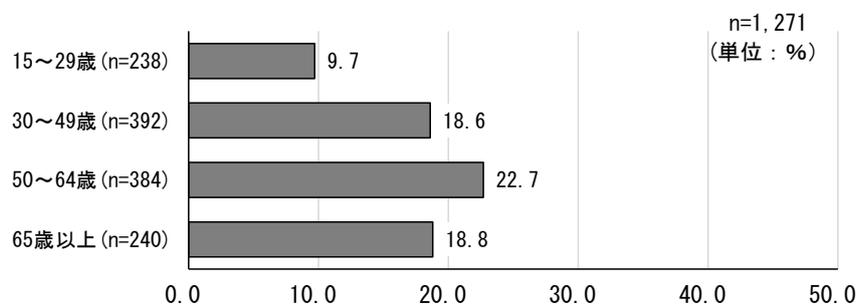
■性別：「医療体制の充実による、必要なときに必要な医療が受けられる環境づくり」の重要度



② 年齢別

年齢別にみると、「50～64歳」(22.7%)が最も高く、次いで「65歳以上」(18.8%)となっています。

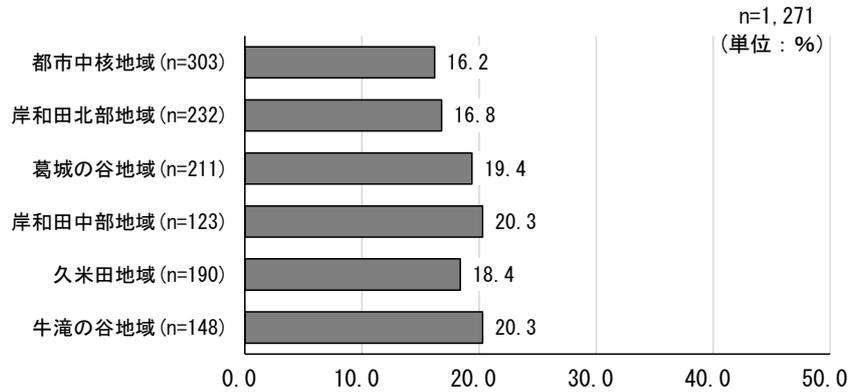
■年齢別：「医療体制の充実による、必要なときに必要な医療が受けられる環境づくり」の重要度



③ 居住地域別

居住地域別にみると、「牛滝の谷地域」と「岸和田中部地域」(20.3%)が最も高く、次いで「葛城の谷地域」(19.4%)となっています。

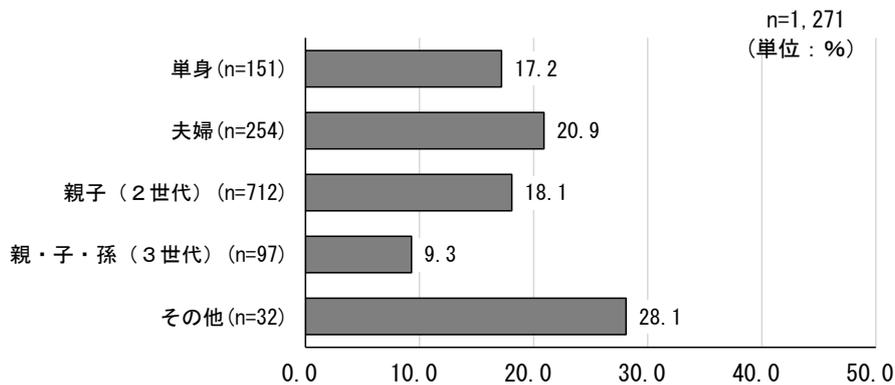
■居住地域別：「医療体制の充実による、必要なときに必要な医療が受けられる環境づくり」の重要度



④ 家族構成別

家族構成別にみると、「その他」世帯(28.1%)が最も高く、次いで「夫婦」世帯(20.9%)となっています。

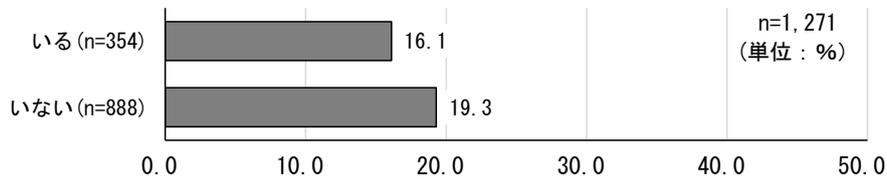
■家族構成別：「医療体制の充実による、必要なときに必要な医療が受けられる環境づくり」の重要度



⑤ 養育中の子どもの有無別

養育中の子どもの有無別にみると、「養育中の子どもがいる」世帯が16.1%で、「養育中の子どもがいない」世帯の19.3%より3.2ポイント下回っています。

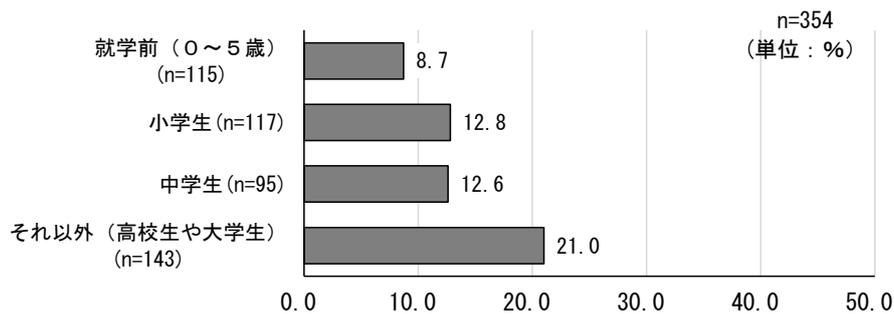
■養育中の子どもの有無別：「医療体制の充実による、必要なときに必要な医療が受けられる環境づくり」の重要度



⑥ 養育中の子どもの内訳別

養育中の子どもの内訳別にみると、「それ以外（高校生や大学生）」の子どもがいる世帯(21.0%)が最も高く、次いで「小学生」の子どもがいる世帯(12.8%)となっています。

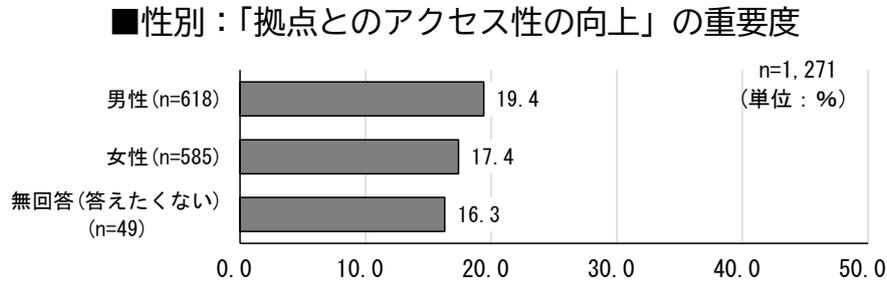
■養育中の子どもの内訳（複数回答）別：「医療体制の充実による、必要なときに必要な医療が受けられる環境づくり」の重要度



(3) 属性別「拠点とのアクセス性の向上」の重要度

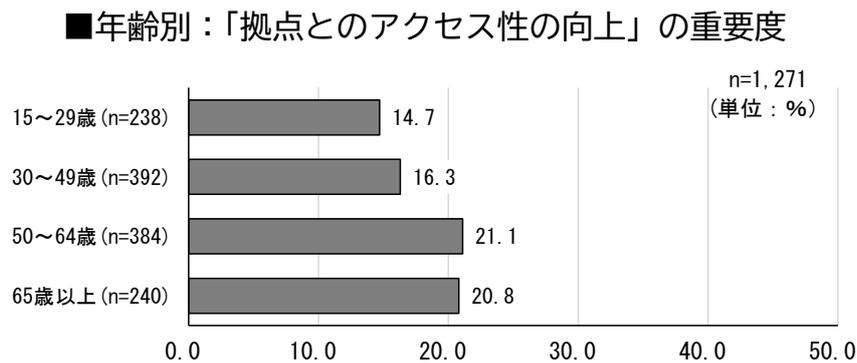
① 性別

性別にみると、「男性」が19.4%で、「女性」の17.4%より2.0ポイント上回っています。



② 年齢別

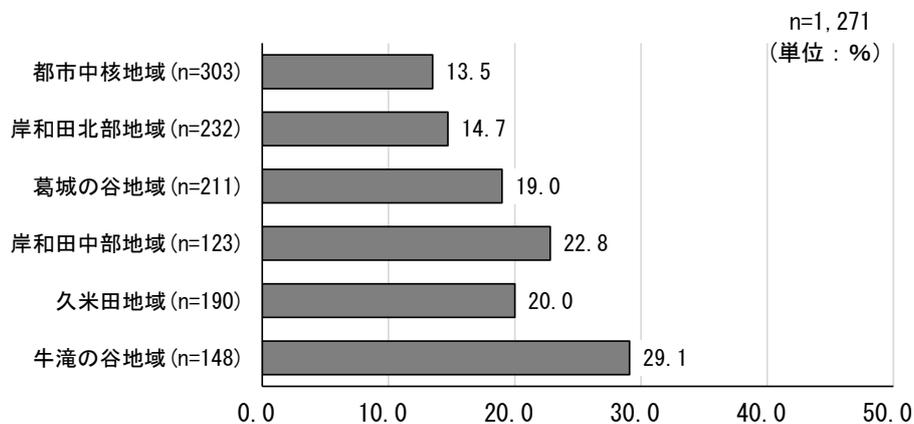
年齢別にみると、「50～64歳」(21.1%)が最も高く、次いで「65歳以上」(20.8%)となっています。



③ 居住地域別

居住地域別にみると、「牛滝の谷地域」(29.1%)が最も高く、次いで「岸和田中部地域」(22.8%)となっています。

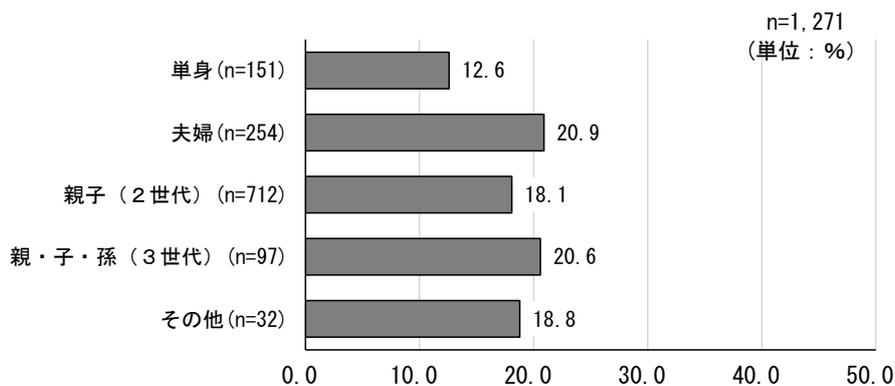
■居住地域別：「拠点とのアクセス性の向上」の重要度



④ 家族構成別

家族構成別にみると、「夫婦」世帯(20.9%)が最も高く、次いで「親・子・孫(3世代)」世帯(20.6%)となっています。

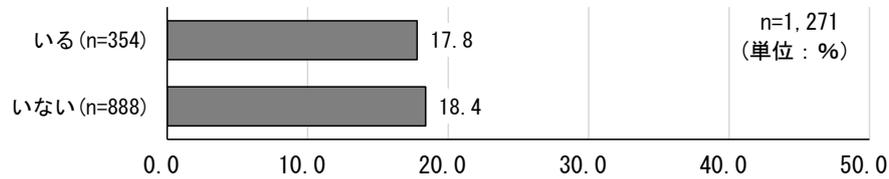
■家族構成別：「拠点とのアクセス性の向上」の重要度



⑤ 養育中の子どもの有無別

養育中の子どもの有無別にみると、「養育中の子どもがいる」世帯が17.8%で、「養育中の子どもがいない」世帯の18.4%より0.6ポイント下回っています。

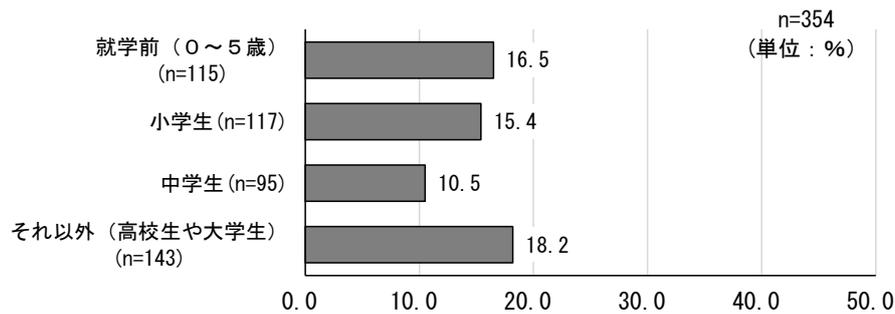
■養育中の子どもの有無別：「拠点とのアクセス性の向上」の重要度



⑥ 養育中の子どもの内訳別

養育中の子どもの内訳別にみると、「それ以外（高校生や大学生）」の子どもがいる世帯（18.2%）が最も高く、次いで「就学前（0～5歳）」の子どもがいる世帯（16.5%）となっています。

■養育中の子どもの内訳（複数回答）別：「拠点とのアクセス性の向上」の重要度

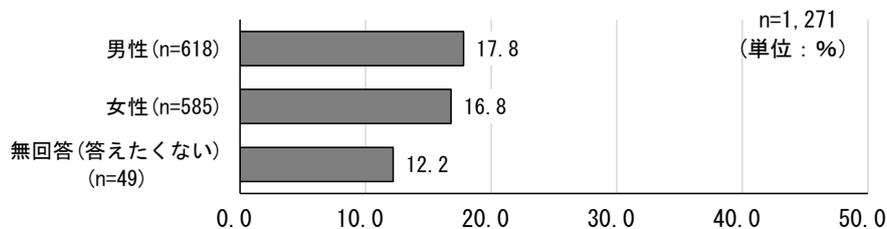


(4) 属性別「高齢者が自分らしく生活できる環境づくり」の重要度

① 性別

性別にみると、「男性」が17.8%、「女性」が16.8%と「男性」が1.0ポイント上回っています。

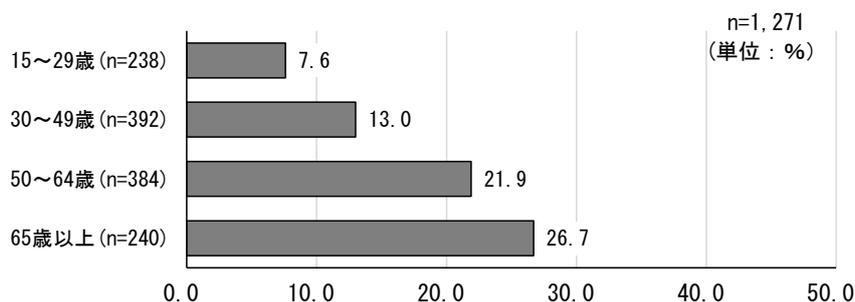
■性別：「高齢者が自分らしく生活できる環境づくり」の重要度



② 年齢別

年齢別にみると、「65歳以上」(26.7%)が最も高く、次いで「50~64歳」(21.9%)となっています。

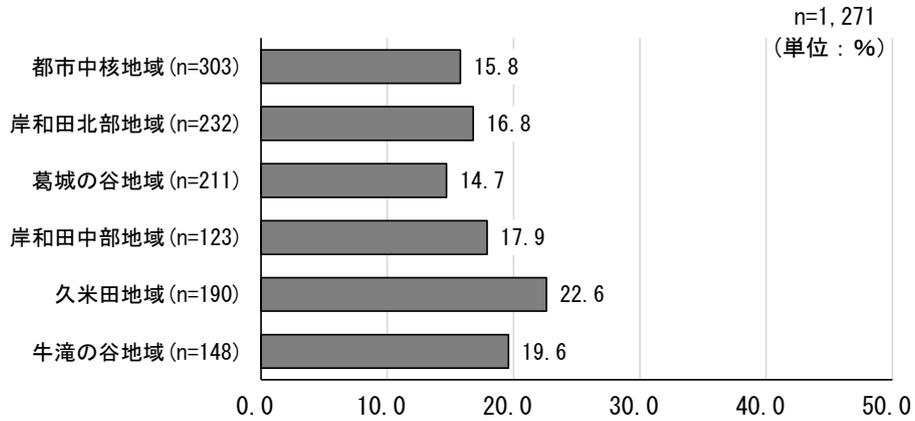
■年齢別：「高齢者が自分らしく生活できる環境づくり」の重要度



③ 居住地域別

居住地域別にみると、「久米田地域」(22.6%)が最も高く、次いで「牛滝の谷地域」(19.6%)となっています。

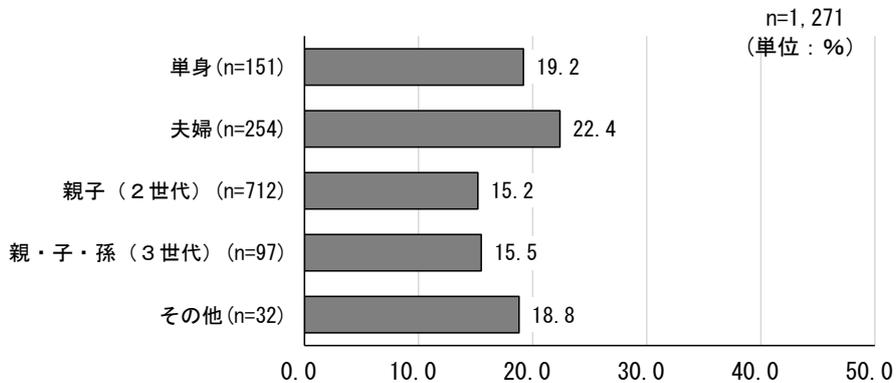
■居住地域別：「高齢者が自分らしく生活できる環境づくり」の重要度



④ 家族構成別

家族構成別にみると、「夫婦」世帯 (22.4%) が最も高く、次いで「単身」世帯 (19.2%) となっています。

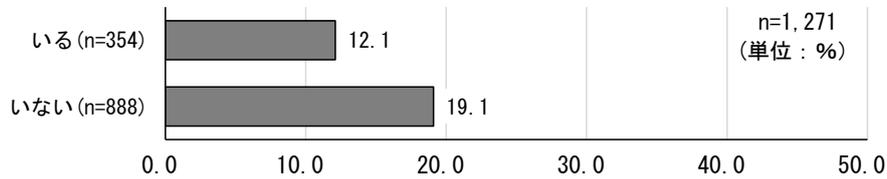
■家族構成別：「高齢者が自分らしく生活できる環境づくり」の重要度



⑤ 養育中の子どもの有無別

養育中の子どもの有無別にみると、「養育中の子どもがいる」世帯が12.1%で、「養育中の子どもがいない」世帯の19.1%より7.0ポイント下回っています。

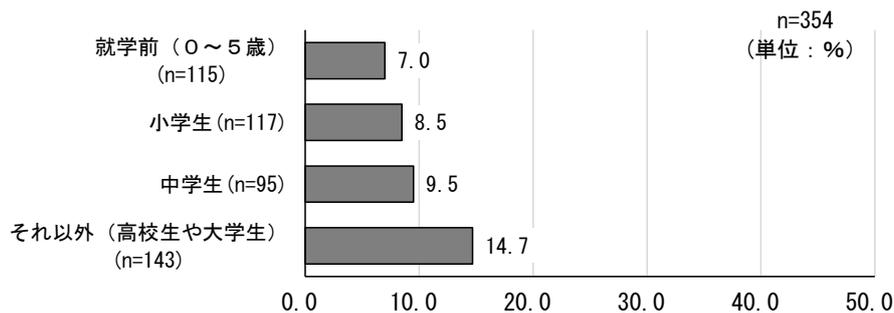
■養育中の子どもの有無別：「高齢者が自分らしく生活できる環境づくり」の重要度



⑥ 養育中の子どもの内訳別

養育中の子どもの内訳別にみると、「それ以外（高校生や大学生）」の子どもがいる世帯（14.7%）が最も高く、次いで「中学生」の子どもがいる世帯（9.5%）となっています。

■養育中の子どもの内訳（複数回答）別：「高齢者が自分らしく生活できる環境づくり」の重要度

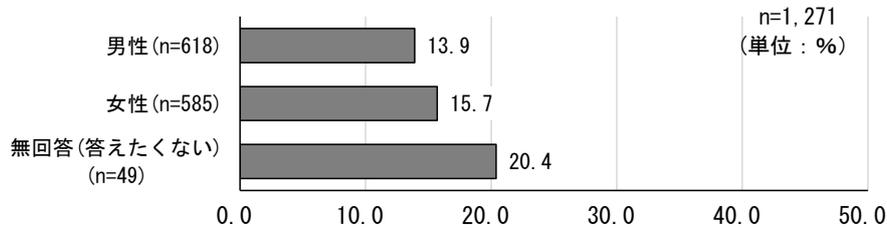


(5) 属性別「妊娠を望む家庭や子育て家庭の不安解消、経済的負担の軽減」の重要度

① 性別

性別にみると、「男性」が13.9%、「女性」が15.7%で「女性」が1.8ポイント上回っています。

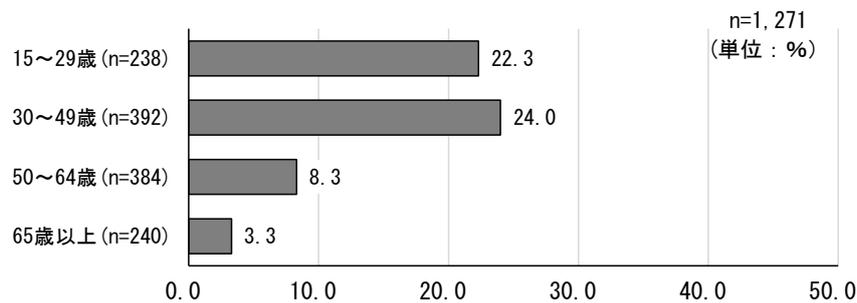
■性別：「妊娠を望む家庭や子育て家庭の不安解消、経済的負担の軽減」の重要度



② 年齢別

年齢別にみると、「30～49歳」(24.0%)が最も高く、次いで「15～29歳」(22.3%)となっています。

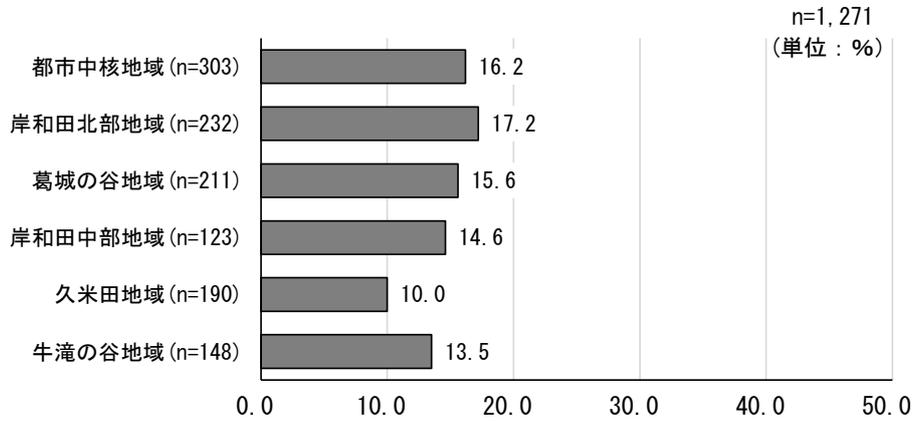
■年齢別：「妊娠を望む家庭や子育て家庭の不安解消、経済的負担の軽減」の重要度



③ 居住地域別

居住地域別にみると、「岸和田北部地域」(17.2%)が最も高く、次いで「都市中核地域」(16.2%)となっています。

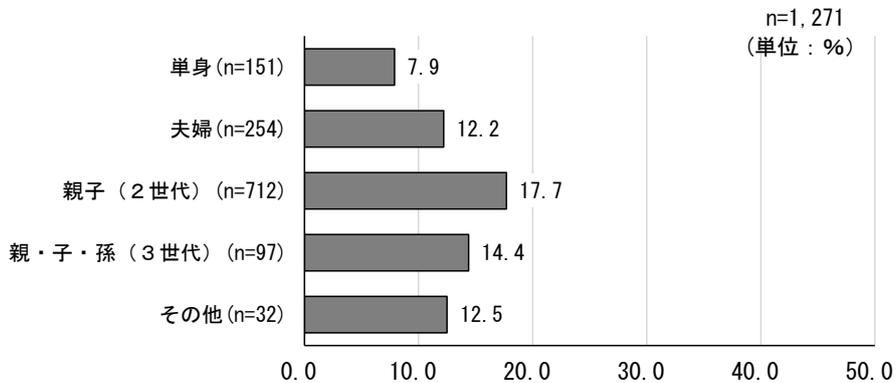
■居住地域別：「妊娠を望む家庭や子育て家庭の不安解消、経済的負担の軽減」の重要度



④ 家族構成別

家族構成別にみると、「親子(2世代)」世帯(17.7%)が最も高く、次いで「親・子・孫(3世代)」世帯が14.4%となっています。

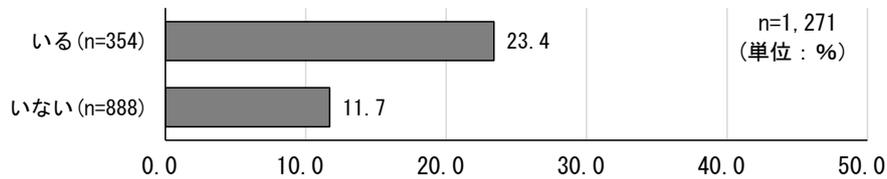
■家族構成別：「妊娠を望む家庭や子育て家庭の不安解消、経済的負担の軽減」の重要度



⑤ 養育中の子どもの有無別

養育中の子どもの有無別にみると、「養育中の子どもがいる」世帯が23.4%で、「養育中の子どもがいない」世帯の11.7%より11.7ポイント上回っています。

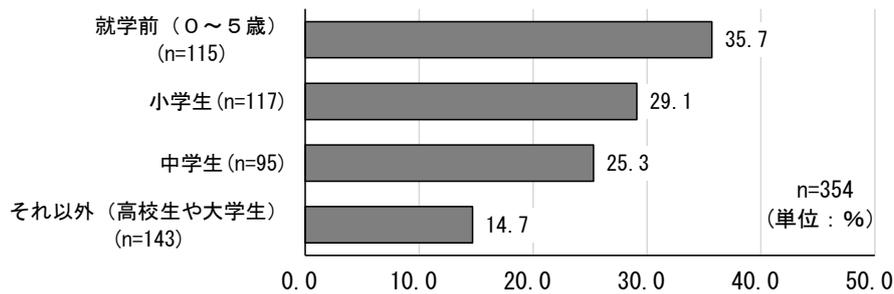
■養育中の子どもの有無別：「妊娠を望む家庭や子育て家庭の不安解消、経済的負担の軽減」の重要度



⑥ 養育中の子どもの内訳別

養育中の子どもの内訳別にみると、「就学前（0～5歳）」の子どもがいる世帯（35.7%）が最も高く、次いで「小学生」の子どもがいる世帯（29.1%）となっています。

■養育中の子どもの内訳（複数回答）別：「妊娠を望む家庭や子育て家庭の不安解消、経済的負担の軽減」の重要度



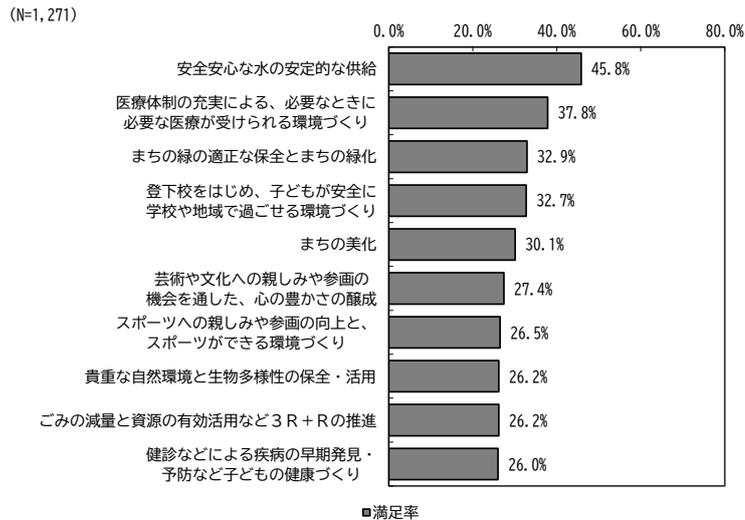
4. 「満足度」の全体の結果

(1) 満足率

〔問 26〕の満足度調査で、「満足」、「まあ満足」と回答した人の割合（以下『満足率』という。）は下記のグラフのとおりです。

58項目のうち、1位は「安全安心な水の安定的な供給」（45.8%）で、次いで「医療体制の充実による、必要なときに必要な医療が受けられる環境づくり」（37.8%）、「まちの緑の適正な保全とまちの緑化」（32.9%）となっています。

■ 「満足率」の全体の結果（上位 10 施策）

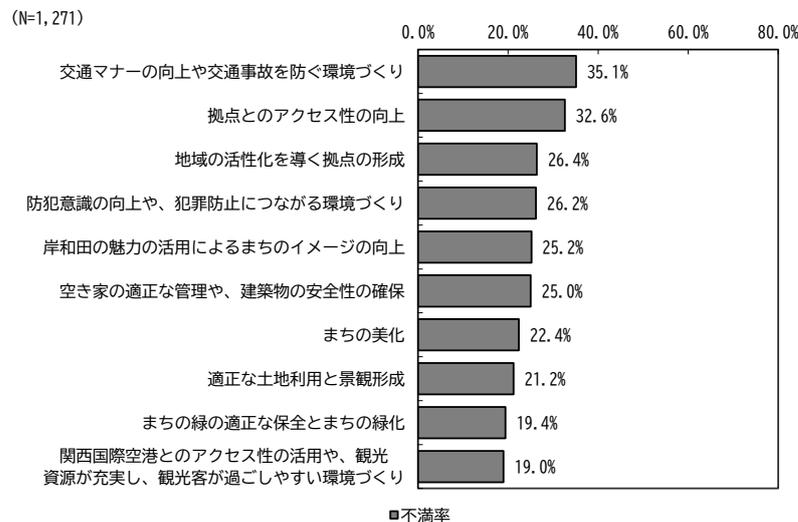


(2) 不満率

〔問 26〕の満足度調査で、「不満」、「やや不満」と回答した人の割合（以下『不満率』という。）は下記のグラフのとおりです。

58項目のうち、1位は「交通マナーの向上や交通事故を防ぐ環境づくり」（35.1%）となっています。次いで「拠点とのアクセス性の向上」（32.6%）、「地域の活性化を導く拠点の形成」（26.4%）となっています。

■ 「不満率」の全体の結果（上位 10 施策）



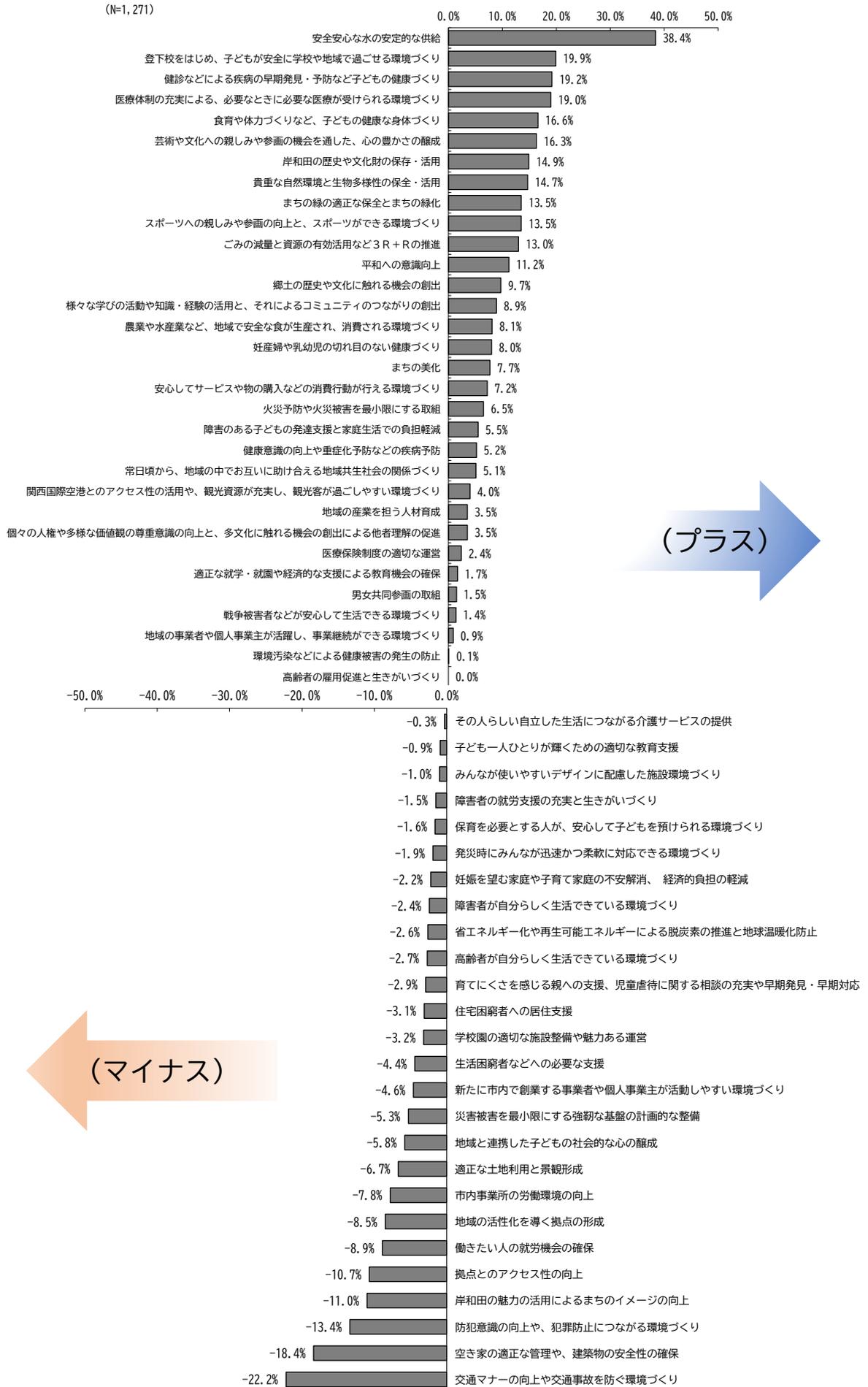
(3) 満足度

『満足率』から『不満率』を差し引いた数値（以下『満足度』という。）は、次のページのグラフの通りです（『不満率』の値が『満足率』の値を上回る場合は、マイナス表記しています。）。

『満足率』で1位であった「安全安心な水の安定的な供給」が『満足度』でも最も高い数値となり、『不満率』で1位であった「交通マナーの向上や交通事故を防ぐ環境づくり」が最も低い数値となりました。

また、「まちの美化」においては、『満足率』で5位、『不満率』で7位、「まちの緑の適正な保全とまちの緑化」においては、『満足率』で3位、『不満率』で9位であり、それぞれ高い値になっているため、『満足度』は相殺されています。

第5 重要度×満足度調査結果

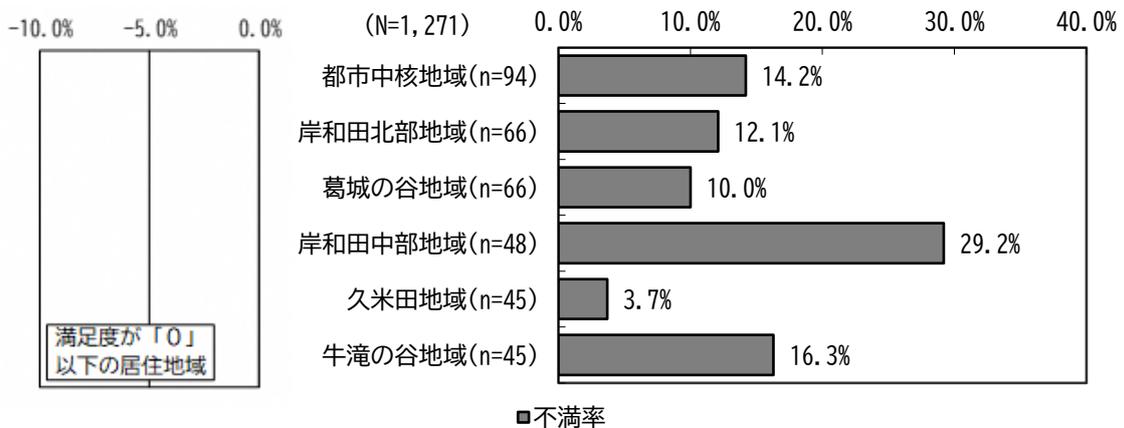
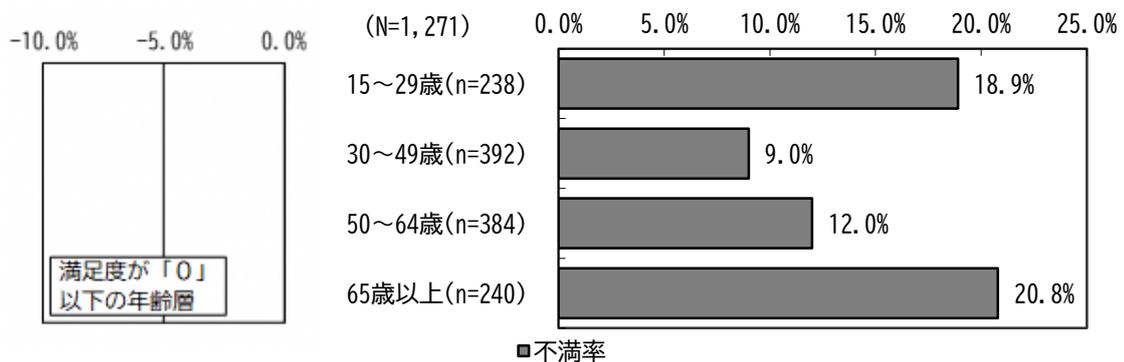


「まちの緑の適正な保全とまちの緑化」の項目については、「満足率」「不満率」ともに上位10位以内に入る結果となりました。この項目について、どのような人が「満足」と回答し、どのような人が「不満」と回答しているかを探るため、年齢別・地域別に集計したのが下記のグラフです。

『満足率』『不満率』ともに上位であるものの、年齢別・地域別で「満足度」が「0」以下になる区分はありませんでした。

■ 「まちの緑の適正な保全とまちの緑化」の属性別結果

○ 「まちの緑の適正な保全とまちの緑化」



第6 重点化施策候補の分析

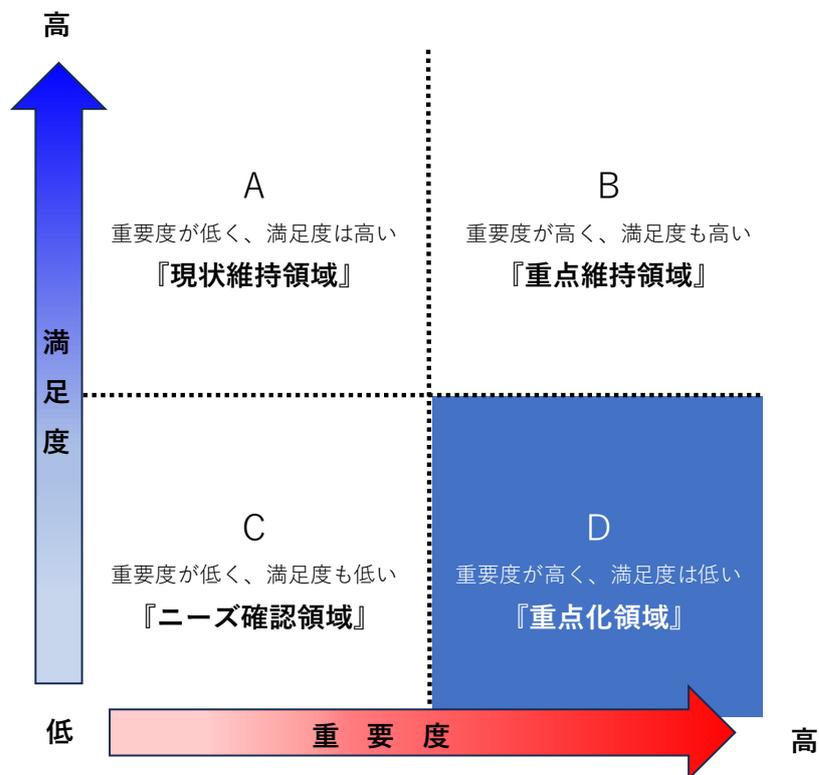
第6 重要化施策候補の分析

1. 重要度・満足度からみた施策の分析

(1) 重点施策候補

『重要度』と『満足度』について、それぞれの平均点を 50 とした偏差値に換算した上で、『重要度』を横軸、『満足度』を縦軸にとり、それぞれの平均値 (50) を交点としたグラフに各施策をプロットする形式で示して、各施策の分布した領域から市民ニーズと重点化すべき施策の傾向を読み取ることとします。

『重要度』が平均より高く、『満足度』が平均より低い領域（下図の網掛け部分の領域）に位置する施策、つまり、市民が岸和田のまちづくりにとって重要だと感じているが、満足していない傾向にある施策については、重点施策の候補とします。



◆領域の説明

- ・領域A 現状維持領域
満足度を維持しつつ、ニーズに見合った対応を検討すべき領域
- ・領域B 重点維持領域
今後も現状も成果を維持しつつ、改善を続けるべき領域
- ・領域C ニーズ確認領域
相対的な満足度の低さは重要度の低さと関係していると思われ、市民ニーズの実態を確認すべき領域
- ・領域D 重点化領域
最優先で改善しなければならない領域

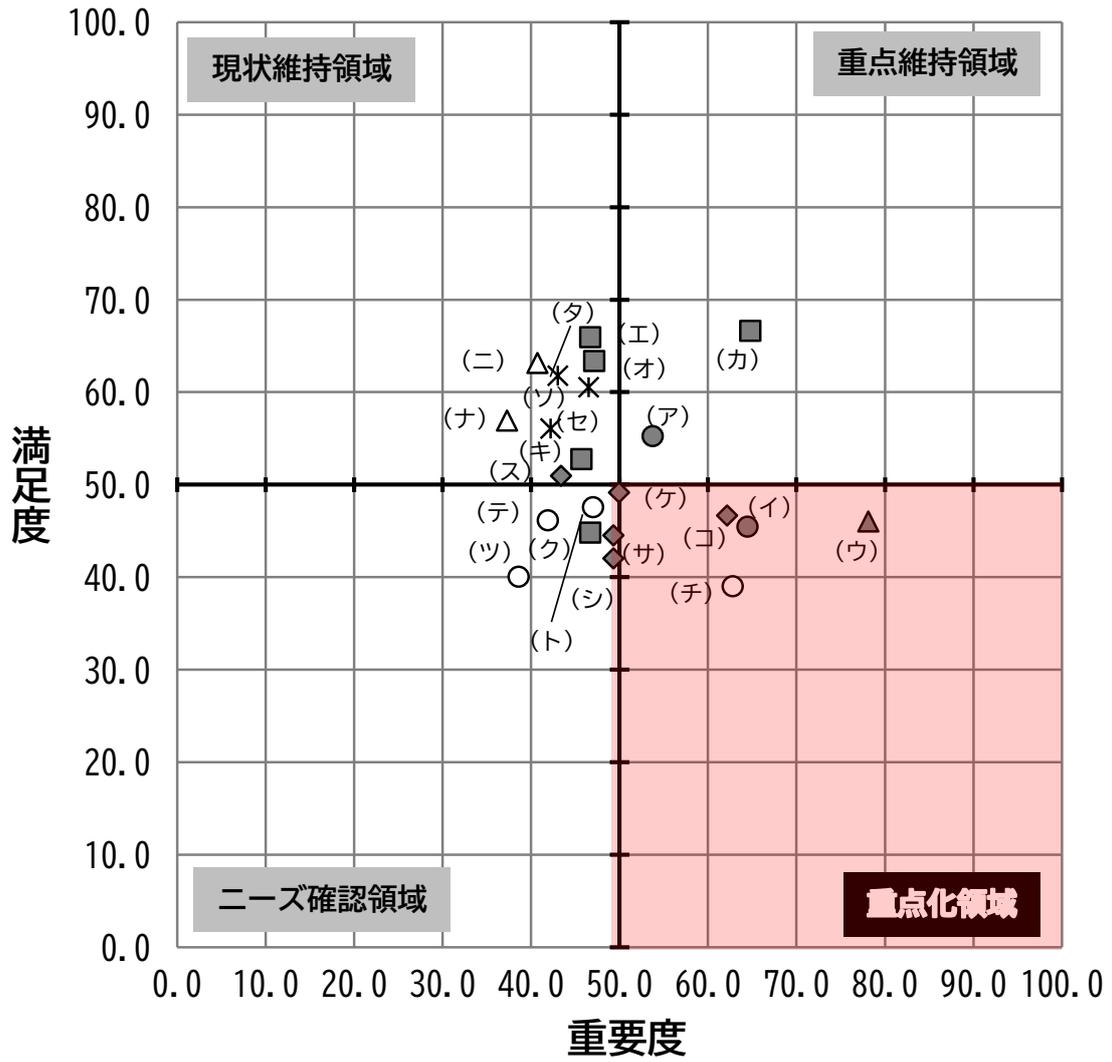
(2) 基本目標別の重要度と満足度

◆基本目標 『岸和田の次世代を育むまち』

個別目標	項目	記号	重要度	満足度	領域
安心して子どもを生み、育てている【●】	妊産婦や乳幼児の切れ目のない健康づくり	(ア)	53.8	55.2	重点維持
	妊娠を望む家庭や子育て家庭の不安解消、経済的負担の軽減	(イ)	64.5	45.5	重点化
働きながら子育てができています【▲】	保育を必要とする人が、安心して子どもを預けられる環境づくり	(ウ)	78.2	46.0	重点化
子どもの健康と安全が保たれている【■】	健診などによる疾病の早期発見・予防など子どもの健康づくり	(エ)	46.7	65.9	重点維持
	食育や体力づくりなど、子どもの健康な身体づくり	(オ)	47.2	63.4	現状維持
	登下校をはじめ、子どもが安全に学校や地域で過ごせる環境づくり	(カ)	64.8	66.6	重点維持
	障害のある子どもの発達支援と家庭生活での負担軽減	(キ)	45.7	52.8	現状維持
	育てにくさを感じる親への支援、児童虐待に関する相談の充実や早期発見・早期対応	(ク)	46.7	44.8	二ーズ確認
子どもの個性や能力が豊かに育まれている【◆】	適正な就学・就園や経済的な支援による教育機会の確保	(ケ)	50.0	49.1	重点化
	子ども一人ひとりが輝くための適切な教育支援	(コ)	62.2	46.7	重点化
	学校園の適切な施設整備や魅力ある運営	(サ)	49.3	44.5	二ーズ確認
	地域と連携した子どもの社会的な心の醸成	(シ)	49.3	42.0	二ーズ確認
	地域の産業を担う人材育成	(ス)	43.4	50.9	現状維持
生涯にわたる能力づくりが進められ、活かされている【*】	様々な学びの活動や知識・経験の活用と、それによるコミュニティのつながりの創出	(セ)	42.2	56.1	現状維持
	スポーツへの親しみや参画の向上と、スポーツができる環境づくり	(ソ)	46.5	60.5	現状維持
	芸術や文化への親しみや参画の機会を通じた、心の豊かさの醸成	(タ)	40.8	63.1	現状維持
誰もが社会参加し、活躍できる場がつけられている【○】	働きたい人の就労機会の確保	(チ)	62.8	39.0	重点化
	市内事業所の労働環境の向上	(ツ)	38.6	40.0	二ーズ確認
	障害者の就労支援の充実と生きがいづくり	(テ)	41.9	46.1	二ーズ確認
	高齢者の雇用促進と生きがいづくり	(ト)	47.0	47.6	二ーズ確認
郷土の歴史や文化が引き継がれている【△】	郷土の歴史や文化に触れる機会の創出	(ナ)	37.3	56.9	現状維持
	岸和田の歴史や文化財の保存・活用	(ニ)	43.1	61.8	現状維持

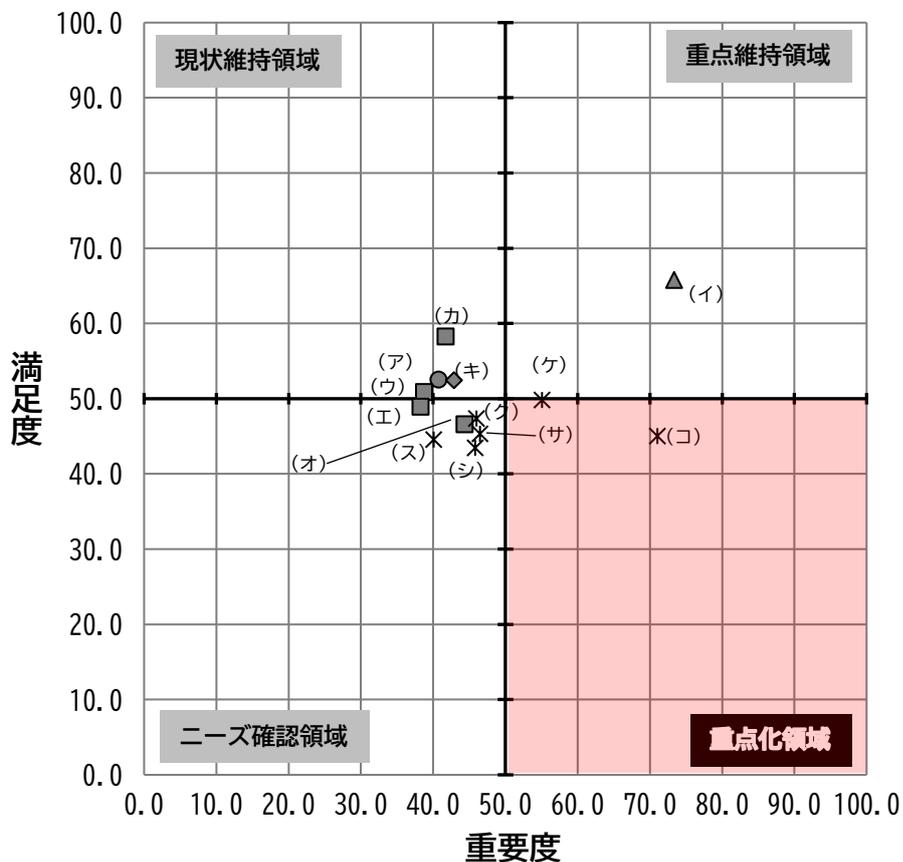
※グラフは次ページを参照

(注) 網掛けは重点化領域を示す



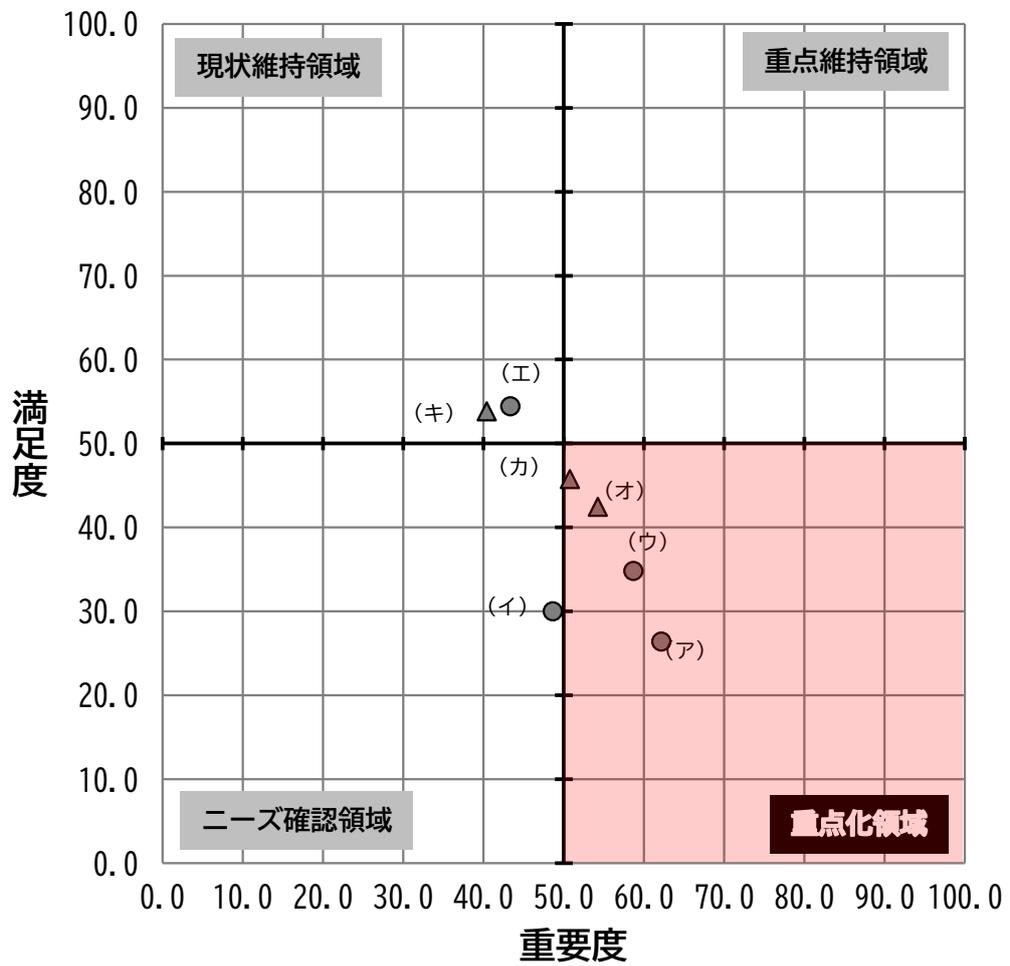
◆基本目標 『健康で自分らしく生きられるまち』

個別目標	項目	記号	重要度	満足度	領域
健康意識の向上とともに、介護予防が進められ、心身の健康が維持・増進している(●)	健康意識の向上や重症化予防などの疾病予防	(ア)	40.8	52.5	現状維持
	医療体制の充実による、必要なときに必要な医療が受けられる環境づくり	(イ)	73.4	65.8	重点維持
平和で、多様な価値観が尊重され、他者への理解が促進し、自分らしく生活できる環境が整っている(■)	個々の人権や多様な価値観の尊重意識の向上と、多文化に触れる機会の創出による他者理解の促進	(ウ)	38.8	50.9	現状維持
	男女共同参画の取組	(エ)	38.3	48.9	二ーズ確認
	みんなが使いやすいデザインに配慮した施設環境づくり	(オ)	44.4	46.6	二ーズ確認
	平和への意識向上	(カ)	41.7	58.2	現状維持
地域で支えあい、助けあえる関係が築けている(◆)	常日頃から、地域の中でお互いに助け合える地域共生社会の関係づくり	(キ)	42.9	52.5	現状維持
	その人らしい自立した生活につながる介護サービスの提供	(ク)	46.0	47.3	二ーズ確認
介護や医療保険、障害者支援の福祉サービスなど、誰もが必要な支援を受け安心して生活している(*)	医療保険制度の適切な運営	(ケ)	55.1	49.8	重点維持
	高齢者が自分らしく生活できる環境づくり	(コ)	71.1	45.0	重点化
	障害者が自分らしく生活できる環境づくり	(サ)	46.5	45.3	二ーズ確認
	生活困窮者などへの必要な支援	(シ)	45.9	43.4	二ーズ確認
	住宅困窮者への居住支援	(ス)	40.1	44.6	二ーズ確認



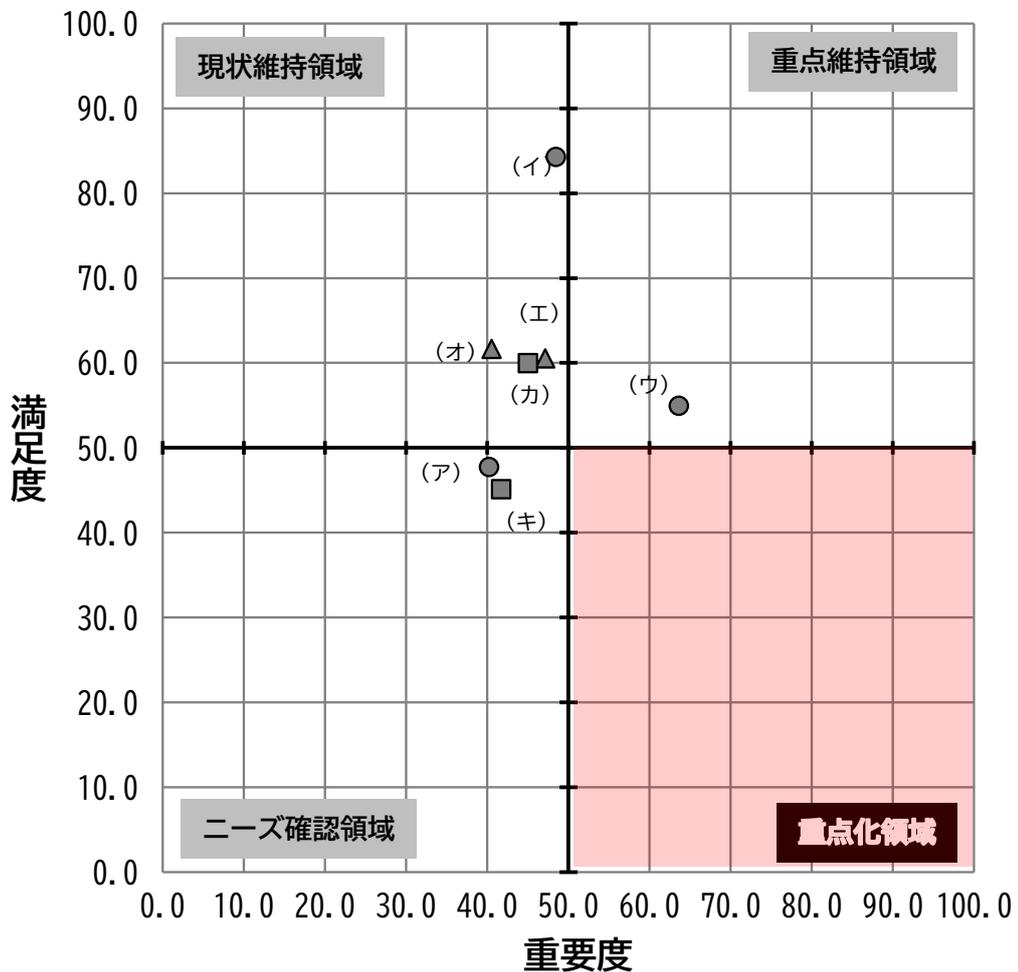
◆基本目標 『安全で安心して暮らせるまち』

個別目標	項目	記号	重要度	満足度	領域
事故や犯罪などに巻き込まれない生活を送れている (●)	交通マナーの向上や交通事故を防ぐ環境づくり	(ア)	62.2	26.4	重点化
	空き家の適正な管理や、建築物の安全性の確保	(イ)	48.7	30.0	ニーズ確認
	防犯意識の向上や、犯罪防止につながる環境づくり	(ウ)	58.7	34.8	重点化
	安心してサービスや物の購入などの消費行動が行える環境づくり	(エ)	43.4	54.4	現状維持
災害などの非常時への準備が進められ、強靱な環境になっている (▲)	災害被害を最小限にする強靱な基盤の計画的な整備	(オ)	54.3	42.4	重点化
	発災時にみんなが迅速かつ柔軟に対応できる環境づくり	(カ)	50.8	45.8	重点化
	火災予防や火災被害を最小限にする取組	(キ)	40.4	53.8	現状維持



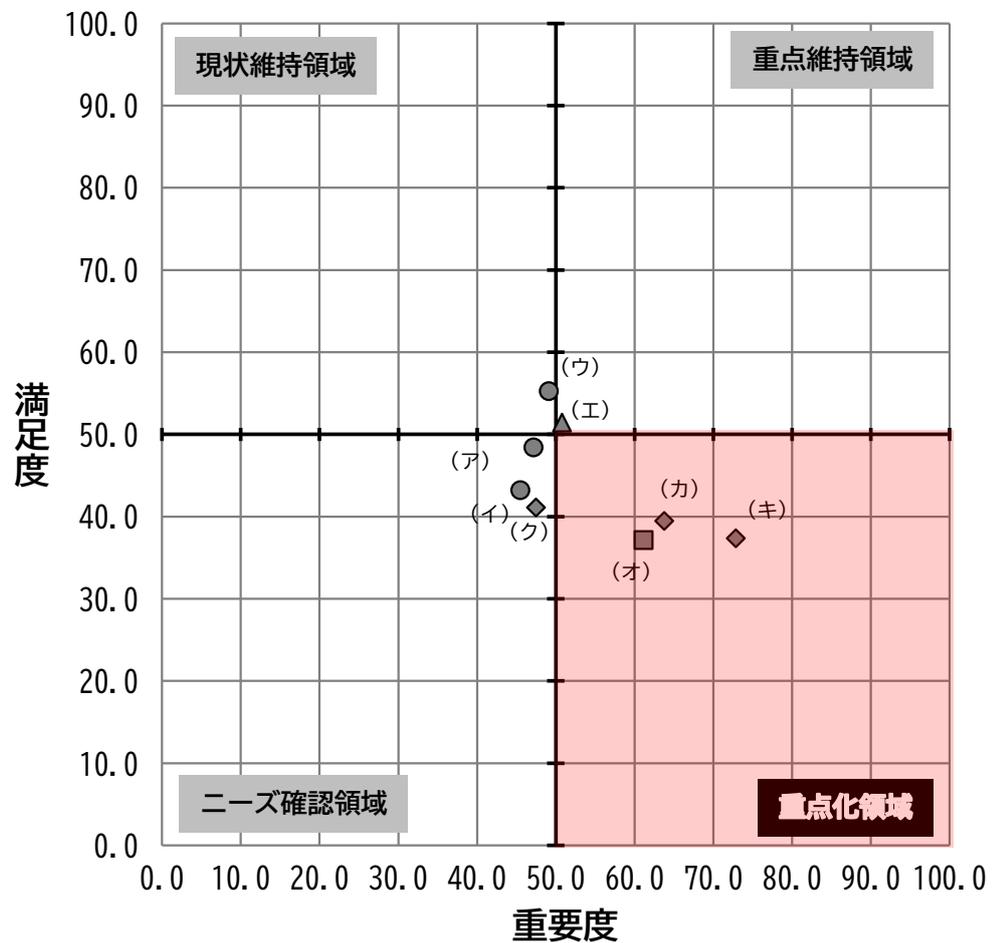
◆基本目標 『人と自然が共生した住みよいまち』

個別目標	項目	記号	重要度	満足度	領域
良好な生活環境とともに、まちが美しくなっている (●)	環境汚染などによる健康被害の発生の防止	(ア)	40.3	47.7	二ーズ確認
	安全安心な水の安定的な供給	(イ)	48.5	84.3	現状維持
	まちの美化	(ウ)	63.7	54.9	重点維持
人が緑と触れあっている (▲)	まちの緑の適正な保全とまちの緑化	(エ)	47.2	60.5	現状維持
	貴重な自然環境と生物多様性の保全・活用	(オ)	40.6	61.6	現状維持
環境の負荷を減らした循環共生型の地域社会がつけられている (■)	ごみの減量と資源の有効活用など3R+Rの推進	(カ)	45.0	60.0	現状維持
	省エネルギー化や再生可能エネルギーによる脱炭素の推進と地球温暖化防止	(キ)	41.7	45.1	二ーズ確認



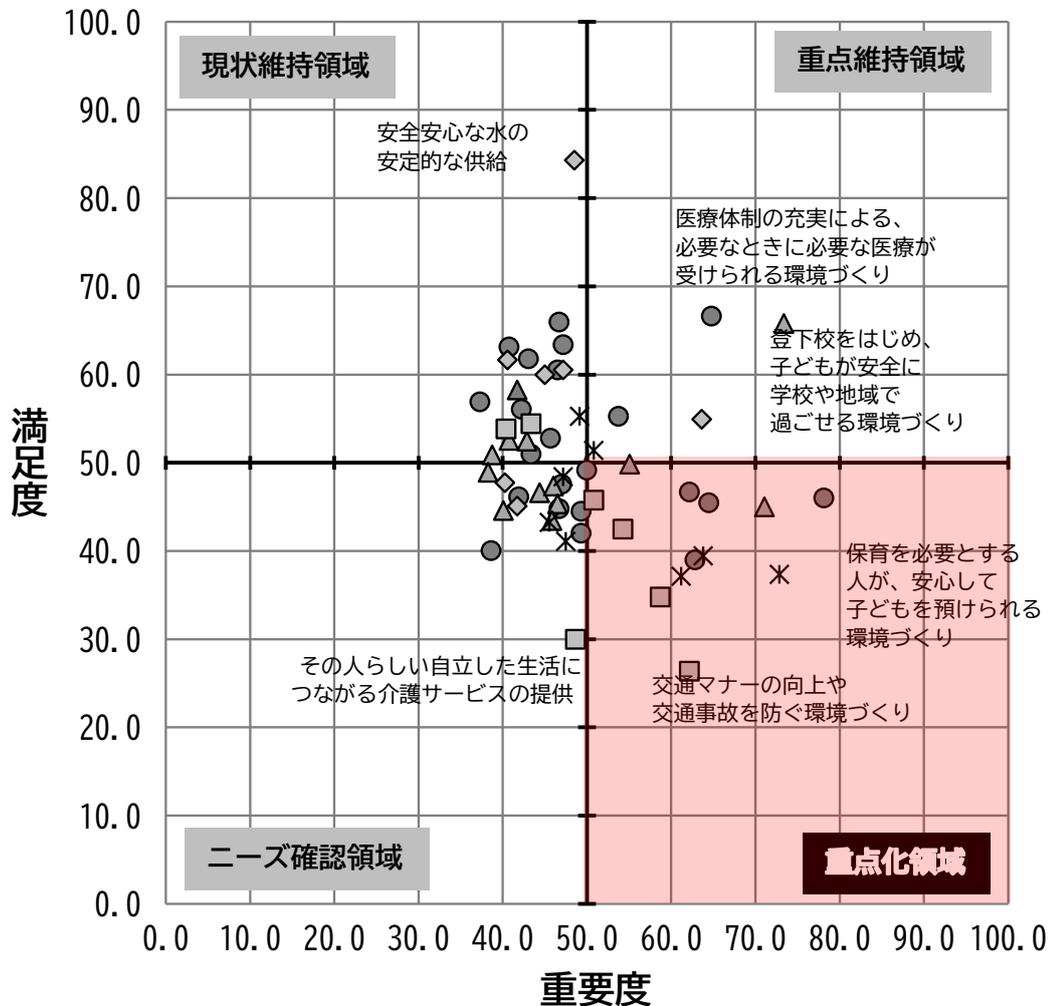
◆基本目標 『にぎわいと活力を創造するまち』

個別目標	項目	記号	重要度	満足度	領域
活発な経済活動が行われている (●)	地域の事業者や個人事業主が活躍し、事業継続ができる環境づくり	(ア)	47.2	48.4	二一ズ確認
	新たに市内で創業する事業者や個人事業主が活動しやすい環境づくり	(イ)	45.5	43.2	二一ズ確認
	農業や水産業など、地域で安全な食が生産され、消費される環境づくり	(ウ)	49.2	55.2	現状維持
観光資源が活かされている (▲)	関西国際空港とのアクセス性の活用や、観光資源が充実し、観光客が過ごしやすい環境づくり	(エ)	50.8	51.4	重点維持
岸和田の魅力が伝わっている (■)	岸和田の魅力の活用によるまちのイメージの向上	(オ)	61.2	37.1	重点化
にぎわいや活力を支える基盤が整っている (◆)	地域の活性化を導く拠点の形成	(カ)	63.8	39.4	重点化
	拠点とのアクセス性の向上	(キ)	72.9	37.3	重点化
	適正な土地利用と景観形成	(ク)	47.5	41.1	二一ズ確認



◆全施策

全体をみると、58 施策のうち 17 施策が現状維持領域、8 施策が重点維持領域、21 施策がニーズ確認領域、12 施策が重点化領域に分布しています。



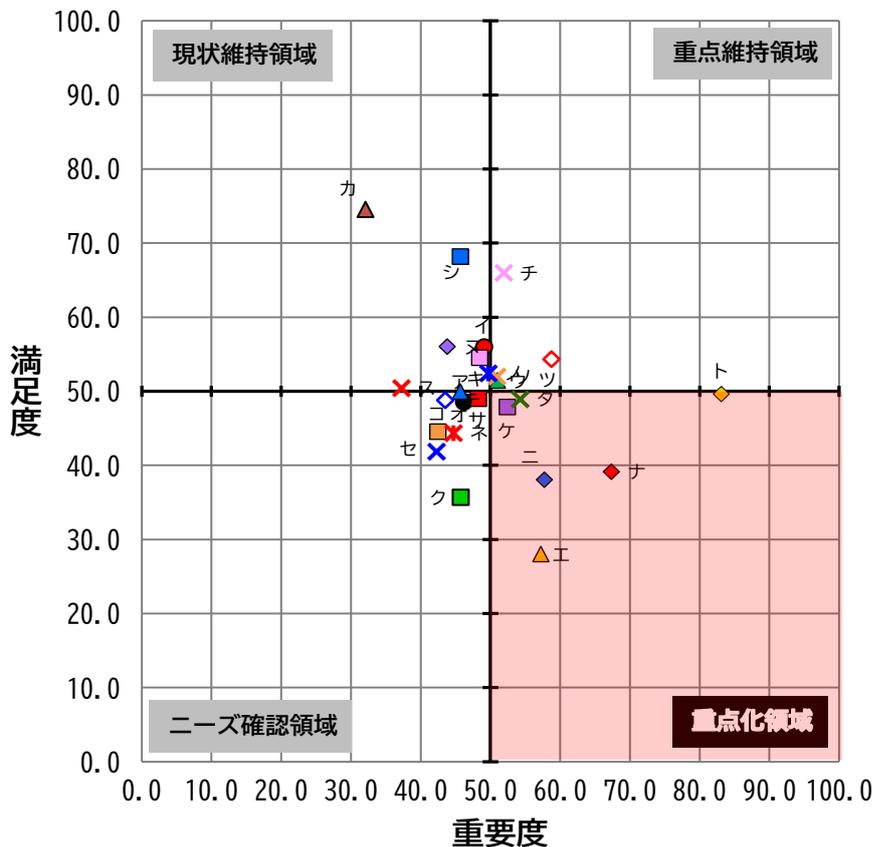
- 基本目標『岸和田の次世代を育むまち』
- ▲ 基本目標『健康で自分らしく生きられるまち』
- 基本目標『安全で安心して暮らせるまち』
- ◆ 基本目標『人と自然が共生した住みよいまち』
- * 基本目標『にぎわいと活力を創造するまち』

(3) 属性別の重要度と満足度

以下は重要度上位3位（P.61 参照）までの項目について属性別にまとめました。

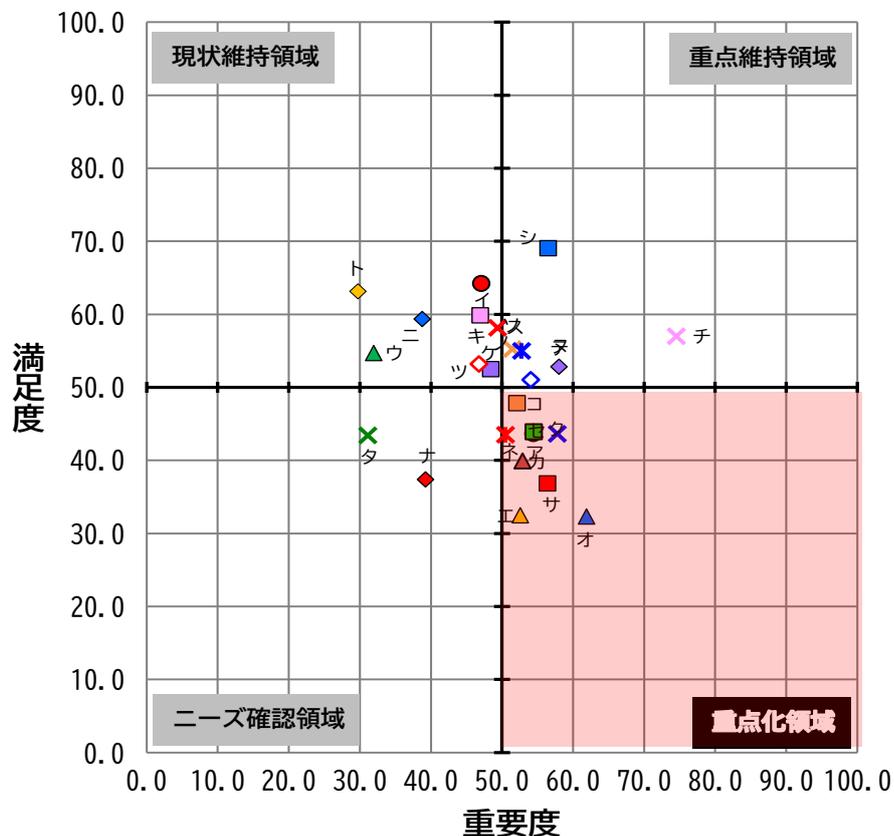
◆保育を必要とする人が、安心して子どもを預けられる環境づくり

設問		回答項目	記号	重要度	満足度	領域	凡例
問28	性別	男性	ア	46.2	48.5	二一ズ確認	●
		女性	イ	49.1	56.0	現状維持	●
問29	年齢	15～29歳	ウ	51.0	51.4	重点化	▲
		30～49歳	エ	57.3	28.0	重点化	▲
		50～64歳	オ	45.7	50.0	二一ズ確認	▲
		65歳以上	カ	32.1	74.5	現状維持	▲
問30	居住地	都市中核地域	キ	48.5	54.5	二一ズ確認	■
		岸和田北部地域	ク	45.8	35.7	現状維持	■
		葛城の谷地域	ケ	52.4	47.9	重点化	■
		岸和田中部地域	コ	42.5	44.5	現状維持	■
		久米田地域	サ	48.3	49.0	重点化	■
		牛滝の谷地域	シ	45.7	68.2	二一ズ確認	■
		その他	ソ	50.9	52.0	重点化	■
問35	家族構成	単身	ス	37.2	50.4	現状維持	×
		夫婦	セ	42.3	41.8	二一ズ確認	×
		親子（2世代）	ソ	50.9	52.0	重点化	×
		親・子・孫（3世代）	タ	54.3	48.9	重点維持	×
		その他	チ	51.9	66.0	重点維持	×
		その他	テ	43.6	48.8	現状維持	×
問36	養育中の子どもの有無	いる	ツ	58.8	54.3	重点化	◇
		いない	テ	43.6	48.8	現状維持	◇
問36-1	養育中の子どもの年代	就学前（0～5歳）	ト	83.1	49.6	重点化	◇
		小学生	ナ	67.4	39.1	重点維持	◇
		中学生	ニ	57.8	38.0	現状維持	◇
		それ以外（高校生や大学生）	ヌ	43.8	56.0	重点化	◇
問37	65歳以上の高齢者	いる	ネ	44.7	44.4	現状維持	*
		いない	ノ	49.7	52.4	重点化	*



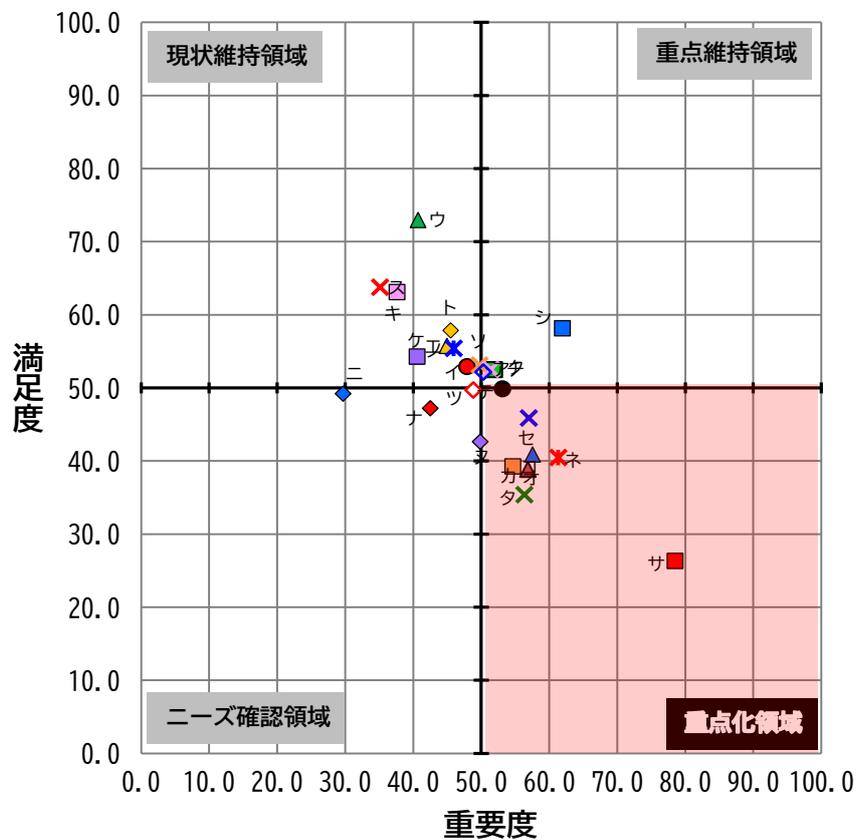
◆医療体制の充実により、必要なときに必要な医療が受けられる環境づくりを進める

設問		回答項目	記号	重要度	満足度	領域	凡例
問28	性別	男性	ア	54.4	43.7	二一ズ確認	●
		女性	イ	47.1	64.2	重点化	●
問29	年齢	15～29歳	ウ	32.0	54.7	現状維持	▲
		30～49歳	エ	52.6	32.5	二一ズ確認	▲
		50～64歳	オ	61.9	32.3	重点化	▲
		65歳以上	カ	52.9	39.9	重点化	▲
問30	居住地	都市中核地域	キ	47.0	59.9	重点化	■
		岸和田北部地域	ク	54.5	43.9	重点維持	■
		葛城の谷地域	ケ	48.4	52.5	現状維持	■
		岸和田中部地域	コ	52.1	47.8	重点化	■
		久米田地域	サ	56.4	36.8	重点維持	■
		牛滝の谷地域	シ	56.5	69.0	二一ズ確認	■
問35	家族構成	単身	ス	49.4	58.2	現状維持	×
		夫婦	セ	57.8	43.7	重点化	×
		親子（2世代）	ソ	51.4	55.3	重点維持	×
		親・子・孫（3世代）	タ	31.1	43.4	二一ズ確認	×
		その他	チ	74.5	57.0	現状維持	×
問36	養育中の子どもの有無	いる	ツ	46.8	53.2	二一ズ確認	◇
		いない	テ	54.1	51.0	重点化	◇
問36-1	養育中の子どもの年代	就学前（0～5歳）	ト	29.7	63.1	現状維持	◆
		小学生	ナ	39.2	37.4	現状維持	◆
		中学生	ニ	38.8	59.4	二一ズ確認	◆
		それ以外（高校生や大学生）	ヌ	58.0	52.8	重点化	◆
問37	65歳以上の高齢者	いる	ネ	50.5	43.5	重点化	*
		いない	ノ	52.7	55.0	現状維持	*



◆拠点とのアクセス性の向上

設問		回答項目	記号	重要度	満足度	領域	凡例
問28	性別	男性	ア	53.1	49.9	重点維持	●
		女性	イ	47.9	52.9	二一ズ確認	●
問29	年齢	15～29歳	ウ	40.7	73.0	現状維持	▲
		30～49歳	エ	45.0	55.7	現状維持	▲
		50～64歳	オ	57.6	40.9	重点化	▲
		65歳以上	カ	56.9	38.8	重点化	▲
問30	居住地	都市中核地域	キ	37.6	63.1	二一ズ確認	■
		岸和田北部地域	ク	51.9	52.5	現状維持	■
		葛城の谷地域	ケ	40.6	54.3	重点維持	■
		岸和田中部地域	コ	54.7	39.2	重点維持	■
		久米田地域	サ	78.5	26.3	二一ズ確認	■
		牛滝の谷地域	シ	62.0	58.1	重点化	■
問35	家族構成	単身	ス	35.1	63.8	重点維持	×
		夫婦	セ	57.0	45.9	重点化	×
		親子（2世代）	ソ	49.7	53.1	現状維持	×
		親・子・孫（3世代）	タ	56.3	35.4	二一ズ確認	×
		その他	チ	51.4	52.6	重点化	×
問36	養育中の子どもの有無	いる	ツ	48.9	49.7	現状維持	◇
		いない	テ	50.3	52.1	重点化	◇
問36-1	養育中の子どもの年代	就学前（0～5歳）	ト	45.5	57.8	現状維持	◇
		小学生	ナ	42.5	47.2	現状維持	◇
		中学生	ニ	29.7	49.2	重点維持	◇
		それ以外（高校生や大学生）	ヌ	49.9	42.6	二一ズ確認	◇
問37	65歳以上の高齢者	いる	ネ	61.3	40.5	重点化	*
		いない	ノ	45.9	55.4	現状維持	*



第7 子育て世代の意向状況

第7 子育て世代の意向状況

1. 子育て世代の調査結果の傾向

本調査において、「第3 住みやすさ意識調査結果」では、養育中の子どもがいる世帯の中でも、義務教育課程より小さな子どもがいる世帯では、それ以外の世帯に比べて、岸和田市の住みやすさや居住継続意向の面で肯定的に感じる割合が低い傾向があります。また、「第5 重要度×満足度調査結果」では、子どもの保育や安全に関わる環境の整備や、子育て家庭の負担軽減などに関連する項目の重要度が高くなっています。合わせて、後述する「第8 自由意見」では、「妊娠を望む家庭や子育て家庭の不安解消、経済的負担の軽減を進める」、「登下校をはじめ、子どもが安全に学校や地域で過ごせる環境づくりを進める」といったテーマのご意見が多く挙げられています。

そこで、子育て世代の特徴をさらに詳しく調査するために、「年齢」属性別の集計について、年齢区分「15歳～49歳」の年齢層と「50歳以上」の年齢層で分けて調査結果を抽出し、比較分析します。（なお、本調査では、15歳～49歳を「子育て世代」と捉えます。）

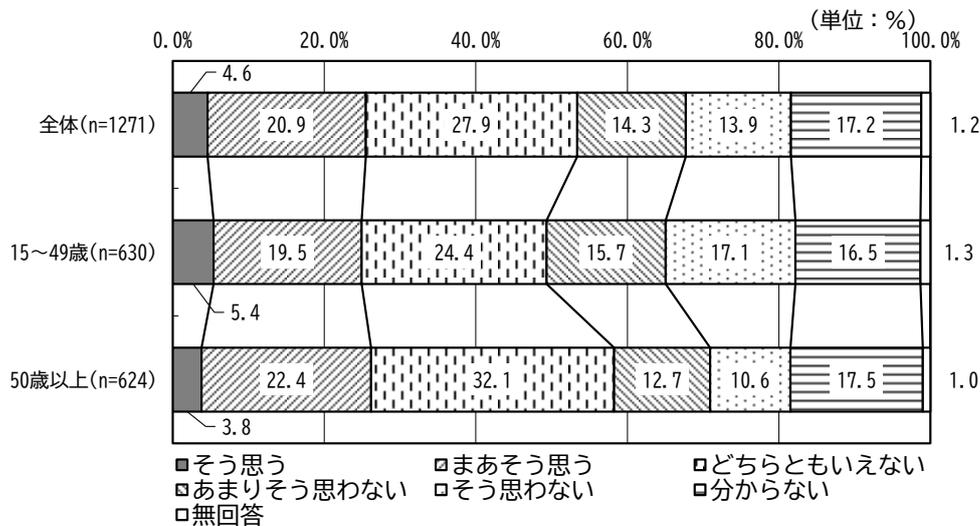
2. 調査結果からみる子育て世代の意向状況

(1) 「岸和田は、子どもを生み育てやすい」の調査結果

〔問 25-ウ〕の『岸和田は、子どもを生み育てやすい』の調査結果をみると、『思う』（「そう思う」「まあそう思う」の合計）は、「15～49歳（子育て世代）」が24.9%で、「50歳以上」の26.2%より1.3ポイント下回っています。

一方、『思わない』（「そう思わない」「あまりそう思わない」の合計）は、「15～49歳（子育て世代）」が32.8%で、「50歳以上」の23.3%より9.5ポイント上回っています。

■ 「岸和田は、子どもを生み育てやすい」の調査結果

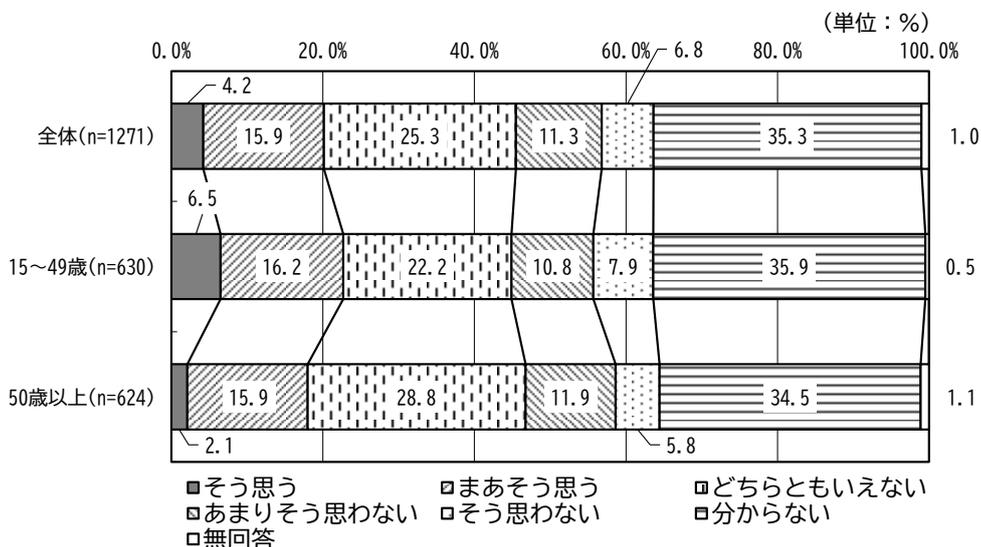


(2) 「子育てに関する不安を相談できる機会や場がある」の調査結果

〔問 25-タ〕の『子育てに関する不安を相談できる機会や場がある』の調査結果をみると、『思う』（「そう思う」「まあそう思う」の合計）は、「15～49歳（子育て世代）」が22.7%で、「50歳以上」の18.0%より4.7ポイント上回っています。

一方、『思わない』（「そう思わない」「あまりそう思わない」の合計）は、「15～49歳（子育て世代）」が18.7%で、「50歳以上」の17.7%より1.0ポイント上回っています。

■ 「子育てに関する不安を相談できる機会や場がある」の調査結果

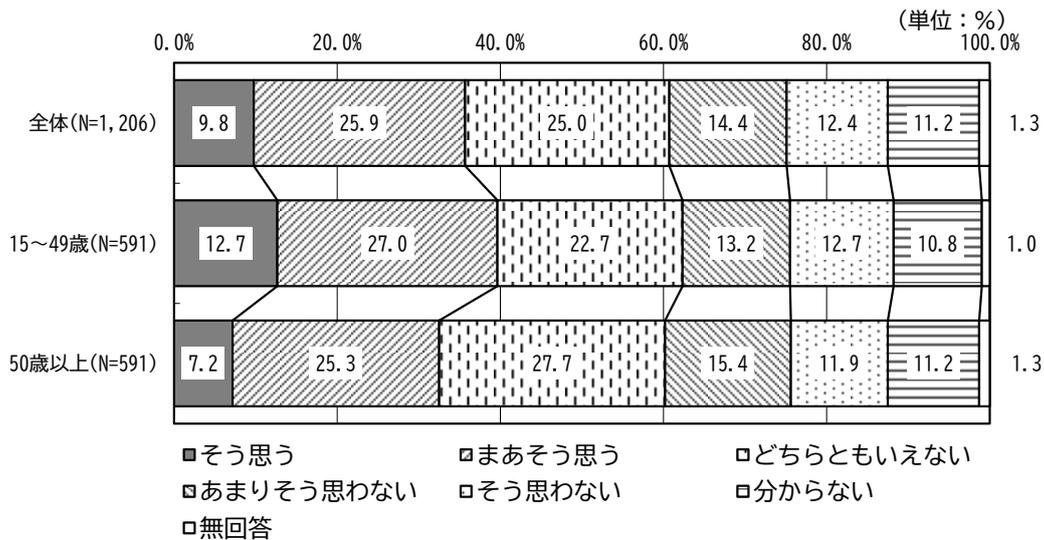


(3) 「困ったときに近くに相談できる人や場所がある」の調査結果

〔問 25-ヒ〕の『困ったときに近くに相談できる人や場所がある』の調査結果をみると、『思う』（「そう思う」「まあそう思う」の合計）は、「15～49歳（子育て世代）」が39.7%で、「50歳以上」の32.5%より7.2ポイント上回っています。

一方、『思わない』（「そう思わない」「あまりそう思わない」の合計）は、「15～49歳（子育て世代）」が25.9%で、「50歳以上」の27.3%より1.4ポイント下回っています。

■ 「困ったときに近くに相談できる人や場所がある」の調査結果

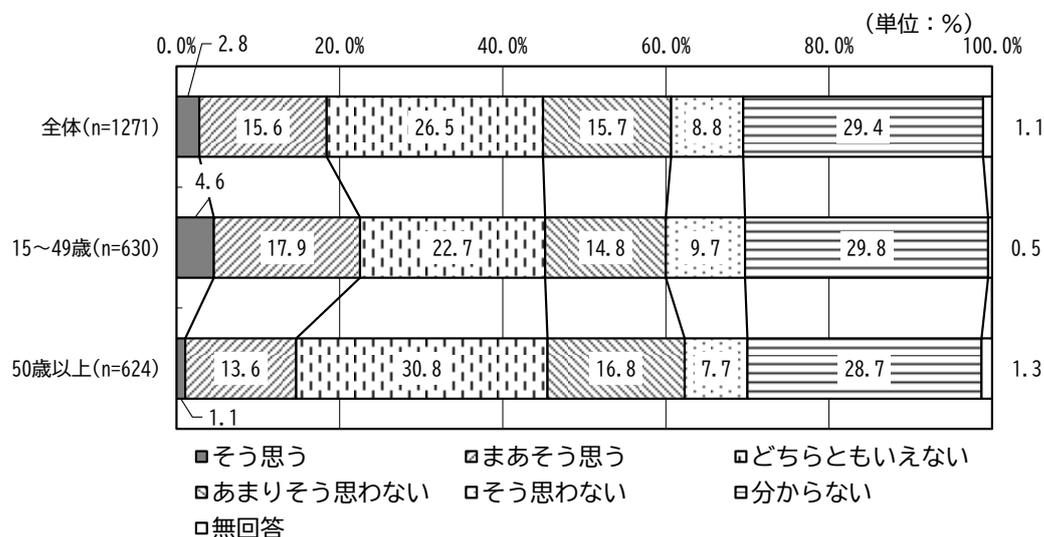


(4) 「働きながら子育てができる環境が整っている」の調査結果

〔問 25-チ〕の『働きながら子育てができる環境が整っている』の調査結果をみると、『思う』（「そう思う」「まあそう思う」の合計）は、「15～49歳（子育て世代）」が22.5%で、「50歳以上」の14.7%より7.8ポイント上回っています。

一方、『思わない』（「そう思わない」「あまりそう思わない」の合計）は、「15～49歳（子育て世代）」が24.5%で、「50歳以上」の24.5%と同じポイントとなっています。

■ 「働きながら子育てができる環境が整っている」の調査結果

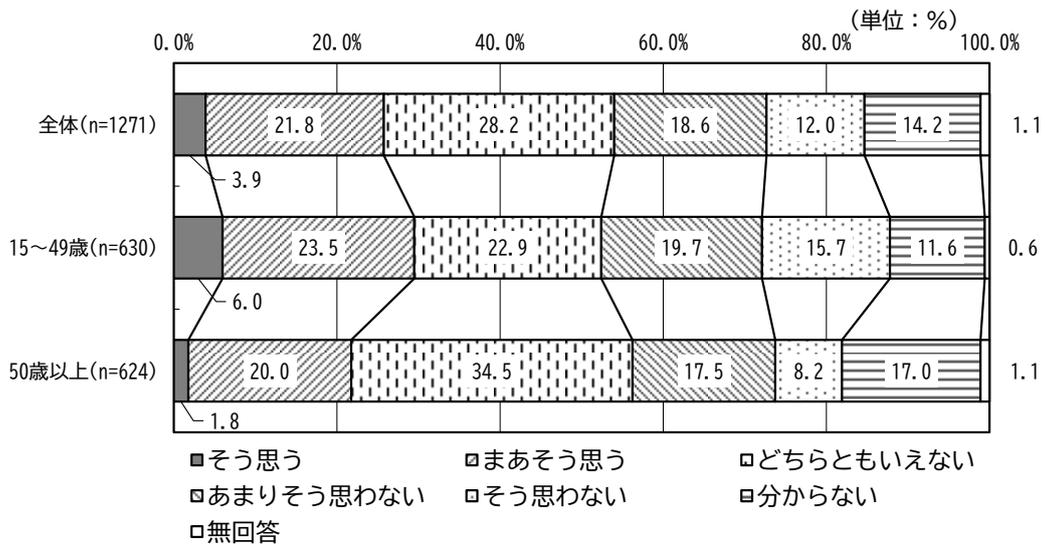


(5) 「子どもが安全に遊ぶことができる」の調査結果

〔問 25-ツ〕の『子どもが安全に遊ぶことができる』の調査結果をみると、『思う』（「思う」「まあ思う」の合計）は、「15～49歳（子育て世代）」が29.5%で、「50歳以上」の21.8%より7.7ポイント上回っています。

一方、『思わない』（「そう思わない」「あまりそう思わない」の合計）は、「15～49歳（子育て世代）」が35.4%で、「50歳以上」の25.7%より9.7ポイント上回っています。

■ 「子どもが安全に遊ぶことができる」の調査結果

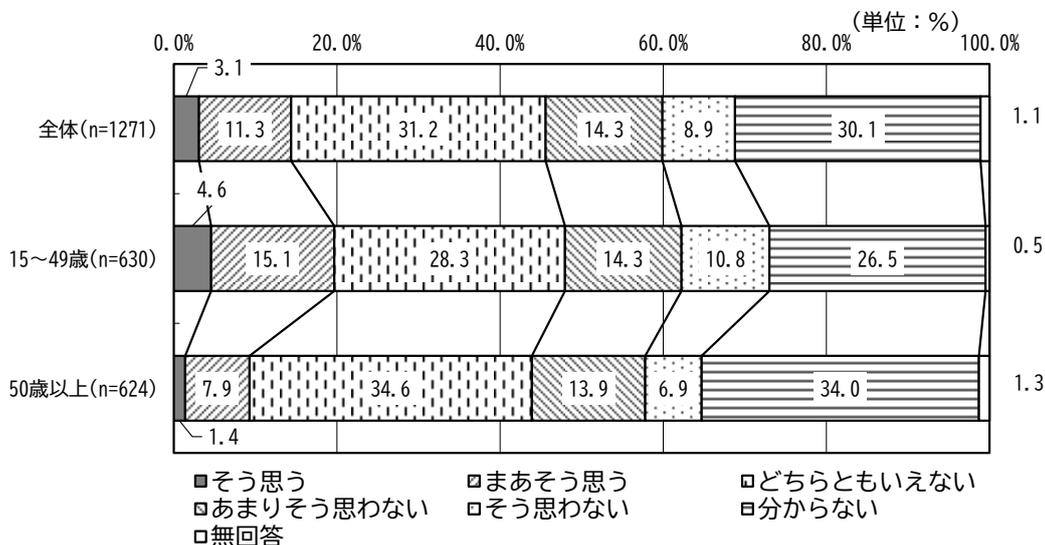


(6) 「子どもの個性や能力にあった教育が行われている」の調査結果

〔問 25-テ〕の『子どもの個性や能力にあった教育が行われている』の調査結果をみると、『思う』（「思う」「まあ思う」の合計）は、「15～49歳（子育て世代）」が19.7%で、「50歳以上」の9.3%より10.4ポイント上回っています。

一方、『思わない』（「そう思わない」「あまりそう思わない」の合計）は、「15～49歳（子育て世代）」が25.1%で、「50歳以上」の20.8%より4.3ポイント上回っています。

■ 「子どもの個性や能力にあった教育が行われている」の調査結果



(7) 「保育を必要とする人が、安心して子どもを預けられる環境づくりを進める」の調査結果

〔問 26〕の『保育を必要とする人が、安心して子どもを預けられる環境づくりを進める』について問 27 の調査結果をみると、『特に重要だと思う』は、「15～49 歳（子育て世代）」が 27.3%で、「50 歳以上」の 16.3%より 11.0 ポイント上回っています。

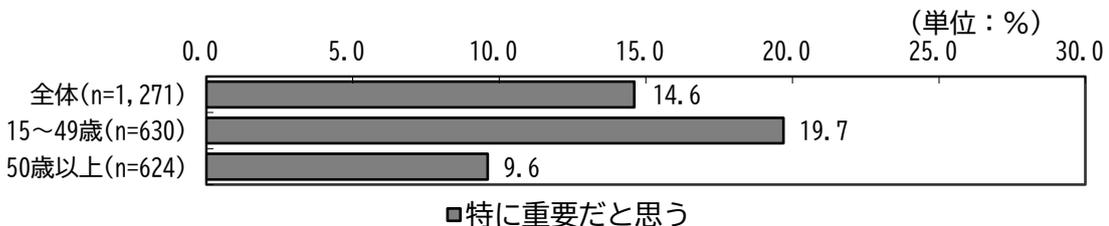
■ 「保育を必要とする人が、安心して子どもを預けられる環境づくりを進める」の調査結果



(8) 「登下校をはじめ、子どもが安全に学校や地域で過ごせる環境づくりを進める」の調査結果

〔問 26〕の『登下校をはじめ、子どもが安全に学校や地域で過ごせる環境づくりを進める』について問 27 の調査結果をみると、『特に重要だと思う』は、「15～49 歳（子育て世代）」が 19.7%で、「50 歳以上」の 9.6%より 10.1 ポイント上回っています。

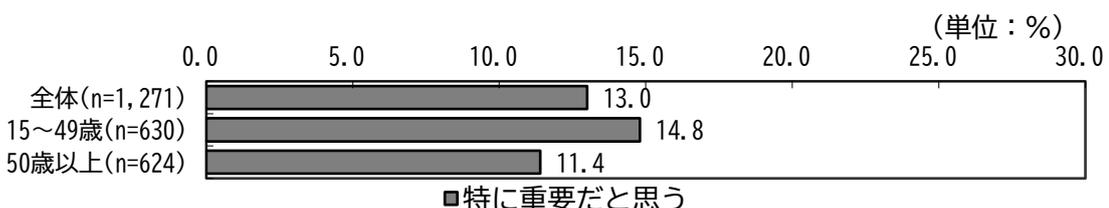
■ 「登下校をはじめ、子どもが安全に学校や地域で過ごせる環境づくりを進める」の調査結果



(9) 「子ども一人ひとりが輝くための適切な教育支援を行う」の調査結果

〔問 26〕の『子ども一人ひとりが輝くための適切な教育支援を行う』について問 27 の調査結果をみると、『特に重要だと思う』は、「15～49 歳（子育て世代）」が 14.8%で、「50 歳以上」の 11.4%より 3.4 ポイント上回っています。

■ 「子ども一人ひとりが輝くための適切な教育支援を行う」の調査結果



第8 自由意見

第8 自由意見

1. 総合計画「将来ビジョン・岸和田」の体系

アンケートで回収された自由意見について、総合計画「将来ビジョン・岸和田」の体系に基づき、第1期基本計画の「個別目標の方向性」ごとに分類・整理しました。

■総合計画「将来ビジョン・岸和田」の体系

基本目標	個別目標	番号	個別目標の方向性
岸和田の次世代を育むまち	安心して子どもを生み、育てられている	1	妊産婦や乳幼児の切れ目のない健康づくりを進める
		2	妊娠を望む家庭や子育て家庭の不安解消、経済的負担の軽減を進める
	働きながら子育てができている	3	保育を必要とする人が、安心して子どもを預けられる環境づくりを進める
		子どもの健康と安全が保たれている	4
	5		食育や体力づくりなど子どもの健康な身体づくりを進める
	6		登下校をはじめ、子どもが安全に学校や地域で過ごせる環境づくりを進める
	7		障害のある子どもの発達支援とともに、家庭生活での負担軽減を進める
	8		育てにくさを感じる親への支援や、児童虐待に関する相談の充実、早期発見・早期対応を進める
	子どもの個性や能力が豊かに育まれている	9	適正な就学・就園や経済的な支援により教育機会を確保する
		10	子ども一人ひとりが輝くための適切な教育支援を行う
		11	学校園の適切な維持管理や魅力ある運営を行う
		12	地域と連携し、子どもの社会的な心を育む
		13	地域の産業を担う人材育成を進める
	生涯にわたる能力づくりが進められ、活かされている	14	様々な学びの活動や知識、経験の活用を進めるとともに、コミュニティのつながりを創出する
		15	スポーツへの親しみや参画の向上を図るとともに、スポーツができる環境づくりを進める
		16	芸術や文化への親しみや参画の機会を通して、心の豊かさの醸成を図る
	誰もが社会参加し、活躍できる場がつけられている	17	働きたい人の就労機会の確保を進める
		18	市内事業所の労働環境の向上を進める
		19	障害者の就労支援の充実と生きがいづくりを進める
		20	高齢者の雇用促進と生きがいづくりを進める
	郷土の歴史や文化が引き継がれている	21	郷土の歴史や文化に触れる機会をつくる
		22	岸和田の歴史や文化財の保存・活用を進める

基本目標	個別目標	番号	個別目標の方向性	
健康で自分らしく生きられるまち	健康意識の向上とともに、介護予防が進められ、心身の健康が維持・増進している	23	健康意識の向上や重症化予防など疾病予防を進める	
	医療サービスを受ける環境が整うとともに、緊急時にも医療が受けられる状態になっている	24	医療体制の充実により、必要なときに必要な医療が受けられる環境づくりを進める	
	平和で、多様な価値観が尊重され、他者への理解が促進し、自分らしく生活できる環境が整っている	25	個々の人権や多様な価値観の尊重意識を広げるとともに、多文化に触れる機会を創出し、他者理解を促進する	
		26	男女共同参画の取組を進める	
		27	みんなが使いやすいデザインに配慮した施設環境をつくる	
		28	平和への意識向上を進める	
	地域で支えあい、助けあえる関係が築けている	29	常日頃から、地域の中でお互いに助け合える地域共生社会の関係づくりを進める	
	介護や医療保険、障害者支援の福祉サービスなど、誰もが必要な支援を受け安心できている	30	その人らしい自立した生活につながる介護サービスを提供する	
		31	医療保険制度を適切に運営する	
		32	高齢者が自分らしく生活できる環境づくりを進める	
		33	障害者が自分らしく生活できる環境づくりを進める	
		34	生活困窮者などに必要な支援を行う	
		35	住宅困窮者に居住支援を行う	
	安全で安心して暮らせるまち	事故や犯罪などに巻き込まれない生活を送れている	36	交通マナーの向上や交通事故を防ぐ環境づくりを進める
			37	空き家対策や建築物の安全性の確保を行うとともに、良好な住環境の創出を進める
38			防犯意識の向上とともに、犯罪防止につながる環境づくりを進める	
39			安心してサービスや物の購入などの消費行動が行える環境づくりを進める	
災害などの非常時への準備が進められ、強靱な環境になっている		40	災害被害を最小限にする強靱な基盤の整備を計画的に進める	
		41	発災時にみんなが迅速かつ柔軟に対応できる環境づくりを進める	
		42	火災予防や火災被害を最小限にする取組を進める	

基本目標	個別目標	番号	個別目標の方向性	
人と自然が共生した 住みよいまち	良好な生活環境とともに、まちが美しくなっている	43	環境汚染などによる健康被害の発生を防ぐ	
		44	安全安心な水を安定的に供給する	
		45	まちの美化を進める	
	人が緑と触れあっている	46	まちの緑の適正な保全とまちの緑化を進める	
		47	貴重な自然環境と生物多様性の保全・活用を進める	
	環境の負荷を減らした循環共生型の地域社会がつくられている	48	ごみの減量や資源の有効活用など3R+Rを進める	
		49	省エネルギー化や再生可能エネルギーによる脱炭素を推進し、地球温暖化防止を進める	
	にぎわいと活力を創造するまち	活発な経済活動が行われている	50	地域の事業者や個人事業主が活躍し、事業継続ができる環境づくりを進める
			51	新たに市内で活動する事業者や個人事業主が、活動しやすい環境づくりを進める
52			農業や水産業など、地域で安全な食が生産され、消費される環境づくりを進める	
観光資源が活かされている		53	関西国際空港とのアクセス性を活かすとともに、観光資源が充実し、観光客が過ごしやすい環境づくりを進める	
岸和田の魅力が伝わっている		54	岸和田の魅力を活用し、まちのイメージの向上を進める	
にぎわいや活力を支える基盤が整っている		55	地域の活性化を導く拠点の形成を進める	
		56	拠点とのアクセス性の向上を図る	
		57	適正な土地利用と景観形成を進める	
みんなで作る持続可能なまち	みんなが主役の協働・連携したまちづくりが行われている	58	地域の担い手が育ち、まちづくり活動が活発に行われている環境づくりを進める	
		59	当事者意識の醸成とともに、様々な主体が力を発揮し、協働・連携できる環境づくりを進める	
	持続可能で信頼される行政になっている	60	業務の効率的かつ効果的な推進に資する職員の育成を進める	
		61	適正で効率的かつ効果的な業務の実施を進める	
		62	行政手続きが便利になる環境づくりを進める	
		63	安定的な歳入確保と適切な歳出管理を進める	
		64	市独自の歳入確保を進める	

2. いただいた様々なご意見

(1) 自由意見の整理

いただいた様々なご意見は、総合計画「将来ビジョン・岸和田」の『個別目標の方向性』をテーマとして分類し、要旨及び意見数をとりまとめました。また、1つのご意見が複数のテーマにまたがる場合は、最も関係が深いと思われるテーマに割り振っています。

いただいたご意見をテーマ別にみると、「交通マナーの向上や交通事故を防ぐ環境づくりを進める」「適正で効率的かつ効果的な業務の実施を進める」、「拠点とのアクセス性の向上を図る」などのテーマに関するご意見が多くなっており、これらの分野での関心の高さがうかがえます。

■自由意見

番号	個別目標の方向性	自由意見の件数
1	妊産婦や乳幼児の切れ目のない健康づくりを進める	1
	オムツを毎日回収してもらえる環境を作してほしい	1
2	妊娠を望む家庭や子育て家庭の不安解消、経済的負担の軽減を進める	10
	子育て支援を充実させてほしい	8
	子育て世代が住みやすいまちにしてほしい	2
3	保育を必要とする人が、安心して子どもを預けられる環境づくりを進める	9
	待機児童の解消をしてほしい	3
	幼保の再編（こども園への移行）を適切に進めてほしい	2
	仕事と育児を両立できる環境をつくってほしい	1
	質の高い教育・保育環境を維持するために、職員の待遇も見直してほしい	1
	チビッコホームの利用料金、利用方法を検討してほしい	1
	保育料を見直してほしい	1
4	健診などによる疾病の早期発見・予防など子どもの健康づくりを進める	0
	なし	-
5	食育や体力づくりなど子どもの健康な身体づくりを進める	0
	なし	-
6	登下校をはじめ、子どもが安全に学校や地域で過ごせる環境づくりを進める	8
	安全に通学できる歩道を整備してほしい	3
	身近にボール遊びができる公園を整備してほしい	2
	安全に遊べるよう、公園を維持管理してほしい	1
	子どもが安全に学校や地域で過ごせる環境を整えてほしい	1
	子どもの見守りを続けてほしい	1
7	障害のある子どもの発達支援とともに、家庭生活での負担軽減を進める	1
	障害児への支援を充実させてほしい	1
8	育てにくさを感じる親への支援や、児童虐待に関する相談の充実、早期発見・早期対応を進める	3
	子育て世代の声にもっと耳を傾けてほしい	2
	子どもだけでなく、親の教育ができる環境づくりをしてほしい	1

番号	個別目標の方向性	自由意見の件数
9	適正な就学・就園や経済的な支援により教育機会を確保する	8
	市立幼稚園を減らさないでほしい	2
	高校・大学まで経済的支援を充実させてほしい	2
	学校統廃合は慎重に考えてほしい	2
10	子ども一人ひとりが輝くための適切な教育支援を行う	14
	学力向上対策を検討してほしい	4
	子どもの教育に力を入れてほしい	2
	子どもたちが社会のルールを守れるような教育をしてほしい	2
	学力以外の個性や才能も伸ばせる支援を充実させてほしい	1
	子育て世代が住み続けたいと思える教育環境を作してほしい	1
	小・中学生に、もっと将来の選択肢を広げられる指導をしてほしい	1
	小中一貫教育の取組についてもっと市民の声を聞いてほしい	1
	少人数学級の実現に向けた取組を進めてほしい	1
中学校の部活動を活発にさせてほしい	1	
11	学校園の適切な維持管理や魅力ある運営を行う	5
	学校の設備を充実させてほしい	1
	学校の適正配置を早く進めてほしい	1
	教職員の人権意識および指導力向上に向けた取組を強化してほしい	1
	校内の駐車スペースの舗装をしてほしい	1
小・中学校の校舎が古すぎる	1	
12	地域と連携し、子どもの社会的な心を育む	1
	未成年者の飲酒、喫煙を取り締まってほしい	1
13	地域の産業を担う人材育成を進める	0
	なし	-
14	様々な学びの活動や知識、経験の活用を進めるとともに、それによるコミュニティのつながりを創出する	3
	公民館でスポーツ活動が活用できるようにしてほしい	1
	公民館の貸館の運用を見直してほしい	1
	図書や市民体育館をもっと活用できるようにしてほしい	1
15	スポーツへの親しみや参画の向上を図るとともに、スポーツができる環境づくりを進める	5
	空き地を公園や運動場にしてほしい	1
	人工芝のグラウンドを整備してほしい	1
	地域のプールを新しくしてほしい	1
	マリンスポーツができる施設を整備してほしい	1
市民が安価で運動できる場所がほしい	1	

番号	個別目標の方向性	自由意見の件数
16	芸術や文化への親しみや参画の機会を通して、心の豊かさの醸成を図る	0
	なし	-
17	働きたい人の就労機会の確保を進める	0
	なし	-
18	市内事業所の労働環境の向上を進める	0
	なし	-
19	障害者の就労支援の充実と生きがいづくりを進める	2
	就業面で障害者支援の充実を図ってほしい	2
20	高齢者の雇用促進と生きがいづくりを進める	0
	なし	-
21	郷土の歴史や文化に触れる機会をつくる	1
	学校教育においてだんじり祭の歴史や文化をきちんと伝えてほしい	1
22	岸和田の歴史や文化財の保存・活用を進める	1
	歴史的・文化的に価値のある施設は包括的に整備してほしい	1
23	健康意識の向上や重症化予防など疾病予防を進める	1
	必要性の高いワクチン接種には補助金を出してほしい	1
24	医療体制の充実により、必要なときに必要な医療が受けられる環境づくりを進める	1
	医療体制や福祉サービスを改善してほしい	1
25	個々の人権や多様な価値観の尊重意識を広げるとともに、多文化に触れる機会を創出し、他者理解を促進する	0
	なし	-
26	男女共同参画の取組を進める	0
	なし	-
27	みんなが使いやすいデザインに配慮した施設環境をつくる	0
	なし	-
28	平和への意識向上を進める	1
	平和への意識を岸和田市から変えていってほしい	1
29	常日頃から、地域の中でお互いに助けあえる地域共生社会の関係づくりを進める	2
	災害時に助け合えるシステムを作してほしい	1
	各個人の事情も考慮したコミュニティづくりを支援してほしい	1
30	その人らしい自立した生活につながる介護サービスを提供する	1
	介護サービスを充実させてほしい	1
31	医療保険制度を適切に運営する	5
	国民健康保険料の負担を軽減してほしい	2
	高齢者に対する独自の医療補助制度を考えてほしい	2
	後期高齢者の医療負担を軽減してほしい	1

番号	個別目標の方向性	自由意見の 件数
32	高齢者が自分らしく生活できる環境づくりを進める	4
	老後の不安を解消できる対策を取ってほしい	2
	高齢者の支援を充実させてほしい	1
	子どもだけでなく、高齢者の支援も充実させてほしい	1
33	障害者が自分らしく生活できる環境づくりを進める	3
	災害時、自宅から動けない場合の支援を考えてほしい	1
	障害者が住みやすい環境づくりを継続してほしい	1
	障害者のコミュニティや就労機会に関する情報を発信してほしい	1
34	生活困窮者などに必要な支援を行う	9
	生活困窮者への支援を適正に執行してほしい	7
	低所得者への支援を充実させてほしい	1
	物価高騰に対し、生活支援対策を実施してほしい	1
35	住宅困窮者に居住支援を行う	0
	なし	-
36	交通マナーの向上や交通事故を防ぐ環境づくりを進める	28
	安全に通行できる設備を整備してほしい	7
	道路を適切に維持管理してほしい	6
	歩道の整備をしてほしい	6
	街灯を設置してほしい	5
	横断歩道を作ってほしい	2
	市民の交通ルールを守る意識を向上させてほしい	1
	標識やカーブミラーを設置してほしい	1
37	空き家対策や建築物の安全性の確保を行うとともに、良好な住環境の創出を進める	4
	空き家の売却や有効活用を進めてほしい	3
	倒壊しそうな空き家は解体・整備してほしい	1
38	防犯意識の向上とともに、犯罪防止につながる環境づくりを進める	1
	市内各所に防犯カメラを設置してほしい	1
39	安心してサービスや物の購入などの消費行動が行える環境づくりを進める	0
	なし	-
40	災害被害を最小限にする強靱な基盤の整備を計画的に進める	3
	災害に強い庁舎建替などの具体策を早急に進めてほしい	2
	防災対策を強化してほしい	1

番号	個別目標の方向性	自由意見の件数
41	発災時にみんなが迅速かつ柔軟に対応できる環境づくりを進める	3
	市民の災害対応力を高めてほしい	2
	市庁舎の建設地は災害に強い場所を選んでほしい	1
42	火災予防や火災被害を最小限にする取組を進める	0
	なし	-
43	環境汚染などによる健康被害の発生を防ぐ	5
	生活環境上の騒音対策を強化してほしい	3
	生活環境上の異臭対策を強化してほしい	1
	騒音を引き起こしているバイクの取り締まりを強化してほしい	1
44	安全安心な水を安定的に供給する	6
	水道料金の負担を軽減してほしい	4
	水道事業を民営化しないでほしい	1
	水道の水質をより改善してほしい	1
45	まちの美化を進める	15
	公園の植木の剪定をしてほしい	2
	ゴミをポイ捨てしないように警備してほしい	2
	歩道の草刈りをしてほしい	2
	公園の維持管理を充実させてほしい	1
	公園のトイレを綺麗にしてほしい	1
	水路を定期的に清掃してほしい	1
	タバコのポイ捨てをしないような環境を整備してほしい	1
	地域猫への対応を充実させてほしい	1
	中央公園での猫への餌やりをやめてもらう対策を講じてほしい	1
	春木川に散乱しているゴミを除去し、景観を維持してほしい	1
	まちを綺麗にしてほしい	1
	落書きやポイ捨てのないまちになってほしい	1
46	まちの緑の適正な保全とまちの緑化を進める	3
	川を綺麗にしてほしい	2
	地域緑化の充実と、里山などの保全を行ってほしい	1
47	貴重な自然環境と生物多様性の保全・活用を進める	0
	なし	-

番号	個別目標の方向性	自由意見の件数
48	ごみの減量や資源の有効活用など3R+Rを進める	15
	有料ごみ袋を安くしてほしい	6
	ごみ回収方法の見直しを行ってほしい	4
	エネルギー資源を大事に活用する施設を考えてほしい	1
	ごみ袋の強度を上げてほしい	1
	ごみ袋を無償化してほしい	1
	粗大ごみの収集を休日にも行ってほしい	1
	粗大ごみの定期収集をしてほしい	1
49	省エネルギー化や再生可能エネルギーによる脱炭素を推進し、地球温暖化防止を進める	0
	なし	-
50	地域の事業者や個人事業主が活躍し、事業継続ができる環境づくりを進める	0
	なし	-
51	新たに市内で活動する事業者や個人事業主が、活動しやすい環境づくりを進める	6
	企業やホテル、大学等を誘致してまちを活性化してほしい	3
	新たに農業を始めるための農地情報を提供してほしい。	2
	もっと企業を誘致してほしい	1
52	農業や水産業など、地域で安全な食が生産され、消費される環境づくりを進める	2
	産業誘致や産業活性化の政策を進めてほしい	2
53	関西国際空港とのアクセス性を活かすとともに、観光資源が充実し、観光客が過ごしやすい環境づくりを進める	6
	イベントなどを行い、観光客の誘致をしてほしい	1
	観光施設を充実させてほしい	1
	岸和田城にエレベーターを設置してほしい	1
	資源をもっと活かして、観光誘致してほしい	1
	だんじり祭を活かした観光振興を進めてほしい	1
	歴史深い色々なことを発信して、関西空港からの観光客を誘客してほしい	1
54	岸和田の魅力を活用し、まちのイメージの向上を進める	26
	だんじり祭だけに頼らない魅力ある市になってほしい	14
	岸和田市のイメージを良くしてほしい	3
	お城や食文化など歴史深い色々な事をもっと発信して地域の活性化にも力を入れてほしい	2
	市外の方から、悪いイメージを持たれないような方策をしてほしい	2
	岸和田市は素晴らしいまちだということを、もっと発信してほしい	1
	だんじり祭を大切に継承してほしい	1
	だんじり祭を活かした活動をしてほしい	1
	転入を考えている方に向けて、目的や年齢ごとに魅力的な情報を発信してほしい	1
	古き良き伝統を残しながらも、新たな取組を行ってほしい	1

番号	個別目標の方向性	自由意見の件数
55	地域の活性化を導く拠点の形成を進める	26
	南海駅周辺の活性化を行ってほしい	10
	駅前での活性化を行ってほしい	4
	商店街を活性化させてほしい	3
	南海駅周辺の整備をしてほしい	2
	現存する商業施設周辺を活性化させてほしい	2
	拠点の周りに商業施設を増やしてほしい	2
	拠点に大型商業施設や企業を誘致してほしい	1
	海側のまちの開発を進めてほしい	1
	東岸和田駅周辺が整備されて便利になった	1
56	拠点とのアクセス性の向上を図る	27
	公共交通機関の充実を図ってほしい	9
	バスの本数を増やしてほしい	5
	ローズバスの運賃、運行ルートを見直してほしい	4
	免許を返納しても生活できるようにしてほしい	3
	駅までの道路を整備してほしい	1
	公共施設や道路の整備をしてほしい	1
	乗合いバスやタクシーチケットなど、新たな移動手段を提供してほしい	1
	踏切を高架化してほしい	1
	山直東交通広場を有効活用してほしい	1
ローズバスの便数増加や土日運行をしてほしい	1	
57	適正な土地利用と景観形成を進める	0
	なし	-
58	地域の担い手が育ち、まちづくり活動が活発に行われている環境づくりを進める	12
	市と自治会が連携して負担を軽減してほしい	2
	町会に加入するメリットを発信してほしい	2
	自治会に全員が入るよう啓発してほしい	1
	自治会の主体性を高めてほしい	1
	だんじり祭での団結力を地域のために活かしてほしい	1
	町会が充実している	1
	町会に加入している人と加入していない人との公平性を保ってほしい	1
	町会の活動内容を分かりやすく発信してほしい	1
	町会費の用途を明確にしてほしい	1
町会費を安くしてほしい	1	

番号	個別目標の方向性	自由意見の件数
59	当事者意識の醸成とともに、様々な主体が力を発揮し、協働・連携できる環境づくりを進める	14
	市民が行政サービスを理解できるように情報発信をしてほしい	3
	岸和田の何が良くて、何が悪いのか調査して発展につなげてほしい	2
	SNSなどで行政情報や町内情報を幅広く発信してほしい	1
	身体が不自由でも地域活動に関わりを持てたら良い	1
	市議会にも引き続き適正に役割をはたしてほしい	1
	住民と行政で、共に考える機会を増やしてほしい	1
	住民の近くに相談できる場所や逃げられる場所がほしい	1
	だんじり祭になじみのない人にも住みやすい環境を提供してほしい	1
	独身の人も住みやすいまちにしてほしい	1
	ボランティアの募集情報を発信してほしい	1
	岸和田のいいところを市民自身をもっと知るように、外向きにも内向きにもPRしてほしい	1
60	業務の効率的かつ効果的な推進に資する職員の育成を進める	6
	手続きに関して丁寧に案内してもらっている	3
	職員の意識向上を図ってほしい	2
	地域の人が満足するような仕事をしてほしい	1
61	適正で効率的かつ効果的な業務の実施を進める	29
	市民全員に納得のいく税金の使い方をしてほしい	7
	行政活動が見えるような情報発信を行ってほしい	7
	独自の政策を提示してほしい	5
	市民サービスを偏りなく公平に行ってほしい	4
	行政サービスの充実を図ってほしい	3
	市議会議員の定数を見直してほしい	2
	幅広い年代の意見を聞いて市政に生かしてほしい	1
62	行政手続きが便利になる環境づくりを進める	27
	市庁舎の建て替えを早急に進めてほしい	13
	行政手続きのオンライン化を進めてほしい	3
	市役所の待ち時間を軽減してほしい	2
	欲しい情報がすぐわかるホームページにしてほしい	2
	市庁舎の建設地を検討してほしい	1
	市役所以外にも全般的な手続きができる施設がほしい	1
	情報のシステム化を進めてほしい	1
	申請書等においての性別表記を配慮してほしい	1
	月に一度だけでも休日に行行政手続きができるようにしてほしい	1
	妊産婦のサポート、手続き等が保健センターに集中しないようにしてほしい	1
	障害者の手続きがワンストップでできるようにしてほしい	1

番号	個別目標の方向性	自由意見の件数
63	安定的な歳入確保と適切な歳出管理を進める	18
	住民税を安くしてほしい	5
	税金の負担を減らしてほしい	4
	市民全員に納得のいく税金の使い方をしてほしい	2
	物価は高くなり、公共料金は上がり、出費だけが多くなる現状を何とかしてほしい	2
	補助金やサービスについて地域格差をなくしてほしい	2
	公共料金の負担を軽減してほしい	1
	市民税を安くしてほしい	1
	助成金の充実を図ってほしい	1
64	市独自の歳入確保を進める	0
	なし	-
65	その他	54
	市民意識調査の質問数、質問方法、実施方法など検討してほしい	8
	クーポン配布などの市独自支援を行ってほしい	6
	岸和田花火大会を再開してほしい	3
	他市町村の良い政策を見習ってほしい	3
	再生可能エネルギーだけに傾倒せず、ソーラーパネル等の処分方法まで考えてほしい	2
	町会イベントの開催時間を守ってほしい	2
	岸和田が良くなるように真剣に取り組んでほしい	1
	岸和田市市民道場新技館を閉館しないでほしかった	1
	岸和田に愛着が持てるように様々なイベントに参加したい	1
	休日は市外に出ることが多いが、日々の生活に満足している	1
	給付金などの支援を行ってほしい	1
	結婚しやすい環境づくりを強化してほしい	1
	国道の車両の流れを改善してほしい	1
	子どもがおらず、岸和田に住んで長くないため、小学校区は把握していない	1
	市民意識調査の結果を分かりやすく公表してほしい	1
	だんじり祭が好きな人もいれば、嫌いな人もいる	1
	中央公園にドッグラン施設をつくってほしい	1
	通学校区を選択性にしてほしい	1
	バイク盗難届提出後の調査報告などが無い	1
	もっと市民へ還元してほしい	1
	ユナイテッドシネマ岸和田の座席を良いものにしてほしい	1
	若者に対する支援も充実させてほしい	1

卷末資料

1. その他集計結果

問4 スポーツや運動（ウォーキング（散歩）や体操などを含む。）を定期的（週1回以上）にしていますか？

	回答数	構成比
している	576	45.3
していない	692	54.4
無回答	3	0.2
合計	1,271	100.0

問5 この1年間に芸術・文化活動（コンサートや演劇などの鑑賞を含む。）を行ったことがありますか？

	回答数	構成比
ある	466	36.7
ない	802	63.1
無回答	3	0.2
合計	1,271	100.0

問6 この1年間に郷土の歴史や文化財に触れる機会がありましたか？

	回答数	構成比
ある	390	30.7
ない	875	68.8
無回答	6	0.5
合計	1,271	100.0

問7 この1年間に自分の経験や特技を何らかのたちで地域に活かしたことがありますか？

	回答数	構成比
ある	172	13.5
ない	1092	85.9
無回答	7	0.6
合計	1,271	100.0

問8 この1年間にボランティア活動や地域の自治活動に参加したことがありますか？

	回答数	構成比
ある	289	22.7
ない	978	76.9
無回答	4	0.3
合計	1,271	100.0

問9 町会・自治会の活動を知っていますか？

	回答数	構成比
知っている	778	61.2
知らない	490	38.6
無回答	3	0.2
合計	1,271	100.0

問10 この1年間にゴミ拾いや美化活動を行ったことはありますか？

	回答数	構成比
ある	393	30.9
ない	875	68.8
無回答	3	0.2
合計	1,271	100.0

問11 ごみの減量化やリサイクルに取り組んでいますか？

	回答数	構成比
いる	943	74.2
いない	325	25.6
無回答	3	0.2
合計	1,271	100.0

問12 省エネルギーの取組や再生可能エネルギー（太陽光発電など）の活用を行っていますか？

	回答数	構成比
行っている	311	24.5
行っていない	958	75.4
無回答	2	0.2
合計	1,271	100.0

問13 かかりつけ医をもっていますか？

	回答数	構成比
もっている	880	69.2
もっていない	388	30.5
無回答	3	0.2
合計	1,271	100.0

問14 この1年間に健康診断などを受けましたか？

	回答数	構成比
受けた	979	77.0
受けていない	287	22.6
無回答	5	0.4
合計	1,271	100.0

問15 地元の商店や商店街で頻繁（週に1回）に買い物をする場合はありますか？

	回答数	構成比
する	547	43.0
しない	718	56.5
無回答	6	0.5
合計	1,271	100.0

※構成比の単位は、%とする。

問16 地元産の食品を優先して買いますか？

	回答数	構成比
買う	447	35.2
買わない	817	64.3
無回答	7	0.6
合計	1,271	100.0

問17 自由に使える余暇時間を確保できていますか？

	回答数	構成比
できている	953	75.0
できていない	311	24.5
無回答	7	0.6
合計	1,271	100.0

問18 災害の際の非常持出し品や食糧などを準備していますか？

	回答数	構成比
している	535	42.1
していない	726	57.1
無回答	10	0.8
合計	1,271	100.0

問19 災害の際の緊急避難場所がどこか知っていますか？

	回答数	構成比
知っている	976	76.8
知らない	290	22.8
無回答	5	0.4
合計	1,271	100.0

問20 この1年間に何らかの消費者トラブルにあったことがありますか？

	回答数	構成比
ある	68	5.4
ない	1197	94.2
無回答	6	0.5
合計	1,271	100.0

問21 騒音や大気汚染などの公害に悩まされていますか？

	回答数	構成比
いる	205	16.1
いない	1058	83.2
無回答	8	0.6
合計	1,271	100.0

問22 規則正しい食生活を心がけていますか？

	回答数	構成比
いる	1012	79.6
いない	254	20.0
無回答	5	0.4
合計	1,271	100.0

問23 地区市民協議会(※)の活動を知っていますか？

	回答数	構成比
知っている	303	23.8
知らない	962	75.7
無回答	6	0.5
合計	1,271	100.0

問24 この1年間にスマートフォンなどデジタル技術を活用して行政手続き（サービス等の利用を含む）を行ったことがありますか？

	回答数	構成比
ある	471	37.1
ない	795	62.5
無回答	5	0.4
合計	1,271	100.0

※地区市民協議会とは、小学校区毎に組織されているコミュニティ組織で、自らの地域社会をみんなの力で住みよくしていくことを目的に活動しているもの

問 25-1 あなたは、次の各記述をどう思いますか？

項目ごとにあてはまる番号を1つずつ選んで○をつけてください。

	ア		イ		ウ		エ		オ	
	回答数	構成比	回答数	構成比	回答数	構成比	回答数	構成比	回答数	構成比
	生きがいを感じる ことがある		仕事と生活の調和 (ライフ・ワーク・バランス)が 取れている		岸和田は、子ども を生み育てやすい		安全な水が安定し て供給されている		農業や漁業に魅力 がある	
そう思う	221	17.4	153	12.0	58	4.6	410	32.3	142	11.2
まあそう思う	499	39.3	518	40.8	266	20.9	570	44.8	388	30.5
どちらともいえない	354	27.9	271	21.3	355	27.9	166	13.1	395	31.1
あまりそう思わない	105	8.3	153	12.0	182	14.3	40	3.1	150	11.8
そう思わない	64	5.0	111	8.7	177	13.9	19	1.5	87	6.8
分からない	21	1.7	57	4.5	218	17.2	58	4.6	98	7.7
無回答	7	0.6	8	0.6	15	1.2	8	0.6	11	0.9
合計	1,271	100.0	1,271	100.0	1,271	100.0	1,271	100.0	1,271	100.0

	カ		キ		ク		ケ		コ	
	回答数	構成比	回答数	構成比	回答数	構成比	回答数	構成比	回答数	構成比
	岸和田が多く の観光客でにぎわ い、観光の振興が 十分である		商工業に活気があ る		働く意欲のある人 に働ける場所が確 保されている		労働環境に満足し ている		岸和田の歴史や伝 統がしっかりと引 き継がれている	
そう思う	64	5.0	21	1.7	30	2.4	61	4.8	198	15.6
まあそう思う	190	14.9	111	8.7	137	10.8	249	19.6	543	42.7
どちらともいえない	383	30.1	403	31.7	446	35.1	393	30.9	251	19.7
あまりそう思わない	301	23.7	334	26.3	268	21.1	217	17.1	109	8.6
そう思わない	245	19.3	235	18.5	169	13.3	164	12.9	45	3.5
分からない	81	6.4	156	12.3	213	16.8	174	13.7	112	8.8
無回答	7	0.6	11	0.9	8	0.6	13	1.0	13	1.0
合計	1,271	100.0	1,271	100.0	1,271	100.0	1,271	100.0	1,271	100.0

	サ		シ		ス		セ		ソ	
	回答数	構成比	回答数	構成比	回答数	構成比	回答数	構成比	回答数	構成比
	海や川の水がきれい である		平和は大切である		人権問題は差別を 受けている人の問 題であって自分と は関係がない		男女がそれぞれの 能力を十分に発揮 しあい、あらゆる 場面で協力し合っ ている		市役所から発信さ れた情報(広報き しわだ、ホーム ページなど)が分 かりやすい	
そう思う	41	3.2	1036	81.5	22	1.7	65	5.1	82	6.5
まあそう思う	208	16.4	189	14.9	48	3.8	251	19.7	381	30.0
どちらともいえない	405	31.9	23	1.8	238	18.7	485	38.2	373	29.3
あまりそう思わない	320	25.2	5	0.4	240	18.9	195	15.3	143	11.3
そう思わない	206	16.2	2	0.2	662	52.1	107	8.4	92	7.2
分からない	81	6.4	7	0.6	54	4.2	162	12.7	192	15.1
無回答	10	0.8	9	0.7	7	0.6	6	0.5	8	0.6
合計	1,271	100.0	1,271	100.0	1,271	100.0	1,271	100.0	1,271	100.0

問 25-2 続いて、住んでいる地域（小学校区）について、どう思いますか？

項目ごとにあてはまる番号を1つずつ選んで○をつけてください。

	タ		チ		ツ		テ		ト	
	回答数	構成比	回答数	構成比	回答数	構成比	回答数	構成比	回答数	構成比
子育てに関する不安を相談できる機会や場がある			働きながら子育てができる環境が整っている		子どもが安全に遊ぶことができる		子どもの個性や能力にあった教育が行われている		安心して歩道を通行することができる	
そう思う	54	4.2	36	2.8	50	3.9	39	3.1	56	4.4
まあそう思う	202	15.9	198	15.6	277	21.8	144	11.3	238	18.7
どちらともいえない	322	25.3	337	26.5	359	28.2	396	31.2	296	23.3
あまりそう思わない	144	11.3	200	15.7	237	18.6	182	14.3	316	24.9
そう思わない	87	6.8	112	8.8	153	12.0	113	8.9	308	24.2
分からない	449	35.3	374	29.4	181	14.2	383	30.1	45	3.5
無回答	13	1.0	14	1.1	14	1.1	14	1.1	12	0.9
合計	1,271	100.0	1,271	100.0	1,271	100.0	1,271	100.0	1,271	100.0

	ナ		ニ		ヌ		ネ		ノ	
	回答数	構成比	回答数	構成比	回答数	構成比	回答数	構成比	回答数	構成比
ユニバーサルデザイン※1化が進んでいる			鉄道駅周辺の市街地に活気がある		拠点※2ににぎわいがある		景観がよく保全されている		市内をスムーズに移動できる	
そう思う	27	2.1	41	3.2	40	3.1	38	3.0	73	5.7
まあそう思う	91	7.2	176	13.8	158	12.4	275	21.6	409	32.2
どちらともいえない	374	29.4	287	22.6	350	27.5	419	33.0	321	25.3
あまりそう思わない	276	21.7	363	28.6	316	24.9	269	21.2	218	17.2
そう思わない	211	16.6	325	25.6	240	18.9	145	11.4	188	14.8
分からない	277	21.8	61	4.8	154	12.1	109	8.6	50	3.9
無回答	15	1.2	18	1.4	13	1.0	16	1.3	12	0.9
合計	1,271	100.0	1,271	100.0	1,271	100.0	1,271	100.0	1,271	100.0

	ハ		ヒ		フ		ヘ	
	回答数	構成比	回答数	構成比	回答数	構成比	回答数	構成比
高齢者が安心して生活できている			困ったときに近くに相談できる人や場所がある		住民が交流する機会が多い		行政の手続きが便利になった	
そう思う	59	4.6	125	9.8	53	4.2	44	3.5
まあそう思う	255	20.1	329	25.9	237	18.6	235	18.5
どちらともいえない	361	28.4	318	25.0	367	28.9	407	32.0
あまりそう思わない	206	16.2	183	14.4	240	18.9	204	16.1
そう思わない	170	13.4	157	12.4	195	15.3	153	12.0
分からない	210	16.5	142	11.2	168	13.2	219	17.2
無回答	10	0.8	17	1.3	11	0.9	9	0.7
合計	1,271	100.0	1,271	100.0	1,271	100.0	1,271	100.0

※1：ユニバーサルデザインとは、すべての人が使いやすいように製品・建物・環境などをデザインすること

※2：拠点とは、臨海部の工業・流通地域、各鉄道駅周辺（岸和田駅周辺には岸和田城や港緑町を含む）、ゆめみが丘岸和田、山直東交通広場周辺をいう。

令和6年度 岸和田市市民意識調査

～あなたの意見をお聞かせください～

ご協力をお願い

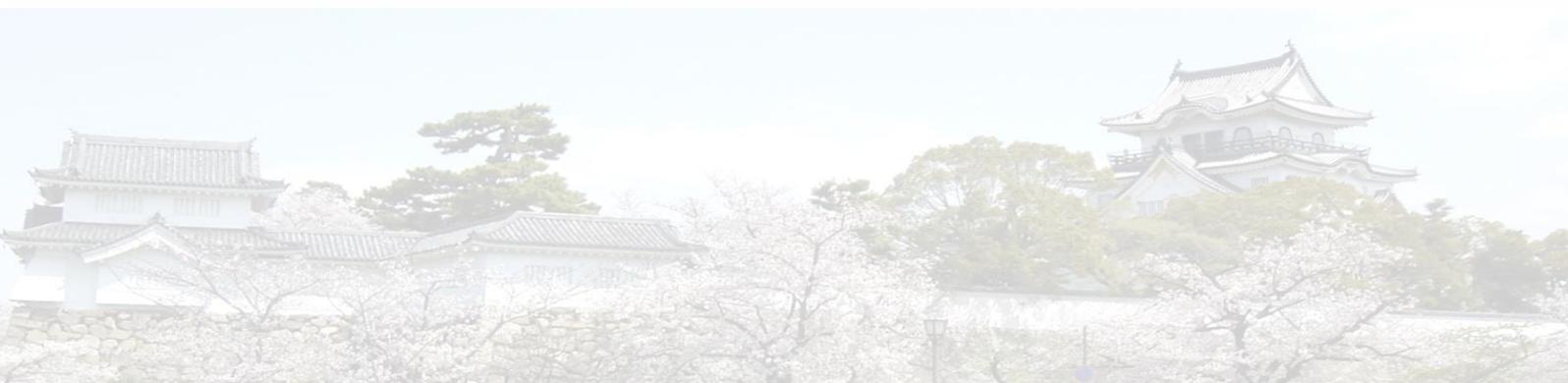
岸和田市では、市民の皆様からご意見をお聞きし、今後の市政運営に役立てるため、「岸和田市市民意識調査」を実施しています。

この調査は、市民の皆様の意識や活動の状況、市の取組に対する重要度についてご意見をお聞きするものです。「市民の皆様の現状はどうなっているか?」「今後、力を入れる必要がある施策は何か?」を確認しながら、今後の市政運営を進めていきたいと考えています。

今回の調査は、無作為に抽出した岸和田市にお住まいの15歳以上の約4,000の方に、無記名でのご回答をお願いしています。個人の秘密がもれたり、施策の検討以外に使われたりするなどのご迷惑をおかけすることは一切ありません。お手数をおかけし恐縮ですが、ご協力くださいますようお願いいたします。

なお、集計結果は市のホームページなどで公表する予定です。

※回答方法・回答期限については、裏面をご覧ください。



回答方法・回答期限

①郵送 または ②WEB のいずれかでアンケートにご回答いただきます。
いずれも質問内容は同じです。どちらか1つの方法でお答えください。

【①郵送で回答するときの注意事項】

1. ご回答は、お送りした宛名のご本人がお答えください。（お名前の記入は不要です。）
2. ご回答は、黒のボールペン、鉛筆、サインペンなどで、設問ごとの指示により、番号に○印を付けるか、回答欄に直接文字や数字をご記入ください。設問により回答方法が異なりますので、お間違えのないようご注意ください。
3. 目が不自由などの理由で筆記が困難な場合や、ご質問がございましたら、お手数をおかけしますが、下記までご連絡ください。
4. ご記入いただいた回答票は、同封の返信用封筒に入れて、切手を貼らずに期限までに郵便ポストにご投函ください。住所・氏名は記入不要です。

【②WEB で回答するときの注意事項】

1. 封筒の宛名のご本人がお答えください。
2. 下記の URL を入力するか、右記の QR コードを読み取ってアクセスしてください。

<https://logoform.jp/form/heaL/520512>

3. 以下の WEB アンケート回答用番号をご入力ください。

XXXXXXXXXX (ランダム数字9桁)

※「回答用番号」は、1人の方が複数回答することを避けるためのものです。個人を特定するためのものではありません。

4. 表示にしたがって回答を進めてください。（所要時間は概ね 10 分です。）
5. 回答の途中でページから離れると、回答が無効になりますのでご注意ください。
（一時保存機能はご利用いただけます。）



【回答期限】 **令和6年6月7日（金）** ※郵送、WEB どちらも同じです。

※回答期限を設けておりますが、ご案内が届き次第、ご回答いただけますと幸いです。

お問い合わせ先

岸和田市 総合政策部 企画課 政策担当
〒596-8510 岸和田市岸城町7番1号
電話 072-423-9492 (直通)
メール kikaku@city.kishiwada.osaka.jp

令和6年度岸和田市市民意識調査

回 答 票

※ 回答後、この回答票のみを返信用
封筒に入れて送付してください。





岸和田城



牛滝山の滝



自然資料館



和泉葛城山の新緑



蜻蛉池公園のバラ



久米田池の夕日

I 岸和田のまちについてお聞きします。

問1 あなたは、岸和田市の住みやすさについてどう思いますか？
あてはまる番号を1つ選んで○をつけてください。

1. 住みよい	4. どちらかといえば住みにくい
2. どちらかといえば住みよい	5. 住みにくい
3. どちらともいえない	6. 分からない

問2 今後も岸和田市内に住み続けたいと思いますか？
あてはまる番号を1つ選んで○をつけてください。

1. いつまでも住み続けたい	3. できれば他市町村へ移転したい
2. 当分住み続けたい	4. すぐにでも他市町村へ移転したい

前問で1、2を選んだ方（問2-1へ）

前問で3、4を選んだ方（問2-2へ）

問2-1 住み続けたいと思う理由は何ですか？
あてはまる番号を3つ選んで○をつけてください。

1. 子育てがしやすい
2. 子どもの教育環境が良い
3. 公民館や運動施設などが充実している
4. 住み慣れていて愛着がある
5. 医療・福祉サービスが充実している
6. 災害に対する不安が小さい
7. 犯罪が少ない
8. 交通の便が良い
9. 買い物や外食が便利
10. 自然・緑が多い
11. まちのイメージが良い
12. 地域での人間関係が良い
13. 学校や仕事、家族、家（家賃など）の都合
14. その他（ ）

問2-2 住み続けたくないと思う理由は何ですか？
あてはまる番号を3つ選んで○をつけてください。

1. 子育てがしにくい
2. 子どもの教育環境が良くない
3. 公民館や運動施設などが充実していない
4. 住み慣れておらず愛着がない
5. 医療・福祉サービスが充実していない
6. 災害に対する不安が大きい
7. 犯罪が多い
8. 交通の便が良くない
9. 買い物や外食が不便
10. 自然・緑が少ない
11. まちのイメージが良くない
12. 地域での人間関係が良くない
13. 学校や仕事、家族、家（家賃など）の都合
14. その他（ ）

問2-3 前問で11を選んだ方にさらにお聞きします。あなたがまちのイメージが良い、もしくは、まちのイメージが良くないと思う理由は何ですか？具体的にご記入ください。

問3 あなたは、岸和田のまちを誇りに思いますか？
あてはまる番号を1つ選んで○をつけてください。

1. 思う	4. どちらかといえば思わない
2. どちらかといえば思う	5. 思わない
3. どちらともいえない	6. 分からない

Ⅱ 日常生活などについてお聞きします。

問4 あなたは、スポーツや運動（ウォーキング（散歩）や体操などを含む。）を定期的（週1回以上）にしていますか？

1. している	2. していない
---------	----------

問5 あなたは、この1年間に芸術・文化活動（コンサートや演劇などの鑑賞を含む。）を行ったことがありますか？

1. ある	2. ない
-------	-------

問6 あなたは、この1年間に郷土の歴史や文化財に触れる機会がありましたか？

1. ある	2. ない
-------	-------

問7 あなたは、この1年間に自分の経験や特技を何らかのかたちで地域に活かしたことがありますか？

1. ある	2. ない
-------	-------

問8 あなたは、この1年間にボランティア活動や地域の自治活動に参加したことがありますか？

1. ある	2. ない
-------	-------

問9 あなたは、町会・自治会の活動を知っていますか？

1. している	2. していない
---------	----------

問10 あなたは、この1年間にごみ拾いや美化活動を行ったことはありますか？

1. ある	2. ない
-------	-------

問11 あなたは、ごみの減量化やリサイクルに取り組んでいますか？

1. いる	2. いない
-------	--------

問12 あなたは、省エネルギーの取組や再生可能エネルギー（太陽光発電など）の活用を行っていますか？

1. 行っている	2. 行っていない
----------	-----------

問13 あなたは、かかりつけ医をもちますか？

1. もっている	2. もっていない
----------	-----------

問14 あなたは、この1年間に健康診断などを受けましたか？

1. 受けた	2. 受けていない
--------	-----------

問15 あなたは、地元の商店や商店街で頻繁（週に1回）に買い物をしますか？

1. する	2. しない
-------	--------

問16 あなたは、地元産の食品を優先して買いますか？

1. 買う	2. 買わない
-------	---------

問17 あなたは、自由に使える余暇時間を確保できていますか？

1. できている	2. できていない
----------	-----------

問18 あなたは、災害の際の非常持出し品や食糧などを準備していますか？

1. している	2. していない
---------	----------

問19 あなたは、災害の際の緊急避難場所がどこか知っていますか？

1. 知っている	2. 知らない
----------	---------

問20 あなたは、この1年間に何らかの消費者トラブルにあったことがありますか？

1. ある	2. ない
-------	-------

問21 あなたは、騒音や大気汚染などの公害に悩まされていますか？

1. いる	2. いない
-------	--------

問22 あなたは、規則正しい食生活を心がけていますか？

1. いる	2. いない
-------	--------

問23 あなたは、地区市民協議会*の活動を知っていますか？

1. 知っている	2. 知らない
----------	---------

問24 あなたは、この1年間にスマートフォンなどデジタル技術を活用して行政手続き（サービス等の利用を含む。）を行ったことがありますか？

1. ある	2. ない
-------	-------

*地区市民協議会とは、小学校区毎に組織されているコミュニティ組織で、自らの地域社会をみんなの力で住みよくしていくことを目的に活動しているもの

Ⅲ あなた自身の感じ方についてお聞きます。

問 25-1 あなたは、次の各記述をどう思いますか？ 項目ごとにあてはまる番号を1つずつ選んで○をつけてください。

項 目	全く思いません	ほとんど思いません	どちらでもない	どちらかといえば思っています	思っています	全く思っています
ア 生きがいを感じることもある	5	4	3	2	1	0
イ 仕事と生活の調和（ライフ・ワーク・バランス）が取れている	5	4	3	2	1	0
ウ 岸和田は、子どもを生き育てやすい	5	4	3	2	1	0
エ 安全な水が安定して供給されている	5	4	3	2	1	0
オ 農業や漁業に魅力がある	5	4	3	2	1	0
カ 岸和田が多く観光客でにぎわい、観光の振興が十分である	5	4	3	2	1	0
キ 商工業に活気がある	5	4	3	2	1	0
ク 働く意欲のある人に働ける場所が確保されている	5	4	3	2	1	0
ケ 労働環境に満足している	5	4	3	2	1	0
コ 岸和田の歴史や伝統がしっかりと引き継がれている	5	4	3	2	1	0
サ 海や川の水がきれいである	5	4	3	2	1	0
シ 平和は大切である	5	4	3	2	1	0
ス 人権問題は差別を受けている人の問題であって自分とは関係がない	5	4	3	2	1	0
セ 男女がそれぞれの能力を十分に発揮しあい、あらゆる場面で協力し合っている	5	4	3	2	1	0
ソ 市役所から発信された情報（広報さしわだ、ホームページなど）が分かりやすい	5	4	3	2	1	0

問 25-2 続いて、住んでいる地域（小学校区）について、どう思いますか？
項目ごとにあてはまる番号を1つずつ選んで○をつけてください。

タ 子育てに関する不安を相談できる機会や場がある	5	4	3	2	1	0
チ 働きながら子育てができる環境が整っている	5	4	3	2	1	0
ツ 子どもが安全に遊ぶことができる	5	4	3	2	1	0
テ 子どもの個性や能力にあった教育が行われている	5	4	3	2	1	0
ト 安心して歩道を通行することができる	5	4	3	2	1	0
ナ ユニバーサルデザイン※化が進んでいる	5	4	3	2	1	0
ニ 鉄道駅周辺の市街地に活気がある	5	4	3	2	1	0
ヌ 拠点のにぎわいがある（拠点とは、臨海部の工業・流通地域、各鉄道駅周辺（岸和田駅周辺には岸和田城や港緑町を含む）、ゆめみヶ丘岸和田、山直東交通広場周辺）	5	4	3	2	1	0
ネ 景観がよく保全されている	5	4	3	2	1	0
ノ 市内をスムーズに移動できる	5	4	3	2	1	0
ハ 高齢者が安心して生活できている	5	4	3	2	1	0
ヒ 困ったときに近くに相談できる人や場所がある	5	4	3	2	1	0
フ 住民が交流する機会が多い	5	4	3	2	1	0
ヘ 行政の手続きが便利になった	5	4	3	2	1	0

※ユニバーサルデザインとは、すべての人が使いやすいように製品・建物・環境などをデザインすること

IV 市の取組に対する満足度についてお聞きします。

問 26 下記に示した 58 個の岸和田市の取組について、どの程度満足していますか？ 各項目に当てはまる番号を1つずつ選んで○をつけてください。

	項目（具体的な取組例）	満 足	ま ま 満 足	よ う よ う 満 足	や や 不 満	不 満	分 か ら な い ・ 意 見 な し
例	子ども一人ひとりが輝くための適切な教育支援 （学力向上支援、特別支援教育など）		○				
1	妊産婦や乳幼児の切れ目のない健康づくり （妊産婦健康診査、乳幼児全戸訪問、出産応援金など）						
2	妊娠を望む家庭や子育て家庭の不安解消、経済的負担の軽減 （発達相談、各種医療費助成など）						
3	保育を必要とする人が、安心して子どもを預けられる環境づくり （市立幼稚園及び保育所再編、民間認定こども園誘致、保育士応援金など）						
4	健診などによる疾病の早期発見・予防など子どもの健康づくり （園児・児童・生徒の健康診断など）						
5	食育や体力づくりなど、子どもの健康な身体づくり （学校給食運営、学校体育振興など）						
6	登下校をはじめ、子どもが安全に学校や地域で過ごせる環境づくり （通学路巡回パトロール、児童遊園整備など）						
7	障害のある子どもの発達支援と家庭生活での負担軽減 （障害児通所支援、総合通園センター運営など）						
8	育てにくさを感じる親への支援、児童虐待に関する相談の充実や早期発見・早期対応 （児童虐待相談など）						
9	適正な就学・就園や経済的な支援による教育機会の確保 （学校適正配置の推進、就学奨励、通学区調整など）						
10	子ども一人ひとりが輝くための適切な教育支援 （学力向上支援、特別支援教育など）						
11	学校園の適切な施設整備や魅力ある運営 （学校園の施設管理や整備など）						
12	地域と連携した子どもの社会的な心の醸成 （青少年育成、いじめ問題対策など）						
13	地域の産業を担う人材育成 （市立産業高校の運営など）						
14	様々な学びの活動や知識・経験の活用と、それによるコミュニティのつながりの創出 （学習講座等の開催、図書館運営、生涯学習活動推進など）						

項目（具体的な取組例）	満 足	ま め 満 足	よ う よ う ま め 満 足	よ や 不 満	不 満	分 か ら な い ・ 意 見 な し
32 高齢者が自分らしく生活できる環境づくり （高齢者支援、認知症ケアなど）						
33 障害者が自分らしく生活できる環境づくり （障害者歯科診療、医療助成など）						
34 住宅困窮者への居住支援 （市営住宅整備など）						
35 生活困窮者などへの必要な支援 （生活保護、生活困窮者支援相談など）						
36 戦争被害者などが安心して生活できる環境づくり （戦没者家族支援など）						
37 交通マナーの向上や交通事故を防ぐ環境づくり （交通安全対策、駐車対策など）						
38 空き家の適正な管理や、建築物の安全性の確保 （空家等対策の推進、建築指導など）						
39 防犯意識の向上や、犯罪防止につながる環境づくり （防犯活動、地域防犯活動支援など）						
40 安心してサービスや物の購入などの消費行動が行える環境 づくり （消費者相談など）						
41 災害被害を最小限にする強靱な基盤の計画的な整備 （地域防災計画の推進、耐震化の推進など）						
42 発災時にみんなが迅速かつ柔軟に対応できる環境づくり （避難行動要支援者支援プランの推進、避難所施設など）						
43 火災予防や火災被害を最小限にする取組 （消防、火災予防など）						
44 環境汚染などによる健康被害の発生の防止 （公害対策など）						
45 安全安心な水の安定的な供給 （上水道の運営など）						
46 まちの美化 （地域美化、不法投棄防止、墓苑の運営、下水道整備な ど）						
47 まちの緑の適正な保全とまちの緑化 （緑化の推進、公園整備など）						
48 貴重な自然環境と生物多様性の保全・活用 （自然環境の保全、自然資料館など）						
49 ごみの減量と資源の有効活用など3R+R*の推進 （ごみの減量化、リサイクルなど）						

※3R+Rは、これまでの3R（リデュース、リユース、リサイクル）に、新たなR（リフューズやリニューアブル）を追
加したもので、ごみの減量に向けた取組のこと

項目（具体的な取組例）	満 足	ま まの 満 足	よ う よ う も と な い	や や 不 満	不 満	分 か ら な い ・ 意 見 な し
50 省エネルギー化や再生可能エネルギーによる脱炭素の推進と地球温暖化防止 （地球温暖化対策、気候変動への適応策など）						
51 地域の事業者や個人事業主が活躍し、事業継続ができる環境づくり （企業経営支援、岸和田ブランド、商工業振興など）						
52 新たに市内で創業する事業者や個人事業主が活動しやすい環境づくり （企業立地促進など）						
53 農業や水産業など、地域で安全な食が生産され、消費される環境づくり （農業振興、水産業振興など）						
54 関西国際空港とのアクセス性の活用や、観光資源が充実し、観光客が過ごしやすい環境づくり （観光振興、広域観光、城周辺整備、関西国際空港の活用など）						
55 岸和田の魅力の活用によるまちのイメージの向上 （シティーセールスの推進など）						
56 地域の活性化を導く拠点の形成 （駅周辺整備、中心市街地活性化、拠点整備など）						
57 拠点とのアクセス性の向上 （広域幹線計画、道路整備、バス交通、交通政策など）						
58 適正な土地利用と景観形成 （都市計画、景観形成など）						

V 今後のまちづくりについてお聞きします。

問 27 あなたは、前問に示した 58 個の岸和田市の取組のうち、どの取組が今後のまちづくりにとって特に重要だと思いますか？特に重要だと思うものを 5 つまで選んで、番号を記入してください。

特に重要だと思うもの（5 つまで）				

VI あなたのことについてお聞きします。

問28 あなたの性別は？

1. 男性	2. 女性	3. 無回答
-------	-------	--------

問29 あなたの年齢(令和5年5月1日現在の満年齢)は？

1. 15～19歳	5. 50～59歳
2. 20～29歳	6. 60～64歳
3. 30～39歳	7. 65～69歳
4. 40～49歳	8. 70歳以上

問30 あなたがお住まいの小校区は？(校区名が分からない場合は、町丁名を記入してください。)

1 中央	9 修 斉	17 八木南
2 城 内	10 東葛城	18 山直北
3 浜	11 春 木	19 城 東
4 朝 陽	12 大 芝	20 山直南
5 東 光	13 城 北	21 大 宮
6 旭	14 新 条	22 光 明
7 太 田	15 八 木	23 常 盤
8 天神山	16 八木北	24 山 滝

※小校区が分からない場合
⇒ _____ 町 丁目

問31 あなたの職業は？

1. 農林漁業	6. 専業主婦(夫)
2. 自営業	7. 無職
3. 会社員・公務員、役員	
4. パート・アルバイト・契約、派遣社員	
5. 学生	8. その他 ()

問32 前問で1から5及び8とお答えの方にお聞きします。あなたの勤務地・通学地は？

1. 岸和田市
2. 大阪府内(岸和田市を除く。)
3. 大阪府外

問33 あなたの出生地(お生まれ)は？

1. 岸和田市
2. 大阪府内(岸和田市を除く。)
3. 大阪府外

問34 岸和田市に住んでいる年数は？

1. 20年以上	3. 5～9年
2. 10～19年	4. 5年未満

問35 あなたの(同居している)家族構成は？

1. 単身
2. 夫婦
3. 親子(2世代)
4. 親・子・孫(3世代)
5. その他()

問35-1 前問で3、4、5とお答えの方にお聞きします。あなたを含む同居の家族は何人ですか？

1. 2人	3. 4人
2. 3人	4. 5人以上

問36 あなたには、現在、養育中の子どもがいますか？

1. いる
2. いない

問36-1 前問で1とお答えの方にお聞きします。養育中のお子さんは、次のどれに該当しますか？(該当する欄に、人数を記入してください。)

	人数
1. 就学前(0～5歳)	
2. 小学生	
3. 中学生	
4. それ以外(高校生や大学生)	

問37 あなたの同居の家族(あなた以外)に、65歳以上の高齢者がいますか？

1. いる	2. いない
-------	--------

問38 あなたは、現在、長期的な病気や障害を抱えていますか？

1. 抱えている
2. 抱えていない

問38-1 前問で1とお答えの方にお聞きします。あなたは、長期的な病気や障害が原因で日常生活に支障をきたしていますか？

1. 支障がある
2. やや支障がある
3. あまり支障はない
4. 支障はない

問39 あなたは、町会・自治会に加入していますか？

1. している	2. していない
---------	----------

Ⅶ 最後に

その他市政に関するご意見等がありましたら、自由にご記入ください。

ご回答ありがとうございました。

令和6年度 市民意識調査 結果報告書

2024（令和6年）年12月 発行

発 行：岸和田市総合政策部企画課

所 在 地：〒596 - 8510 大阪府岸和田市岸城町7番1号

電 話：072 - 423 - 9492（直通）

F A X：072 - 423 - 6749